291
72

三重高等農林學校一覽

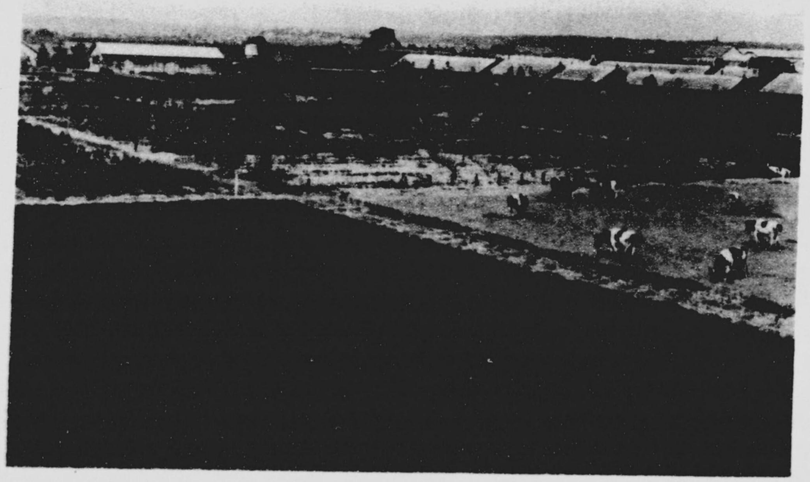
昭和十年度

291
72

三重高等農林學校一覽

昭和十年度

校舍全景



實驗農場

校歌

一

み空のみどり樹のみどり　波のみどりの國原に
いましめかわし睦みあひ　つどへるわれら健男兒

二

林につちに秘めらるゝ　自然の富を拓くべき
天の使命は重けれど　われらの誇こゝにあり

三

明けゆく伊勢の海原に　のぞむ希望の陽の光
暮るゝ鈴鹿の山の上に　仰ぐ理想の星の影

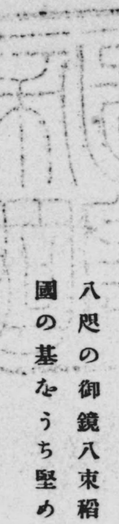
四

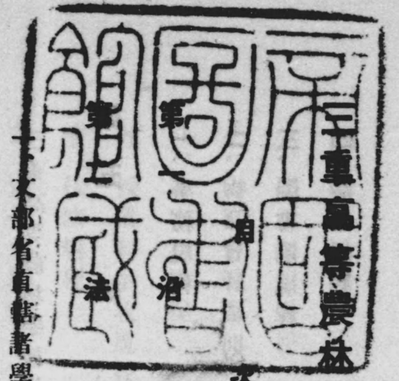
研鑽思索實習に　刻苦の月日かさぬれど
用ふるまゝにいよゝ湧く　われらの力人も知れ

五

八咫の御鏡八束稻　神の威靈はいたゞけり
國の基をうち堅め　ゆるぎはさせじ秋津島

發行所寄贈本





三重高等農林學校一覽

昭和十年度

目次

革令

一、文部省直轄諸學校官制（抄）　一
二、文部省直轄諸學校職員定員令（抄）　五
三、實業學校令（抄）　二五
四、專門學校令（抄）　二六
五、實業學校卒業者ノ專門學校入學ニ關スル件　二七
六、公立私立實業學校教員タルコトヲ得ル者ノ指定（抄）　二八
七、實業學校教員養成規程　二八
八、文部省直轄實業專門學校委託生規程　二八

目次

九、文部省直轄學校外國人特別入學規程（抄）　三
十、臺灣、朝鮮人文部省直轄諸學校入學ニ關スル件　三一
十一、三重高等農林學校規程　三一
十二、三重高等農林學校卒業者無試驗檢定ニ關スル件　三三

第三　學年暦　三四

第四　規則　三五

三重高等農林學校規則　三五

第五　細則　三六

一、事務規程　三六
二、物品會計細則　三七
三、圖書館規程　三八
四、農場規程　三九
五、總代規程　四〇
六、學生制服規程　四一
七、寄宿舍規程　四二
八、寄宿料規程　四三
九、授業料徴收規程　四四
十、校旗規程　四五
十一、通學生規程　四五
十二、非常警備及手配規程　四六
十三、外國人特別入學細則　四七

第六　職員　四八

第七　學生　四九

一、學生氏名　四九
二、學生數　一〇一

目次

五、總代規程　一〇一
六、學生制服規程　一〇二
七、寄宿舍規程　一〇三
八、寄宿料規程　一〇四
九、授業料徴收規程　一〇五
十、校旗規程　一〇六
十一、通學生規程　一〇六
十二、非常警備及手配規程　一〇七
十三、外國人特別入學細則　一〇八

第六　職員　一〇九

第七　學生　一一〇

一、學生氏名　一一〇
二、學生數　一一三

目次

三、地方別學生數　一三三
第八　卒業生　一三五
一、卒業生氏名及業務　一三五
二、卒業生年度別數　一八三
三、卒業後ノ狀況　一八四
四、卒業生地方分布ノ狀況　一八五
第九　敷地、建物　一八七
附錄
三重高等農林學校校友會規則　一九二
三重高等農林學校校友會基本金規則　一九七
三重高農同窓會會則　一九九
建物配置圖

291-72

第一　沿革

大正八年政府ハ高等教育機關創設及擴張ノ計畫ヲ樹テ第四十一帝國議會ノ協贊ヲ經其ノ一トシテ高等農林學校ヲ三重縣下ニ設置スルニ決シ八年九月位置ヲ津市上濱町ニ定ム次テ敷地ノ買收竝地上工事ニ着手シ十年三月其ノ工ヲ終フ之ヨリ先三重縣ハ本校設置ノ議アルヲ聞クヤ大正八年七月臨時縣會ヲ開キ創立費ニ對シ四拾四萬五千圓ヲ政府ニ寄附スルコトヲ議決シ九年三月其ノ手續ヲ了ス大正十年八月本館其ノ他附屬校舍ノ新築工事ニ着手ス爾來沿革ノ大要ヲ擧クレハ左ノ如シ

大正十年

十二月十日　勅令第四百五十六號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制中改正ヲ加ヘ本校ノ設置ヲ公布セラル

同月　同日　勅令第四百五十七號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中改正ヲ加ヘ本校ノ職員定員ヲ校長一人、教授五人、助教授二人、書記四人ト定メラル

同月　同日　文部事務官兼東京高等師範學校教授上原種美本校々長兼文部事務官ニ

任セラル

十二月廿二日　文部省告示第五百七號ヲ以テ本校ノ位置ヲ三重縣津市上濱町ニ定メ大正十一年四月ヨリ授業ヲ開始スル旨告示セラル

同月　同日　文部省告示第五百十二號ヲ以テ本校ノ事務ハ當分ノ間文部省内ニ於テ之ヲ取扱フ旨告示セラレ文部省修文館ニ於テ事務ヲ開始ス

同月廿五日　雨天體操場及本館附屬建物新築竣工ス

大正十一年

一月十二日　文部省令第一號ヲ以テ本校規程ヲ公布セラル

同月十六日　本校規則ヲ制定ス

同月十七日　文部省告示第十一號ヲ以テ實業學校卒業者(但シ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年、高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年若ハ之ト同等以上ノ實業學校卒業者ニシテ志望學科ト同種類ノ學科ヲ修メタル者ニ限ル)ヲ本校ノ入學ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定セラル

三月　一日　校章ヲ制定ス

同月十四日　文部省告示第百六十三號ヲ以テ本校ノ事務ハ三月十六日ヨリ三重縣津市上濱町本校内ニ於テ之ヲ取扱フ旨告示セラレ雨天體操場ヲ以テ臨時事務所ニ充ツ

四月　一日　大正十一年度入學志願者三百二十名中ヨリ農學科、農業土木學科及林學科ニ各四十名ノ入學ヲ許可ス

同月　五日　本館新築工事完成シ雨天體操場ヨリ事務所ヲ移轉ス

同月　八日　寄宿舍並ニ其ノ附屬建物新築竣工ス

同月十二日　校長上原種美彙文部事務官ヲ免セラレ學校長專任トナル

同月二十日　事務規程ヲ制定ス

同月廿二日　第一回入學式ヲ擧行ス

同月廿五日　始業式ヲ擧行ス

同月廿六日　授業ヲ開始ス

同月廿九日　勅令第二百四十二號ヲ以テ本校職員定員中教授五人ヲ九人ニ、助教授二

人ヲ七人ニ改正セラル

五月十日　本校實驗農場初耕式ヲ擧行ス

七月二日　鎌田文部大臣來校視察セラル

同月廿七日　學級總代規程ヲ制定ス

九月二日　授業料徴收規程ヲ制定ス

同月十一日　學生制服規程ヲ制定ス

同月十三日　寄宿舍規程ヲ制定ス

同　日　寄宿料規程ヲ制定ス

同月十四日　通學生規程ヲ制定ス

十月三日　教育ニ關スル勅語謄本及戊申詔書謄本ヲ下賜セラル

十一月四日　皇后陛下宇治山田市ヘ行啓ニ付職員學生一同津驛ニ奉迎ス

同月七日　皇后陛下宇治山田市ヨリ還啓ニ付職員學生一同津驛ニ奉送ス

十二月廿八日　養蠶室及農場建物新築竣工ス

大正十二年

一月卅一日　非常警備及手配規程ヲ制定ス

二月廿八日　實驗室新築竣工ス

三月廿八日　運動場工事竣工ス

同月三十日　大正十二年度入學志願者四百六十六名中ヨリ農學科、農業土木學科及林學科ニ各四十名ノ入學ヲ許可ス

四月十二日　第二回入學式ヲ擧行ス

同月廿一日　物品會計細則ヲ制定ス

五月八日　勅令第二百二十九號ヲ以テ本校職員定員中教授九人ヲ十五人ニ、助教授七人ヲ十人ニ、書記四人ヲ五人ニ改正セラル

大正十三年

一月廿六日　皇太子殿下御成婚ノ禮ヲ行ハセラルヽニ付奉祝式ヲ擧行ス

二月廿三日　皇太子殿下竝ニ同妃殿下　神宮御參拜ノ爲御來縣ニ付職員學生一同津驛ニ奉迎ス

同月廿四日　皇太子殿下竝ニ同妃殿下御來縣ニ付上原校長御機嫌ヲ奉伺ス

二月廿五日　皇太子殿下竝ニ同妃殿下還啓ニ付職員學生一同津驛ニ奉送ス
三月三十日　講堂、畜舍其ノ他五棟新築竣工ス
四月一日　大正十三年度入學志願者二百八十三名中ヨリ農學科四十二名、農業土木學科四十二名及林學科四十名ノ入學ヲ許可ス
同月十五日　第三回入學式ヲ擧行ス
五月十六日　勅令第百三十三號ヲ以テ本校職員定員中教授十五人ヲ十八人ニ、助教授十人ヲ十二人ニ、書記五人ヲ六人ニ改正セラル
六月二十日　圖書館、書庫、武道場、農業機械室其ノ他五棟新築竣工ス
八月十五日　酪農室、燻蒸室外二棟新築竣工ス
同月十九日　實驗農場ハ從來灌漑、排水ノ便ヲ缺キ加フルニ鹽害亦尠カラサリシヲ以テ耕地ノ根本的整理改良ヲ企テ本年三月二十三日其ノ工事ニ着手灌漑、排水、電動裝置外十六點ノ施設ヲ竣成ス
十月十日　校歌ヲ作定ス
同月廿六日　中橋前文部大臣來校視察セラル
十一月一日　本校開校式ヲ擧行ス岡田文部大臣、柴垣文部省建築課長、荒木京都帝國大學總長、山岡三重縣知事、三條西神宮大宮司其ノ他朝野ノ名士約五百名ノ來賓アリ爾來此日ヲ以テ本校記念日ト定ム
同月二日　第一回陸上運動會ヲ擧行ス
同月十一日　乾繭室、羊舍、鷄舍、豚舍外二棟新築竣工ス
同月三十日　高橋農商務大臣來校視察セラル
十二月四日　本校規則中入學ニ關スル項ヲ改正ス
同月六日　特別研究室新築竣工ス
同月十七日　圖書館規程ヲ制定ス
同月二十日　官舍四棟及附屬建物新築竣工ス
同月三十日　蠶種貯藏庫、作物栽培實驗室、簡易堆肥及水肥舍新築竣工ス

大正十四年

一月廿二日　文部省告示第十二號ヲ以テ本校卒業者ハ農學科ニ在リテハ農業、動物又ハ植物、農業土木學科ニ在リテハ數學ニ關シ中等學校教員無試驗檢定ヲ

受クルコトヲ得ルモノト指定セラル

二月十五日　本校所屬演習林トシテ三重縣一志郡八幡村所在平倉國有林四百五十七町八反六畝八歩ヲ農商務省ヨリ移管ヲ受ク

同月十八日　農產製造室、林產製造室、飼料室新築竣工ス

同月廿七日　本校内ニ三重縣立實業教員養成所ヲ設置ス

三月十四日　温室新築竣工ス

同月十七日　第一回卒業證書授與式ヲ擧行シ農學科二十八名、農業土木學科二十八名及林學科二十三名ニ卒業證書ヲ授與シ農業土木學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス

同月廿三日　本校規則中授業料ニ關スル規定ヲ改正ス

同月卅一日　本校正門前ノ土地八百十二坪ヲ購入シ見本植物園ヲ設置ス

四月一日　大正十四年度入學志願者三百六十一名中ヨリ農學科、農業土木學科及林學科ニ各四十名ノ入學ヲ許可ス

同月同日　勅令第八十一號ヲ以テ本校職員定員中助教授十二人ヲ十一人ニ改正セラル

同月十五日　第四回入學式ヲ擧行ス

五月十日　天皇皇后兩陛下御結婚滿二十五年御祝典ヲ執リ行ハセラルルニ付奉祝式ヲ擧行ス

同月廿七日　文部省令第二十七號ヲ以テ本校規程中各學科ノ學科目及其ノ程度ニ改正ヲ加ヘラル

同月同日　本校規則中同上

大正十五年

三月十七日　第二回卒業證書授與式ヲ擧行シ農學科三十四名、農業土木學科二十五名及林學科三十二名ニ卒業證書ヲ授與シ農學科選科二名、農業土木學科選科一名及林學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス

四月一日　大正十五年度入學志願者四百四十五名中ヨリ農學科四十一名、農業土木學科四十二名及林學科四十名ノ入學ヲ許可ス

同月十五日　第五回入學式ヲ擧行ス

五月十五日　農業土木學科二名及林學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス
六月廿五日　農學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス
七月　三日　農業土木學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス
八月　一日　本日ヨリ十九日マテ文部省成人教育講座ヲ本校ニ開催ス
十一月十一日　本日ヨリ三日間ニ亘リ文部省社會教育課ニ於テ本校實驗農場其ノ他ノ諸施設ヲ撮影シ活動映畫ヲ作ル
十二月四日　聖上陛下御惱御平癒祈願式ヲ擧行シ式後上原校長竝ニ職員學生各代表者伊勢神宮ニ參拜御平癒祈願ヲ爲ス

昭和元年

十二月廿五日　天皇陛下崩御アラセラルレタルニ付奉悼式ヲ擧行ス

昭和二年

二月　三日　演習林寄宿舍新築竣工ス
同月　七日　大正天皇御大喪儀ニ付遙拜式ヲ擧行ス上原校長ハ上京鹵簿内奉送ヲ爲シ職員竝ニ學生各總代ハ鹵簿ヲ奉送ス

同月十四日　今上天皇陛下朝見ノ儀ニ於テ賜ハリタル勅語ノ奉讀式ヲ擧行ス
三月十七日　第三回卒業證書授與式ヲ擧行シ農學科二十七名、農業土木學科三十一名及林學科二十二名ニ卒業證書ヲ授與ス
同月廿二日　本校實驗農場續キノ土地千百六十坪餘ヲ買收シテ花卉園ヲ擴張ス
同月卅一日　固定温床新築竣工ス
同月　同日　外國人特別入學細則ヲ制定ス
四月　一日　昭和二年度入學志願者五百十二名中ヨリ農學科四十六名、農業土木學科四十二名及林學科四十五名ノ入學ヲ許可ス
同月十三日　農學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス
同月十五日　第六回入學式ヲ擧行ス
同月廿八日　農業土木學科四名及林學科三名ニ卒業證書ヲ授與ス
五月十二日　三土文部大臣來校視察セラルル
同月十六日　農學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス

同月卅一日　農學科一名及農業土木學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス
八月一日　本日ヨリ十八日マテ文部省成人教育講座ヲ開催ス
九月十二日　水野文部大臣來校視察セラル
十一月十四日　上原校長歐米各國ヘ出張ヲ命セラル
十二月廿七日　勅令第三百六十六號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令中改正本校職員定員中ニ助手二人ヲ加ヘラル

昭和三年

一月十六日　校長上原種美歐米各國ヘ出張不在中教授增淵次助校長代理ヲ命セラル
同月十八日　上原校長歐米視察ニ出發ス
三月十七日　第四回卒業證書授與式ヲ擧行シ農學科二十六名、農業土木學科三十名及林學科二十九名ニ卒業證書ヲ授與ス
同月二十日　藥品庫增築竣工ス
同月廿八日　有毒瓦斯處理室新築竣工ス
四月一日　昭和三年度入學志願者六百四十四名中ヨリ農學科四十一名、農業土木學科四十名及林學科四十一名ノ入學ヲ許可ス
同月九日　本校規則第一條ヲ改正ス
四月十五日　第七回入學式ヲ擧行ス
五月十一日　農學科一名、農業土木學科二名及林學科二名ニ卒業證書ヲ授與ス
八月一日　本日ヨリ十八日マテ文部省成人教育講座ヲ開催ス
十月廿九日　勅令第二百五十六號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制中改正「生徒監」ヲ「生徒主事」ニ改メ「生徒主事補」ヲ加ヘラル
十一月十日　御即位禮奉祝式ヲ擧行ス
同月同日　御大禮記念御眞影奉安殿地鎭祭ヲ擧行ス
同月十五日　神宮御親謁ノ爲天皇皇后兩陛下行幸啓ニ付本校生產ノ果實ヲ獻上ス
同月十九日　天皇皇后兩陛下津驛御通過ニ付職員學生一同奉迎ス
同月二十日　天皇皇后兩陛下神宮御親謁ノ際職員學生一同鹵簿ヲ奉拜ス
十一月廿二日　天皇皇后兩陛下津驛御通過ニ付職員學生一同奉送ス

十二月十二日　上原校長歐米ノ視察ヲ了ヘ歸朝ス
同月十三日　上原校長歸朝ニ付增淵教授校長代理ヲ免セラル

昭和四年

三月十六日　第五回卒業證書授與式ヲ擧行シ農學科三十二名、農業土木學科三十名及林學科廿三名ニ卒業證書ヲ授與シ農學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス
同月廿八日　本校規則中授業料ニ關スル規定ヲ改正ス
四月一日　昭和四年度入學志願者六百八十六名中ヨリ農學科四十五名、農業土木學科四十二名及林學科四十二名ノ入學ヲ許可ス
同月十日　農業土木學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス
同月十五日　第八回入學式ヲ擧行ス
五月九日　昨秋　聖上陛下　神宮御親謁ノ爲行幸ノ砌特別ノ御思召アラセラレタルニ依リ本校栽植ノ伊勢菊苗六十種中ヨリ四十種ヲ選ヒ獻上ス
同月十日　校族規程ヲ制定ス
同月十七日　校族上成式ヲ擧行ス

六月五日　天皇陛下大阪城東練兵場ニ於テ二府五縣下ニ於ケル學生々徒等御親閲ニ付本校學生百二十名教官引率シ分列部隊ニ參加御親閲ノ光榮ニ浴シ上原校長御親閲場ニ參列シ分列式ヲ陪觀ス
十月二日　神宮式年御遷宮執リ行ハセラルルニ付奉拜式ヲ擧行ス
上原校長　皇大神宮御遷宮式ニ參列又學生代表八十名職員引率シ神域内ニ於テ之ヲ奉拜ス
同月五日　豐受大神宮御遷宮式執リ行ハセラルルニ付學生代表九十名職員引率シ神域内ニ於テ之ヲ奉拜ス
十一月一日　本校創立記念日ニ付校内ヲ公開シ一般ノ參觀ニ供ス
同月十四日　農業工學實驗室新築竣工ス
十二月五日　熊澤一衛氏寄附ニ係ル御大禮記念　御眞影奉安殿新築竣工ス

昭和五年

一月十五日　本日ヨリ二十日マテ文部省成人教育講座ヲ開催ス
二月七日　高松宮殿下御結婚奉告ノ爲御參宮ニ付上原校長及職員津驛ニ奉迎送ヲ

爲ス

三月十六日　第六回卒業證書授與式ヲ擧行シ農學科三十八名、農業土木學科三十三名及林學科三十六名ニ卒業證書ヲ、林學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス

四月一日　昭和五年度入學志願者九百三十三名中ヨリ農學科四十四名、農業土木學科四十四名及林學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス

同月十日　農業土木學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス

同月十五日　第九回入學式ヲ擧行ス

同月廿一日　本校々友會寄附ニ係ル弓道場竣工ス

五月十七日　農學科一名、農業土木學科二名及林學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス

八月一日　本日ヨリ六日間文部省成人教育講座ヲ開催ス

十月十日　本日及十一日關西農業學校長會議ヲ開催ス

同月十四日　天皇陛下　皇后陛下ノ御眞影ヲ下賜セラル

同月十五日　御眞影拜戴式ヲ擧行ス

同月三十日　教育ニ關スル勅語渙發滿四十年記念式ヲ擧行ス

十一月一日　本校創立記念日ニ付記念式ヲ擧行且校内ヲ公開シ一般ノ參觀ニ供ス

同月十五日　本校演習林内ニ平倉神社ヲ建設シ鎭座祭ヲ擧行ス

昭和六年

二月五日　曩ニ御下賜ノ　天皇陛下　皇后陛下　御眞影ヲ奉還シ新ニ　天皇陛下　皇后陛下　御眞影ヲ拜戴ス

三月十五日　第七回卒業證書授與式ヲ擧行シ農學科三十九名、農業土木學科三十五名及林學科二十九名ニ卒業證書ヲ、外國人特別生一名ニ修了證書ヲ授與ス

同月三十日　林學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス

同月卅一日　熱帶植物温室竣工ス

四月一日　昭和六年度入學志願者七百九十八名中ヨリ農學科四十四名、農業土木學科四十五名及林學科四十四名ノ入學ヲ許可ス

同月十五日　第十回入學式ヲ擧行ス

同月廿五日　農業土木學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス

六月廿六日　農場規程ヲ制定ス

七月十五日　林學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス
同月十七日　關西病蟲害研究會ヲ開催ス
十一月一日　本校創立記念日ニ付記念式ヲ擧行且校内ヲ公開シ一般ノ參觀ニ供ス

昭和七年

一月三十日　土壤作業室新築竣工ス
二月廿九日　校旗規程中旗手任命ニ關スル規定ヲ改正ス
三月十五日　第八回卒業證書授與式ヲ擧行シ農學科三十九名、農業土木學科三十七名及林學科三十五名ニ卒業證書ヲ授與シ農學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス
同月廿八日　更衣室新築竣工ス
四月一日　昭和七年度入學志願者千六百十六名中ヨリ農學科四十四名、農業土木學科四十四名及林學科四十三名ノ入學ヲ許可ス
同月一日　學生制服規程中作業服ノ制式ヲ改正ス
同月十五日　農業土木學科一名、林學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス
同月　同日　第十一回入學式ヲ擧行ス
同月廿六日　三重高農拓殖研究會ヲ設立ス
五月五日　農業土木學科二名ニ卒業證書ヲ授與ス
同月十八日　林學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス
同月廿一日　滿洲國語及滿蒙事情ニ關スル講座ヲ新設シ本校學生ノ外之ヲ一般ニ公開ス
六月一日　本校規則中授業料減免ニ關スル規定ヲ改正ス
九月十五日　學生健康相談所ヲ新設ス
同月三十日　銃器室及物置ノ新築、武道場ノ增築竣工ス
十月九日　本校々友會寄附ニ係ル記念「プール」竣工ス
十一月一日　本校開校十周年記念式ヲ擧行ス文部大臣代理菊池實業學務局長、農林大臣代理大島農林技師、京都及北海道兩帝國大學總長代理、官公私立高等專門學校長三十名、廣瀨三重縣知事、其ノ他朝野ノ名士約五百名ノ來賓アリ右記念式ニ引續キ十年勤續職員表彰式、記念「プール」寄贈式、記念同窓會館

寄贈式ヲ擧行ス

同月　二日　記念祝典行事トシテ農業、林業及農業土木、農業機械、滿蒙產業、校勢、實業補習教育ニ關スル各展覽會、活動寫眞、音樂會、本校生產品即賣、角力大會等ヲ開催校內ヲ一般公開シ又夜間記念講演會ヲ開ク

十一月三日　前日同樣各種祝典行事ヲ催シ校內ヲ一般公開ン又柔道、劍道、庭球、弓道、ラグビー」ノ大會ヲ開ク

同月　四日　校內公開ヲ特ニ一日延期シ前日同樣各種展覽會ヲ開キ一般ノ參觀ニ供ス

同月　五日　記念祝典ノ一行事トシテ上原校長、職員總代、各學科各學年總代及卒業生總代同伴　伊勢神宮へ參拜、奉告竝祈願ヲ爲ス

同月十六日　天皇陛下大阪城東練兵場ニ於テ二府五縣下ニ於ケル學生々徒等御親閱ニ付本校學生六十三名教官引率分列部隊ニ參加御親閱ノ光榮ニ浴ス

十二月廿七日　勅令第三百九十五號ヲ以テ本校職員定員中助教授十一人ヲ十人ニ、助手二人ヲ一人ニ改メラル

昭和八年

一月十四日　本日ヨリ四日間文部省公民教育講座ヲ開催ス

三月十五日　第九回卒業證書授與式ヲ擧行シ農學科三十五名、農業土木學科三十九名及林學科二十八名ニ卒業證書ヲ授與ス

同月三十日　林學科一名ニ卒業證書ヲ授與ス

四月　一日　昭和八年度入學志願者一千七名中ヨリ農學科四十五名、農業土木學科四十三名及林學科四十五名ノ入學ヲ許可ス

同月十五日　第十二回入學式ヲ擧行ス

同月廿八日　文部省告示第二百三號ヲ以テ本校內ニ第二拓殖訓練所ヲ開設セラレ上原校長所長ノ事務ヲ執ル

同月三十日　農業土木學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス

六月　一日　拓殖訓練所入所志願者百十七名中ヨリ三十九名ヲ選拔シ入所ヲ許可ス

同月十一日　拓殖訓練所ノ授業ヲ開始ス

同月十八日　拓殖訓練所開所式ヲ擧行ス
十一月一日　本校創立記念日ニ付記念式ヲ擧行且校内ヲ公開シ一般ノ參觀ニ供ス
同月　十日　國民精神作興ニ關スル詔書渙發十周年記念式ヲ擧行ス
十二月廿三日　皇太子殿下御降誕ニ付奉祝式ヲ擧行ス

昭和九年

二月十一日　皇太子殿下御降誕ヲ記念スル爲職員學生一同植樹ヲ爲ス
三月　一日　自動車々庫增築竣工ス
同月　四日　大農具室新築竣工ス
同月　六日　李王殿下台臨御視察アラセラレ記念御植樹遊ハサル
同月　九日　拓殖訓練所入所志願者百二十名中ヨリ三十七名ヲ選拔シ入所ヲ許可ス
同月十五日　第十回卒業證書授與式ヲ擧行シ農學科四十二名、農業土木學科四十二名林學科三十九名ニ卒業證書ヲ授與シ次テ拓殖訓練所第一回修了證書ヲ授與式ヲ擧行三十四名ニ修了證書ヲ授與ス
同月廿五日　拓殖訓練所第一回修了生神戸港出帆渡滿入植ノ途ニ就ク

同月廿九日　本館敷地南部ノ接續地三千三百四十九坪ヲ購入シ果樹園、促成栽培圃及植物見本園ヲ擴張ス
四月　一日　昭和九年度入學志願者千四百四十七名中ヨリ農學科四十名、林學科三十九名ノ入學ヲ許可ス
同月十六日　第十三回入學式ヲ擧行ス
四月廿五日　拓殖訓練所第二回入所式ヲ擧行ス
十一月一日　本校創立記念日ニ付記念式ヲ擧行且校内ヲ公開シ一般ノ參觀ニ供ス

昭和十年

二月十六日　拓殖訓練所寄宿舍ノ新築竣工ス
三月十五日　第十一回卒業證書授與式ヲ擧行シ農學科四十名、農業土木學科四十名、林學科三十五名ニ卒業證書ヲ授與シ農業土木學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス次テ拓殖訓練所第二回修了證書授與式ヲ擧行シ三十二名ニ修了證書ヲ授與ス
同月三十日　養蠶室ノ改築、昆蟲飼育實驗室、孵卵器室ノ新築及圖書閱覽室ノ增築何レ

モ竣工ス

四月一日　昭和十年度入學志願者一千百五名中ヨリ農學科四十一名、農業土木學科四十名、林學科四十二名ノ入學ヲ許可ス

同月二日　昭和十年度拓殖訓練所入所志願者百十一名中ヨリ四十一名ヲ選抜シ入所ヲ許可ス

同月十三日　第十四回入學式ヲ擧行ス

同月廿二日　拓殖訓練所第三回入所式ヲ擧行ス

九月廿六日　拓殖訓練所第二回修了生敦賀港出帆渡滿入植ノ途ニ就ク

十月十八日　松田文部大臣來校視察セラル

十一月一日　本校創立記念日ニ付記念式ヲ擧行且校内ヲ公開シ一般ノ參觀ニ供ス

第二　法令

一、文部省直轄諸學校官制（抄）

（明治二十六年八月勅令第八十六號）

第一條　文部省直轄諸學校ハ左ノ如シ

東京女子高等師範學校　奈良女子高等師範學校　盛岡高等農林學校　鹿兒島高等農林學校
上田蠶絲專門學校　東京高等蠶絲學校　京都高等蠶絲學校　鳥取高等農業學校
三重高等農林學校　宇都宮高等農林學校　岐阜高等農林學校　宮崎高等農林學校
千葉高等園藝學校　東京高等農林學校　（以下省略）

第六條　文部省直轄諸學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長　教授　生徒主事　助教授　書記　生徒主事補

前項職員ノ外文部省直轄諸學校職員定員令ノ定ムル所ニ依リ助手ヲ置クコトヲ得

第七條　校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス

第八條　教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル

第九條　文部省直轄諸學校職員定員令ニ於テ生徒主事ノ專任定員ヲ配置シタル學校ノ生徒主事ハ奏任トシ其ノ他ノ學校ノ生徒主事ハ當該學校ノ奏任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

生徒主事ハ校長ノ命ヲ承ケ生徒ノ訓育ヲ掌ル

第十條　書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ從事ス

第十條ノ二　文部省直轄諸學校職員定員令ニ於テ生徒主事補ノ專任定員ヲ配置シタル學校ノ生徒主事補ハ判任トシ其ノ他ノ學校ノ生徒主事補ハ當該學校ノ判任敎官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ命ス

生徒主事補ハ上官ノ命ヲ承ケ生徒主事ノ職務ヲ助ク

第十條ノ三　助手ハ判任トス教授又ハ助教授ノ指揮ヲ承ケ授業及實驗ノ補助ニ從事ス

第十七條　專任教官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若ハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十九條　文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員會ヲ設クルコトアルヘシ其ノ委員ハ文部大臣之ヲ命ス

二、文部省直轄諸學校職員定員令（抄）

（大正十年十二月勅令第四百五十七號）

文部省直轄諸學校專任職員ノ定員左ノ如シ

三重高等農林學校

校長一人　教授十八人　助教授十人　助手一人　書記六人

三、實業學校令（抄）

（大正九年十二月勅令第五百六十四號改正）

第一條　實業學校ハ實業ニ從事スル者ニ須要ナル知識技能ヲ授クルヲ以テ目的トシ兼テ德性ノ涵養ニ力ムヘキモノトス

第二條　實業學校ノ種類ハ工業學校、農業學校、商業學校、商船學校、水產學校其ノ他實業教育ヲ爲ス學校及實業補習學校トス

獸醫學校ハ農業學校ト看做ス

第二條ノ二　實業學校ニシテ高等ノ教育ヲ爲スモノヲ實業專門學校トス

實業專門學校ニ關シテハ專門學校令ノ定ムル所ニ依ル

四、專門學校令（抄）

（明治三十六年三月勅令第六十一號）

第一條　高等ノ學術技藝ヲ教授スル學校ハ專門學校トス

專門學校ニ於テハ人格ノ陶冶及國體觀念ノ養成ニ留意スヘキモノトス

專門學校ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ノ規定ニ依ルヘシ

第五條　專門學校ノ入學資格ハ中學校若ハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノト檢定セラレタル者以上ノ程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ但シ美術音樂ニ關スル學術技藝ヲ教授スル專門學校ニ就テハ文部大臣ハ別ニ其ノ入學資格ヲ定ムルコトヲ得

前項檢定ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第六條　專門學校ノ修業年限ハ三箇年以上トス

第七條　專門學校ニ於テハ豫科、研究科及別科ヲ置クコトヲ得

第八條　官立專門學校ノ修業年限、學科、學科目及其ノ程度並豫科、研究科及別科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ムルコトヲ得ス

第十二條　第一條ニ該當セサル學校ハ專門學校ト稱スルコトヲ得ス

五、實業學校卒業者ノ專門學校入學ニ關スル件（大正十三年三月十二日文部省告示第百九號）

專門學校入學者檢定規程第八條第一號ニ依リ左記ノ者ヲ專門學校入學ニ關シ中學校若ハ修業年限四年ノ高等女學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定ス

一、男子實業學校卒業者

但シ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年、高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年若ハ之ト同等以上ノ實業學校ノ卒業者ニ限ル

六、公立私立實業學校教員タルコトヲ得ル者ノ指定（抄）（大正八年七月八日文部省告示第百九十二號）

明治四十年文部省令第二十八號公私立實業學校教員資格ニ關スル規程第一條第三號ニ依リ指定スルコト左ノ如シ

一、實業學校ノ教員タルコトヲ得ル者左ノ如シ

官公立實業專門學校本科卒業者

七、實業學校教員養成規程（大正四年三月文部省令第七號）

第一條　東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所、東京商科大學附屬商業教員養成所、東京工業大學附屬工業教員養成所及大阪工業大學附屬工業教員養成所、名古屋高等工業學校附設工業教員養成所及橫濱高等工業學校附設工業教員養成所ノ生徒ニハ授業料ヲ徵收セス

前項養成所ノ生徒ニハ一箇月貳拾五圓以內ノ學資ヲ補給スルコトアルヘシ

帝國大學、官立大學及文部省直轄諸學校ノ學生々徒ニシテ卒業ノ後實業學校ノ教職ニ從事セントスル者ニハ授業料ヲ免除スルコトヲ得

第二條　前條養成所ノ生徒及前條第三項ニ依リ授業料ヲ免除セラレタル者ハ卒業ノ日ヨリ左ノ期間文部大臣ノ指定ニ依リ實業學校ノ教職ニ從事スル義務ヲ有ス但シ必要ノ場合ニ於テハ文部大臣ハ他ノ教職ニ從事スルノ義務ヲ負ハシムルコトアルヘシ

一、養成所ノ生徒ハ其ノ在學期間ノ二分ノ一

二、養成所ノ生徒ニシテ學資ノ補給ヲ受ケタル者ハ其補給ヲ受ケタル年限ニ第一號ノ期間ヲ加ヘタル期間

三、授業料ヲ免除セラレタル者ハ其ノ免除セラレタル期間ノ二分ノ一

第三條　前條ノ義務期間內ニ於テ學校ニ入學シ若ハ外國ニ留學セントスル者アルトキハ文部大臣ハ時宜ニ依リ之ヲ許可スルコトアルヘシ

前項ニ依リ許可ヲ受ケタル者ノ當該學校ニ在學中若ハ外國留學中ノ期間ハ前條ノ義務期間ニ算入セス

第四條　第二條ノ義務期間內ニ於テ文部大臣ノ指定ヲ受ケサルカ爲任意就職シタル者ハ其ノ旨直ニ文部大臣ニ屆出ツヘシ

前條ノ許可ヲ受ケタル者學校ヲ卒業又ハ退學シ若ハ歸朝シタルトキハ直ニ文部大臣ニ屆出ツヘシ

第五條　第一條養成所ノ生徒及同條第三項ニ依リ授業料ヲ免除セラレタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ授業費學資又ハ授業料ヲ償還セシムヘシ但シ文部大臣ハ事情ヲ酌量シテ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ

一、退學ヲ命セラレ又ハ自己ノ便宜ニ依リ退學シタルトキ

二、實業學校教員タルノ志望ヲ變更シタルトキ

三、第二條ノ義務ヲ盡サス又ハ第三條第一項ノ許可ヲ受ケスシテ入學若ハ退學シタルトキ
前項授業料ノ額ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ各教員養成所ニ於テ之ヲ定ム
第六條　地方長官ニ於テ文部大臣ノ指定ニ依リ教職ニ從事スル者ニ其ノ義務期間内ニ轉任、退職若ハ休職ヲ命シ又ハ休職期間中復職ヲ命シタルトキハ事由ヲ具シ其ノ旨直ニ文部大臣ニ報告スヘシ
文部大臣ノ指定ニ依リ教職ニ從事スル者ニシテ其ノ義務期間内ニ陸海軍現役ニ服シ若ハ戰時事變ニ際シ召集セラレタルカ爲當然休職トナリタル者アリタルトキ又ハ休職期間滿了ノ爲退職トナリタル者アルトキハ其ノ旨直ニ文部大臣ニ報告スヘシ
第七條　各養成所ニ募集スヘキ生徒ノ員數ハ文部大臣之ヲ定ム
第八條　大學及專門學校ノ學生々徒ニシテ卒業ノ後實業學校ノ教職ニ從事スル者ニハ一箇月貳拾五圓以内ノ學資ヲ補給スルコトアルヘシ
前項ノ規定ニ依リ學資ノ補給ヲ受クル者將來教員タルニ適セサルモノト認メタルトキハ文部大臣ハ學資ノ補給ヲ止ムルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テハ既ニ支給シタル學資ヲ償還セシム但シ文部大臣ハ事情ヲ酌量シテ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ
第九條　前條ノ規定ニ依リ學資ノ補給ヲ受ケタル者ハ其ノ補給ヲ受ケタル年限ノ一倍半ニ相當スル期間文部大臣ノ指定ニ依リ實業學校ノ教職ニ從事スル義務ヲ有ス但シ必要ノ場合ニ於テハ文部大臣ハ他ノ教職ニ從事スルノ義務ヲ負ハシムルコトアルヘシ
第三條乃至第六條ノ規定ハ前條ノ規定ニ依リ學資ヲ補給スヘキ學生々徒ニ關シ之ヲ準用ス

八、文部省直轄實業專門學校委託生規程（明治四十年七月文部省令第二十三號）

第一條　北海道府縣郡市町村其ノ他ノ公共團體及私人ハ文部省直轄實業專門學校生徒ニシテ卒業後其ノ公共團體又ハ私人ノ設置セル實業學校ノ教職ニ從事スヘキ者ニ學資ヲ補給シ委託生トシテ在學セシムルコトヲ得
第二條　公共團體又ハ私人ハ委託生ノ選定ヲ當該學校長ニ委囑スルコトヲ得
第三條　公共團體又ハ私人ヨリ委託生ニ補給スヘキ學資ハ一箇月拾圓以上トス
第四條　委託生ニハ授業料ヲ徵收セス
第五條　委託生ハ卒業ノ日ヨリ學資ノ補給ヲ受ケタル期間ニ一箇年ヲ加ヘタル期間當該公共團體又ハ私人ノ設置セル實業學校ノ教職ニ從事スヘキ義務ヲ有ス
第六條　委託生ニシテ在學中中途退學シ又ハ委託生タルコトヲ止ムルトキ若ハ卒業後左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ補給ヲ受ケタル學資ヲ當該公共團體又ハ私人ニ償還スヘシ但シ當該公共團體又ハ私人ニ於テ酌量スヘキ情狀アリト認メタルトキハ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトヲ得
一、前條ノ義務ヲ盡ササルトキ
二、懲戒免職ニ處セラレタルトキ
三、免許狀褫奪ノ處分ヲ受ケタルトキ
第七條　學校長ハ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

九、文部省直轄學校外國人特別入學規程（抄）（明治三十四年十一月十一日文部省令第十五號）

第一條　外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス所定ノ學科ノ一科若ハ數科ノ教授ヲ受ケントス

ル者ハ外務省、在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介アルモノニ限リ特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條　前條ニ依リ教授ヲ受ケントスル外國人ハ前條ノ紹介書ヲ添ヘ帝國大學總長若ハ學校長ニ願出ツヘシ

第三條　帝國大學總長若ハ學校長ニ於テ前條ノ出願ヲ受ケタルトキハ相當ノ學力アリト認メタル者ニ限リ之ヲ許可スヘシ但シ學校ノ設備上差支アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四條　本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケントスル者ニハ試驗ノ上之ヲ附與スヘシ

第五條　本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニハ入學試驗料、入學料及授業料ヲ徵收セサルコトヲ得

第六條　帝國大學總長及學校長ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

十、臺灣、朝鮮人文部省直轄諸學校入學ニ關スル件　（明治四十四年四月文部省令第十六號）

文部省直轄學校外國人特別入學規程ハ臺灣人若ハ朝鮮人ニ之ヲ準用ス但シ其ノ入學ニ關シテハ臺灣總督府又ハ朝鮮總督府ノ紹介ヲ要ス

十一、三重高等農林學校規程　（大正十一年一月十二日文部省令第一號）

第一條　三重高等農林學校ノ修業年限ハ三年トス

第二條　三重高等農林學校ノ學科ハ農學科、農業土木學科及林學科トス

第三條　三重高等農林學校各學科ノ學科目及其ノ程度ハ左ノ如シ但シ必要アル場合ニ於テハ毎週教授時數ヲ增減シ又休業期間ニ於テ實習實驗ヲ課シ若ハ臨時講義ヲ聽カシムルコトアルヘシ

（學科課程省略）

第四條　本校卒業者又ハ他ノ實業專門學校卒業者ニシテ本校所定ノ學科目ニ關シ更ニ研究セントスル者ハ研究生トシテ一年以內在學セシムルコトヲ得

第五條　各學科ノ學科目中一科目若ハ數科目ヲ選擇學修セントスル者ハ選科生トシテ入學セシムルコトヲ得

十二、三重高等農林學校卒業者無試驗檢定ニ關スル件　（大正十四年一月二十二日文部省告示第十二號）

明治三十六年文部省告示第三十號教員無試驗檢定ニ關スル指定學校名及學科目中左ノ通改正ス

三重高等農林學校

農業

農學科

動物　（特別講義及實驗ニ於テ動物ニ關スル科目每週七時間以上ヲ修メ其ノ成績優等ナル者ニ限ル）

植物　（特別講義及實驗ニ於テ植物ニ關スル科目每週七時間以上ヲ修メ其ノ成績優等ナル者ニ限ル）

農業土木學科

數學　（當該科目成績優等ナル者ニ限ル）

第三　學年曆

四月一日　學年始、第一學期始
同月三日　神武天皇祭
同月五日　春季休業終
同月六日　第一學期授業始
同月廿九日　天長節
七月二十日　第一學期授業終
同月廿一日　夏季休業始
八月卅一日　第一學期終
九月一日　第二學期始
同月十日　夏季休業終
同月十一日　第二學期授業始
秋分日　秋季皇靈祭
十月十七日　神嘗祭

十一月一日　本校記念日
同月三日　明治節
同月廿三日　新嘗祭
十二月廿四日　第二學期授業終
同月廿五日　大正天皇祭、冬季休業始
同月卅一日　第二學期終
一月一日　四方拜、第三學期始
同月十日　冬季休業終
同月十一日　第三學期授業始
二月十一日　紀元節
春分日　春季皇靈祭
三月廿四日　第三學期授業終
同月廿五日　春季休業始
同月卅一日　第三學期終、學年終

第四規則

三重高等農林學校規則（大正十一年一月十六日制定）

第一章　總則

第一條　本校ハ實業學校令及專門學校令ニ依リ農林及農業土木ニ關スル高等ノ學術技藝ヲ教授シ併セテ人格ヲ陶冶シ國體觀念ヲ養成スルヲ以テ目的トス

第二條　本校ニ農學科、農業土木學科及林學科ヲ置ク

第三條　各學科ノ修業年限ハ三年トス

第四條　本校ニ研究生及選科生ヲ置クコトアルヘシ

研究生及選科生ニ關シテハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外本科生ニ關スル規定ヲ準用ス

第二章　學科目及其ノ程度

第五條　各學科ノ學科目及其ノ程度ハ左ノ如シ但シ必要アル場合ニ於テハ各學科目ノ毎週教授時數ヲ增減スルコトアルヘシ

農學科

學科目＼學年	第一學年 第一學期	第一學年 第二學期	第一學年 第三學期	第二學年 第一學期	第二學年 第二學期	第二學年 第三學期	第三學年 第一學期	第三學年 第二學期	第三學年 第三學期
	每週教授時數								
修身	一	一	一	一	一	一	一	一	一
體操	二	二	二	二	二	二	二	二	二
英語	四	四	四	三	三	三	二	二	二
物理學及氣象學	二	二	二	二	(三)三				
化學及分析	三	三	三	三		一(三)二			
動物學及昆蟲學	三	(二)二	(二)二	二		二(三)			
植物學及植物病理學	(二)四	四	(二)四	(二)四	一(二)	二(二)			
鑛物學及地質學	三	二	二	二					
作物學及育種學	二	二	二	二	二		二	二	二
養蠶學	二（不定時）	二	二	二	二（不定時）	一（不定時）	二	二	二

林學大意	應用菌學	家畜榮養論	植物榮養通論	法學通論	經濟學	農政學	農業經營學	農產製造學	農業工學	農具論	土壤學及肥料學	實驗遺傳學	畜產學	園藝學
										二				
										一	二			
											二	二	二	二
					二	二	三				二	二	二	二
					二		三		二				二	二
						二	三	二	二				二	二
(二)	(三)	(二)	(二)	二		二	三	二	二				二	

農場實習(回數)	農學實驗及實習(回數)	合計	特別講義及實驗	獨逸語學	教育學	植民政策學	財政學	行政法大意	獸醫學大意
四	(不定時)	二六(二)							
四		二六(二)							
四		二六(四)							
三	(不定時)	二七(五)							
三	(不定時)	二七(五)							
三	四	二六(三)							
二	三	一〇九(七)		(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)
二	三	一〇九(七)		(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)
二	三	一〇九(七)		(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)
二	三	一〇六(二)		(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)

農業土木學科

每週教授時數

學科目 \ 學年	第一學年 第一學期	第一學年 第二學期	第一學年 第三學期	第二學年 第一學期	第二學年 第二學期	第二學年 第三學期	第三學年 第一學期	第三學年 第二學期	第三學年 第三學期
修身	一	一	一	一	一	一	一	一	一
體操	二	二	二	二	二	二	二	二	二
英語	四	四	四	三	三	三	三	二	二
數學	六	六	六	三	三	三	三	二	二
物理學及氣象學	四	四	四	三	三	三	二	二	二
植物學及植物生理學	三	三	三	二	二	二	二	二	二
鑛物學及地質學	三	二	二	二	二	二	二	二	二
化學	二	二	二	二	二	二	二	二	二
幾何畫	二	二	二	二	二	二	二	二	二
應用力學		二	二	二	二	二	二	二	二
應用水理學									
測量學	四	四	四	四	四	四	四	四	四

學科目 \ 學年	第一學年 第一學期	第一學年 第二學期	第一學年 第三學期	第二學年 第一學期	第二學年 第二學期	第二學年 第三學期	第三學年 第一學期	第三學年 第二學期	第三學年 第三學期
材料及施工法									
道路及橋梁									
農業水利學				二	二	二			
耕地整理論									
農業機械學				二	二	二			
原動機及揚水機									
作物學				二	二	二			
園藝學									
土壤學及肥料學									
農業經營學				二	二	二	二	二	二
農政學									
農業土木法規									
經濟學				二	二	二	二	二	二
法學通論									
設計及製圖				二	二	二	二	二	二
測量學	四	四	四	六	六	六	八	一二	一五

林學科

學科目 ＼ 學年	第一學期		第二學期		第三學期		第一學期		第二學期		第三學期		每週教授時數
	第一學年		第二學年		第三學年		第四學年		第五學年		第六學年		
森林植物學及森林病學	三		二		二		二		一				十
森林動物學及昆蟲學	二		二		二		二		一				八
地質學及土壤學	二		二		二		二		一				八
化學及分析	三		三		三		二		一				十二
物理學及氣象學	二		二		二		一						五
數學	三		三		四		四		一				十五
英語	二		二		二		二		一				八
獨逸語	五		五		五		五		一				二十
體操	二		二		二		二		一				八
修身	一		一		一		一		一				五
計畫及實習（回數）	(二)	二	(二)	二	(二)	二	(二)	二	(二)	二			
合計	三三	三	三三	三	三三	三	三二	三	一三	一			百二十

林學科

學科目 ＼ 學年	第一學期		第二學期		第三學期		第一學期		第二學期		第三學期		每週教授時數
	第一學年		第二學年		第三學年		第四學年		第五學年		第六學年		
林學大意	二		二										四
行政法大意													
植民政策													
獨逸語													
合計	二	二	二	二									四
實驗及實習（回數）													
計畫演習													

森林測量學	三	三	三	一	一				
測樹學				一	一	一			
林價算法及林業較利學				一	一	一			
造林學		一	二	二	二	三			
森林保護學							二	一	
森林利用學				二	三	三			
森林經理學				三	三	三			
森林工學				二	二	二			
森林理水及砂防工學				二	三	三			
林產製造學							三	三	
森林管理法							二	二	
森林法規							二	二	
林政學							四	四	
經濟學及財政學				二	二	二	二	二	
法學通論及行政法大意				二	二	二	二	二	
狩獵術						二			
農學大意							二	二	
植民政策							(二)	(二)	
教育學							(二)	(一)	
特別講義及實驗							(六)	(八)	(三)
合計	二九	(三)三〇	(二)二九	(三)二九	(三)二九	三〇	(四)(六)二五	(三)(八)二四	(三)二
林學實驗及實習(回數)	二	二	二	四	四	四	三	三	
森林演習				不定時	同上	同上	同上	同上	
森林事務見習							不定時	同上	同上

備考　各學科毎週教授時數中括弧()ヲ附スルモノハ實驗ノ時數トシ括弧（　）ヲ附スルモノハ農學科ニ在リテハ選擇科目ノ時數、農業土木學科及林學科ニ在リテハ隨意科目ノ時數トス但シ選擇科目ハ二科目以上ヲ選修セシムルモノトス

本表ノ外體操ニ關シテハ各學科各學年共四日以上ノ野外演習ヲ課スルモノトス

第三章　學年、學期及休業日

第六條　學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第七條　學年ヲ分チテ左ノ三學期トス

第一學期　自四月一日　至八月三十一日

第二學期　自九月一日　至十二月三十一日

第三學期　自一月一日　至三月三十一日

第八條　休業日ハ左ノ如シ但シ休業日ト雖實習實驗ヲ課シ又ハ臨時講義ヲ聽カシムルコトアルヘシ

一、日曜日

一、祝日、大祭日

一、本校記念日　（十一月一日）

一、春季休業　（自三月二十五日　至四月五日）

一、夏季休業　（自七月二十一日　至九月十日）

一、冬季休業　（自十二月二十五日　至一月十日）

第四章　入學、在學、休學及退學

第九條　入學ノ期ハ毎學年ノ始トス但シ臨時入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第十條　入學ヲ許可スヘキ者ハ品行方正、志望鞏固ナル男子ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當シ且入學檢定ニ合格シタル者タルヘシ

一、中學校卒業者

二、實業學校卒業者　但シ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年、高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年若ハ之ト同等以上ノ學校ヲ卒業シタル者

三、前號ニ該當スル者ノ外專門學校入學者檢定規程第十一條ニ依リ一般專門學校ノ入學ニ關シ無試驗檢定ノ指定ヲ受ケタル者

四、專門學校入學者檢定規程ニ依ル試驗檢定合格者

前項第一號乃至第三號ニ該當スル學校ノ在學者ニシテ當該學校長ヨリ其ノ年三月末日マテニ卒業スヘキ見込アリト認定セラレタルモノハ其ノ證明ヲ以テ入學ヲ願出ツルコトヲ得

第十一條　入學檢定ハ學力檢定、身體檢查及口頭試問ニ依リ之ヲ行フ

第十二條　學力檢定ヲ分チテ試驗檢定及無試驗檢定トス

第十三條　試驗檢定ハ國語、英語、數學、物理、化學、動物及植物ノ中三學科目以上ニ就キ中學校卒業程度ニ依リ之ヲ行フ

第十四條　無試驗檢定ヲ受クルコトヲ得ル者ハ中學校又ハ實業學校卒業者ニシテ在學中第三學年、第四學年及第五學年(實業學校ニ在リテハ之ニ相當スル各學年)ノ學業成績ノ席次首位ヨリ數ヘテ全數ノ十分ノ一以内ニ在ル者トス但シ卒業ノ翌年度ヲ經過セサル者ニ限ル

前項ノ場合中學校又ハ實業學校在學者ニ付テハ最終學年ノ第一學期及第二學期ノ平均學業成績ノ席次ヲ以テ最終學年ノ席次ト看做ス

第十五條　無試驗檢定ニ依リ入學ヲ許可スヘキ人員ハ各學科募集人員ノ三分ノ一以内トス

無試驗檢定ニ依リ選拔セラレサリシ者ハ試驗檢定ニ應スルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ第十六條ノ書類並入學檢定料ヲ要セス

第十六條　入學志願者ハ第二條ニ掲クル學科ニ就キ其ノ志望學科ヲ定メ左ノ書類ニ入學檢定料ヲ添ヘ學校長ニ差出スヘシ

一、入學願書(第一號書式)
二、履歷書
三、當該學校長ノ卒業證明書又ハ卒業見込證明書(卒業シタル場合ニハ還滯ナク更ニ卒業證明書ヲ差出スヲ要ス)若ハ專門學校入學者試驗檢定合格證明書
四、寫眞(入學願出前六箇月以内ニ撮影シタル脫帽半身手札形)
五、無試驗檢定ヲ受クル者ニ在リテハ身體檢查書(在學中最後ノ身體檢查書寫)

前項ノ外入學志願者ハ別ニ學業成績書(第二號書式)ヲ當該學校長ヲ經テ差出スヘシ

第十七條　入學ノ許可ヲ得タル者ハ二十日以内ニ保證人ノ連署ヲ以テ誓書(第三號書式)及戸籍抄本ヲ差出スヘシ

第十八條　保證人ハ本人ノ父兄又ハ丁年以上ノ親近者ニシテ本校ニ於テ適當ト認メタルモノタルヘシ

前項ノ父兄又ハ親近者ナキトキハ學生ノ身上ニ關シ一切ノ事件ニ付其ノ責ニ任スルニ足ルヘキ者ヲ以テ保證人ト爲スコトヲ得

第十九條　保證人死去若ハ前條ノ資格ヲ失ヒタルトキハ更ニ保證人ヲ定メ速ニ誓書

ヲ差出スヘシ

第二十條　保證人改姓、改名、改印、轉居ヲ爲シタルトキハ其ノ旨速ニ届出ツヘシ

第二十一條　學生ハ本校所定ノ制服、制帽ヲ着用スヘシ

第二十二條　學生疾病又ハ事故ニ依リ缺席スル者ハ其ノ事由ヲ記シ三日以内ニ届出ツヘシ但シ疾病ノ爲缺席七日以上ニ亘ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添附スルヲ要ス

第二十三條　學生疾病又ハ事故ニ依リ引續キ三箇月以上修業スルコト能ハサルトキハ保證人ノ連署ヲ以テ願書ヲ學校長ニ差出シ許可ヲ得テ一箇年以内休學スルコトヲ得但シ疾病ノ場合ハ醫師ノ診斷書ヲ添附スルヲ要ス

休學ヲ許可セラレタル者ハ休學期間滿了ノ時ヨリ原級ノ課程ヲ修ムヘシ但シ休學期間中ト雖其ノ事故消滅シタルトキハ願ニ依リ詮議ノ上休學ヲ解除スルコトアルヘシ

第二十四條　學生改姓、改名、改印、轉籍等ヲ爲シタルトキハ其ノ旨速ニ届出ツヘシ但シ改姓、改名、轉籍ノ届出ニハ戸籍抄本ヲ添附スルヲ要ス

第二十五條　學生ハ學校長ノ許可ヲ受クルニアラサレハ他ノ學校ニ入學シ又ハ他ノ學校若ハ官署ニ於ケル各種ノ試驗ニ應スルコトヲ得ス

前項ノ許可ヲ受クルニハ其ノ事由ヲ具シ保證人ノ連署ヲ以ヲ學校長ニ願出ツヘシ

第二十六條　學生疾病又ハ事故ニ依リ退學セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ保證人ノ連署ヲ以テ學校長ニ願出テ許可ヲ受クヘシ但シ疾病ノ場合ハ醫師ノ診斷書ヲ添附スルヲ要ス

第二十七條　本校ヲ退學シタル者再入學ヲ願出テタルトキハ缺員アル場合ニ限リ詮議ノ上試驗ヲ行ヒ原級以下ニ入學ヲ許可スルコトアルヘシ但シ場合ニ依リ試驗ヲ省略ス試驗ノ全部ヲ省略シタルトキハ入學檢定料ヲ徵收セス

第二十八條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ學籍ヲ除ク

一、性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二、學業劣等若ハ身體虛弱等ニ依リ成業ノ見込ナシト認メタル者

三、正當ノ事由ナクシテ引續キ一箇月以上缺席シタル者

四、授業料ノ納付ヲ怠リ出席停止一箇月以上ニ亘ル者

第五章　表彰及懲戒

第二十九條　學生品行方正ニシテ學業ニ精勵シ其ノ成績優等ナル者其ノ他其ノ行爲他ノ模範ト爲スニ足ルト認メタル者ハ之ヲ選拔シテ特待生ト爲シ又ハ他ノ方法ヲ以テ之ヲ表彰スルコトアルヘシ

特待生ニハ授業料ヲ徵收セス

特待生學業ヲ怠リ又ハ品位ヲ傷フ行爲アルトキハ特待生タルコトヲ罷ム

第三十條　學生校規命令又ハ訓育ノ趣旨ニ違背シ其ノ本分ヲ失フト認メタルトキハ其ノ輕重ニ依リ戒飭停學又ハ放校ニ處ス

第六章　修業及卒業

第三十一條　各學年ノ課程修了ハ該學年ニ於ケル勤惰及學業ノ成績等ヲ考查シテ之ヲ定ム

第三十二條　前條ノ考查ニ合格セサル者ハ次學年ノ始ヨリ原級ノ課程ヲ再修セシム但シ場合ニ依リ詮議ノ上假進級ヲ爲サシメ再考查ヲ行フコトアルヘシ

第三十三條　已ムヲ得サル事故ニ依リ試驗ニ缺席シタル者追試驗ヲ受ケンコトヲ願出ツルトキハ詮議ノ上之ヲ許可スルコトアルヘシ

第三十四條　第三學年ノ終ニ於テハ卒業論文ヲ提出セシメ又ハ卒業試問ヲ行フ

第三十五條　第三學年ノ課程ヲ修了シ卒業論文又ハ卒業試問ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

第三十六條　第三學年ノ成績考查ニ合格セサル者ニハ本人ノ希望ニ依リ詮議ノ上修業證書ヲ授與スルコトアルヘシ

第三十七條　本校卒業生ハ其ノ修得セル學科ニ從ヒ農學得業士、農業土木學得業士又ハ林學得業士ト稱スルコトヲ得

第三十八條　成績考查ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第七章　研究生

第三十九條　本校卒業者又ハ他ノ實業專門學校卒業者ニシテ本校所定ノ學科目ニ關シ更ニ研究セントスル者ハ詮議ノ上研究生トシテ二年以內在學ヲ許可スルコトアルヘシ

第四十條　研究生タラントスル者ハ其ノ研究セントスル事項及在學期間ヲ具シタル願書ヲ學校長ニ差出スヘシ

第四十一條　研究生其ノ研究事項ヲ結了シタル・トキハ研究報告書ヲ作リ指導教官ヲ經ヲ之ヲ學校長ニ差出スヘシ

研究ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ研究證書ヲ授與ス

第八章　選科生

第四十二條　各學科ノ學科目中一科目若ハ數科目ヲ選擇學修セントスル者ハ詮議ノ上選科生トシテ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第四十三條　選科生ニシテ在學中ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ修了證書ヲ授與ス

第九章　入學檢定料、授業料及實驗實習費

第四十四條　入學檢定料ハ金五圓トス入學願書ト共ニ納付スヘシ

第四十五條　授業料ハ一學年本科生ハ金八拾圓、選科生ハ金五拾五圓トス研究生ニハ授業料ヲ徵收セス

第四十六條　授業料ハ一學年ヲ左ノ三期ニ分チ每期ノ始ニ於テ之ヲ徵收ス

本科生

第一期　自四月　至八月　金參拾貳圓

第二期　自九月　至十二月　金貳拾八圓

第三期　自一月　至三月　金貳拾圓

選科生

第一期　自四月　至八月　金貳拾參圓

第二期　自九月　至十二月　金貳拾圓

第三期　自一月　至三月　金拾貳圓

第四十七條　研究生及選科生ニハ實驗實習ニ要スル費用ノ全部若ハ一部ヲ徵收スルコトアルヘシ

第四十八條　入學檢定料、授業料及實驗實習費ハ一旦納付ノ後ハ何等ノ事由アリト雖モ之ヲ返付セス

第四十九條　本科生中卒業後實業學校ノ教職ニ從事セントスル志望確實ナル者ニハ授業料ヲ免除スルコトアルヘシ

前項ニ依リ授業料ヲ免除セラレタル者ハ實業學校教員養成規程ニ依リ卒業後實業學校ノ教職ニ從事スル義務アルモノトス

第四十九條ノ二　學生中學資ノ支辨極メテ困難ナリト認ムル者ニハ家庭ノ事情及性行、學業成績等ヲ調査ノ上授業料ヲ減免スルコトアルヘシ

規　則

前項授業料ノ減免ハ毎學年ノ始メニ於テ之ヲ定ム但シ學年ノ中途ニ於テ之ヲ定メタルトキハ次ノ徴收期分ヨリ減免ス

第四十九條ノ三　前條ニ依リ授業料ノ減免ヲ受クル者ニシテ其ノ事情止ミタリト認ムル場合又ハ學業ヲ怠リ若ハ校則ニ悖ル行爲アリタル場合ハ其ノ翌月ヨリ授業料ヲ徴收ス授業料ノ月割額ハ一學年分ノ十分ノ一トス

第五十條　停學ヲ命シ若ハ休學ヲ許可シタル者ニハ次期ヨリ授業料ヲ徴收セス

各學期始業日以後授業料徴收期日以前ニ停學、休學又ハ退學シタルトキハ其ノ期ノ授業料ハ一學年分ノ十分ノ一トシ指定ノ日ニ於テ之ヲ徴收ス

第五十一條　休學又ハ停學ヲ解除セラレタル者若ハ特待生タルコトヲ罷メラレタル者ニハ其ノ期ヨリ授業料ヲ徴收ス

第五十二條　授業料ハ定日マテニ納付スヘシ但シ定日以後ニ入學ヲ許可セラレタル者ハ入學許可ノ日ヨリ十日以内ニ之ヲ納付スヘキモノトス

第五十三條　授業料ヲ定日ニ納付セサルトキハ之ヲ催告シ尚納付ヲ怠ル場合ハ出席ヲ停止ス

第十章　寄宿舍

第五十四條　寄宿舍ニ關スル規則ハ別ニ之ヲ定ム

附　則

第四十五條及第四十六條ハ昭和四年度入學者ヨリ之ヲ適用シ其ノ以前ノ入學者ニ對シテハ仍從前ノ規定ニ依ル

第四十九條ノ二及第四十九條ノ三ハ昭和七年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一號書式

入學願書

志望學科　第一　何學科
　　第二　何學科

試驗檢定（又ハ無試驗檢定）

受驗希望場所　何地（但シ試驗所ヲ二箇所以上トシ廣告シタル場合）

私儀今般御校前記ノ學科ニ入學志望ニ付御許可相成度入學檢定料相添ヘ此段相願候也

本籍

規　則

年　月　日　　住所（受信ノ場所）

三重高等農林學校長氏名殿

氏名　印（氏名ニ片假名ヲ付スヘシ）

年　月　日生

履歴書（同一紙裏面ヨリ始ム）

學業

一、何年月日ヨリ何學校ニ入學、何年何月何學校卒業又ハ何年何月ヨリ何年何月マテ何某ニ就キ何學修業

一、何年何月何日何學校ニ於テ專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗檢定合格證明書ヲ受ク等

職業

一、何年何月何官職拜命又ハ何業ニ從事、何年何月退官、廢業又ハ現今何官在職何業從事等

兵役

一、何年何月何隊入營、何年何月滿期（歸休）除隊又ハ補充國民軍編入等

賞罰

一、何年何月何所ニ於テ何々ノ賞罰ヲ受ク等

第二號書式

學業成績書

右者本校在學中三年間ノ學業成績左記之通ニ候也

年　月　日　　學校長　氏名

三重高等農林學校長氏名殿

學科目＼學年	第　學年	第　學年	最終學年
何々			
何々			
何々			

平均點數		
席次	人中 番	人中 番
修了年次	昭和 年	昭和 年

注意　本書ハ當該學校長ヨリ直接本校々長ニ差出スモノトス

第三號書式

誓書

私儀今般御校へ入學許可相成候ニ付テハ校規命令及訓育ノ御趣旨ヲ遵守シ專心學業ヲ勉勵可致候仍テ保證人連署ヲ以テ誓書如此候也

年　月　日

本籍
住所
族籍　戶主又ハ何某何男若ハ弟等
氏名　印
年月日生

本籍

三重高等農林學校長氏名殿

住所
族籍　職業　本人トノ關係
右保證人　氏名　印
年月日生

第五 細則

一、事務規程（大正十一年四月二十日制定）

第一章 總則

第一條　校務ヲ掌理スル爲本校ニ庶務課、會計課、教務課、學生課、圖書課、農學科、農業土木學科、林學科、農場及演習林ヲ置ク

第二條　各課、農場及演習林ニ長ヲ置キ各科ニ主事ヲ置ク

第三條　課長ハ教官又ハ書記ノ中ヨリ學校長之ヲ命シ主事、農場長及演習林長ハ教官ノ中ヨリ學校長之ヲ命ス

第四條　校務ハ總テ學校長ノ決裁ヲ經ルニアラサレハ施行スルコトヲ得ス但シ事ノ輕易ニシテ先例アルモノハ各主管者ニ於テ之ヲ專行スルコトヲ得

第五條　各主管者ハ學校長ノ命ヲ受ケ所管ノ事務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス

第六條　所屬職員ハ主管者ノ指揮ヲ受ケ其ノ事務ニ從事ス

第七條　各主管者事故アリテ執務スルコト能ハサルトキハ所屬首席者其ノ事務ヲ代理ス但シ時宜ニ依リ特ニ代理ヲ命スルコトアルヘシ

第八條　分掌セル校務ノ相關聯スルモノハ之ヲ合議スヘシ事務ノ所屬不明ナルモノアルトキハ學校長ノ指定ヲ受ケ之ヲ處理スヘシ

第二章 分掌

第九條　庶務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一、御眞影及勅語謄本ニ關スル事項
二、學校長ノ官印及學校印ノ保管ニ關スル事項
三、公文書類ノ接授、發送及其ノ整理保管ニ關スル事項
四、庶務課ニ屬スル公文書類ノ審議立案及其ノ整理保管ニ關スル事項
五、儀式ニ關スル事項
六、官吏及雇員等ノ進退、賞罰及身分ニ關スル事項
七、敍位及敍勳ニ關スル事項
八、規則ノ制定、改廢及命令傳達ニ關スル事項
九、學校一覽及記錄編纂ニ關スル事項

一〇、統計報告ニ關スル事項
二、法律命令ノ加除訂正ニ關スル事項
三、名簿履歷書及出勤簿ニ關スル事項
三、會議ニ關スル事項
四、宿直ニ關スル事項
五、庶務課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項
六、他ノ主管ニ屬セサル一切ノ事項

第十條　會計課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一、歲入歲出豫算及決算ニ關スル事項
二、物品ノ出納及保管ニ關スル事項
三、金錢ノ出納及保管ニ關スル事項
四、官有財產及資金ノ監理ニ關スル事項
五、建物及校地ノ使用營繕ニ關スル事項
六、物品購入及不用品處分ニ關スル事項

七、傭人ノ進退賞罰及取締ニ關スル事項
八、校舍內外ノ洒掃ニ關スル事項
九、建物及校地ノ警備取締ニ關スル事項
一〇、電燈電話瓦斯給水及煖房ニ關スル事項
二、會計課ニ屬スル公文書類ノ審議立案及其ノ整理保管ニ關スル事項
三、會計課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項
三、其ノ他會計ニ關スル一切ノ事項

第十一條　教務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一、教室講堂教具教材ノ設備及整理保管ニ關スル事項
二、教授事項ノ分擔及日課ノ配當ニ關スル事項
三、授業及休業ニ關スル事項
四、學生募集並ニ入學檢定ニ關スル事項
五、學生ノ入學退學休學及學籍ニ關スル事項
六、成績考查進級及卒業ニ關スル事項

七、教官會議ニ關スル事項
八、修學旅行ニ關スル事項
九、學事報告ニ關スル事項
一〇、教務ニ屬スル公文書類ノ審議立案及其ノ整理ニ關スル事項
二、教務課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項
三、參觀人ニ關スル事項
三、其ノ他教務ニ關スル一切ノ事項

第十二條　學生課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一、學生ノ訓育並ニ賞罰ニ關スル事項
二、學生ノ風紀取締ニ關スル事項
三、學生ノ衛生及身體檢査ニ關スル事項
四、學生ノ集會及印刷物ニ關スル事項
五、學生ノ願届ニ關スル事項
六、學生ノ兵役ニ關スル事項

七、學生ノ入退舍、外泊、通學、入院、歸省及旅行ニ關スル事項
八、寄宿舍ノ取締及管理ニ關スル事項
九、寄宿舍ノ炊事及出入商人ニ關スル事項
一〇、非常事變ニ關スル事項
二、學生課ニ屬スル公文書類ノ審議立案及其ノ整理ニ關スル事項
三、學生課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項
三、其ノ他學生取締ニ關スル一切ノ事項

第十三條　圖書課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一、圖書ノ出納、整理及保管ニ關スル事項
二、圖書ノ貸付ニ關スル事項
三、書庫及閱覽室ニ關スル事項
四、官報、新聞、雜誌、年報、一覽等ノ整理保存ニ關スル事項
五、圖書課ニ關スル物品ノ整理保管ニ關スル事項
六、圖書課ニ屬スル公文書類ノ審議立案及其ノ整理ニ關スル事項

七、圖書ノ調査ニ關スル事項
八、其ノ他圖書ニ關スル一切ノ事項

第十四條　農學科、農業土木學科及林學科ニ於テハ各左ノ事項ヲ管掌ス

一、當該學科ニ屬スル學科目ノ教授ニ關スル事項
二、前號ニ伴フ建物、試驗地及物品ノ整理保管ニ關スル事項
三、教授要旨及教授細目ノ編纂整理ニ關スル事項
四、教授分擔ニ關スル事項
五、事業功程ニ關スル事項
六、農學科ニ於テハ植物園ニ關スル事項
七、林學科ニ於テハ林學實習場ニ關スル事項
八、其ノ他當該學科ニ關スル事項

第十五條　農場ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一、農場ノ經營管理ニ關スル事項
二、農事實驗實習ニ關スル事項

三、養蠶實習ニ關スル事項
四、家畜飼育管理ニ關スル事項
五、農產製造及畜產製造實習ニ關スル事項
六、生產物處分ニ關スル事項
七、所屬建物、物品ノ整理保管ニ關スル事項
八、其ノ他農場ニ關スル事項

第十六條　演習林ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一、演習林ノ經營管理ニ關スル事項
二、森林演習ニ關スル事項
三、生產物處分ニ關スル事項
四、所屬建物、物品ノ整理保管ニ關スル事項
五、其ノ他演習林ニ關スル事項

二、物品會計細則（大正十二年四月二十一日制定）

第一條　本校物品會計ハ物品會計規則及文部省直轄各部物品會計規程ニ基キ本則ニ據リ處理スヘシ

第二條　物品ノ種別ハ左ノ項目ニ從ヒ之ヲ區分スヘシ

備品
- 通常備品（共用／專用）
- 學術用備品（器具／標本機械）

動物

圖書

消耗品

通常消耗品

實驗用消耗品（藥品、材料及雜品／飼料、肥料、種苗）

第三條　備品ニハ品名、番號及校名ヲ記載シタル標札ヲ附スヘシ之ヲ各部局ニ支給スル場合ハ更ニ其ノ部局名ヲ記入スルモノトス但シ之ヲ附スルコト能ハサル物品ニ付テハ適當ノ方法ニ依リ整理スヘシ

第四條　各部局ニ於テ物品ノ支給ヲ受ケントスルトキハ其ノ品名、數量及需要ノ事由等ヲ記載セル請求書ヲ會計課ニ差出スヘシ但シ註文上仕樣書及圖解等ヲ要スルモノハ之ヲ添附スヘシ

第五條　會計課ニ於テ前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ物品ノ在庫品ナルトキハ學校長ノ許可ヲ經テ直ニ支給ノ手續ヲ爲シ之ヲ當該物品監守者又ハ物品取扱主任ニ交付シ新ニ購入ヲ要スルモノハ價格ヲ記シ學校長ノ許可ヲ經テ購入及支給ノ手續ヲ爲スヘシ

第六條　通常所要ノ物品ハ會計課ニ於テ一箇年ノ所要高ヲ豫定シ學校長ノ許可ヲ經テ一回若ハ數回ニ取纏メ購入ノ手續ヲ爲シ之ヲ倉庫ニ藏置シ各部局ノ請求ニ應シ支給ノ手續ヲ爲スヘシ

第七條　各部局ニ於テ生產シタル物品ハ當該物品取扱主任ニ於テ其ノ品名、數量、評價及引繼年月日ヲ記載シ之ヲ物品會計官吏ニ引繼クヘシ

第八條　前條生產物又ハ保管轉換若ハ寄贈ニ係ル物品ハ物品會計官吏ニ於テ其ノ品名、數量及價格若ハ評價ヲ附シ學校長ノ許可ヲ經テ藏置、賣却又ハ支給ノ手續ヲ爲スヘシ

第九條　各部局ノ備品ニ付物品監守者、消耗品ニ付物品取扱主任一名若ハ數名ヲ置クヘシ

其ノ監守區域及取扱物品ノ種目ハ別ニ之ヲ定ム

第十條　職員執務用机、椅子類及被服類ハ專用備品トシ專用者各自之ヲ監守シ其ノ責ニ任スヘシ

物品監守者及物品取扱主任ハ各自物品ノ使用又ハ取扱ニ關シ其ノ責ニ任スヘシ

第十一條　職員及傭人ノ新任轉免ノ際ハ會計課ハ其ノ都度專用備品ノ支給、返付ノ事ニ當ルヘシ

第十二條　物品監守者又ハ物品取扱主任物品ノ支給ヲ受ケタルトキハ直ニ備品ハ監守簿ニ、消耗品ハ受拂簿ニ記帳シ現物ト對照ノ上所定ノ用紙ニ領收ノ印ヲ押捺シ遲滯ナク物品會計官吏ニ返付スヘシ但シ備品ニ在リテハ監守簿ニ物品備付ノ場所ヲ摘記シ其ノ所在ヲ明ニシ消耗品ニ在リテハ其ノ受拂殘高ヲ明確ニスヘシ

第十三條　物品監守者變更シタルトキハ新舊監守者及會計課員立會ノ上現品ト關係書類トヲ照合シ引繼ヲ爲スヘシ引繼ヲ了シタルトキハ新舊監守者連署シ其ノ旨物品會計官吏ヲ經テ學校長ニ報告スヘシ

第十四條　物品監守者間ニ於テ物品監守換ノ必要ヲ生シタルトキハ其ノ旨會計課ニ通知シ制規ノ手續ヲ經テ現品ノ受授ヲ爲スヘシ

第十五條　物品監守者監守中ノ物品ニシテ自然ニ毀損シ修理ヲ要スルモノアルトキハ所定ノ請求書ヲ添ヘ會計課ニ差出スヘシ

會計課ニ於テ前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ學校長ノ許可ヲ經テ修理ノ手續ヲ爲スヘシ

第十六條　物品監守者監守中ノ物品不用トナリ又ハ毀損シ修理ヲ加フルモ使用ノ見込ナキモノアルトキハ其ノ旨所定ノ物品返付用紙ニ記載シ現品ト共ニ會計課ニ差出シ物品會計官吏ノ受領證ヲ受ケ物品監守簿ニ其ノ事由、年月日ヲ記載シ之ヲ抹消シ置クヘシ

第十七條　監守物品ノ標札ノ汚損若ハ紛失シタルモノアルトキハ物品監守者ハ直ニ

會計課ニ通告シ更ニ標札ノ貼付ヲ受クヘシ

第十八條　監守物品ニシテ紛失シタルモノアルトキハ物品監守者ハ其ノ品名、數量、番號等ヲ取調ヘ其ノ實況ヲ詳記シタル始末書ヲ作リ物品會計官吏ヲ經テ學校長ニ申報スヘシ

第十九條　不用ニ歸シタル物品又ハ毀損ノ物品ニシテ修理使用ノ見込ナキモノアルトキハ物品會計官吏ニ於テ處分案ヲ具シ學校長ノ決裁ヲ受クヘシ

第二十條　使用中ノ物品ハ物品會計官吏左ノ各項ニ依リ之ヲ監督スヘシ

一、備品ハ毎年一回以上物品出納簿ト各部局物品監守簿トヲ照合シ更ニ監守簿ト現品トヲ照査スルコト

二、消耗品ハ毎學期一回以上物品出納簿ト消耗品受拂簿トヲ照合シ更ニ受拂簿ト現在品トヲ照査スルコト

三、前項ノ調査ニ於テ物品ノ亡失、毀損ヲ發見シタルトキ又ハ物品ノ使用上ニ付意見アルトキハ學校長ニ申報シ其ノ決裁ヲ受クヘシ

第二十一條　物品會計官吏ハ物品ノ出納保管ヲ明確ナラシムル爲左ノ帳簿ヲ備ヘ之ヲ整理スヘシ

一、備品出納及支給簿

本簿ニハ圖書以外ノ備品ヲ第二條ノ物品種別ニ從ヒ各冊ニ別チ種別順、品目毎ニ細別シ口座ヲ設ケ品名、數量、價格、番號、年月日、納人等ヲ登記シ供用、在庫ノ現數並ニ物品ノ出納ヲ明ニスヘシ

貴重物品ニ付テハ其ノ製作番號又ハ現品タルヲ知ルニ足ル事項ヲ關係書ニ記入スヘシ

二、圖書出納簿

本簿ニハ圖書ノ部門別ニ從ヒ圖書名、部數、冊數、價格、番號、納人等ヲ登記シ其ノ出納ヲ明ニスヘシ

三、消耗品出納簿

本簿ニハ通常消耗品ニ在リテハ帳簿用紙類、筆墨、印肉類、郵便切手類、印刷物類、薪炭油類、雜品類、雜用品類、實驗用消耗品ニ在リテハ實驗材料及雜品類、藥品類、肥料類、飼料類、種苗類等ニ區別シ品名、數量、價格、年月日、納人等ヲ登記シ其ノ出納ヲ明ニスヘ

細則

シ但シ通常消耗品ニ在リテハ品目毎ニ細別シ口座ヲ設ケ登記スヘシ

四、生産品出納簿

本簿ニハ實驗實習ニ依ル生産品又ハ製造品ノ品名、數量、價格、年月日等ヲ登記シ其ノ出納ヲ明ニスヘシ

五、專用備品支給簿

本簿ニハ職員又ハ傭人ニ支給スル專用備品ノ品名、數量、番號、價格、年月日等ヲ登記シ物品會計官吏ト其ノ支給ヲ受クルモノトノ受授ヲ明ニスヘシ

第二十二條　各部局物品監守者又ハ物品取扱主任ニ於テハ物品ノ出納監守ヲ明確ナラシムル爲左ノ帳簿ヲ備ヘ之ヲ整理スヘシ

一、備品監守簿

本簿ニハ圖書以外ノ監守物品ノ品名、數量、番號、價格、年月日等ヲ登記シ監守物品ノ現況ヲ知ルト共ニ現品ノ照査ニ便ナラシムヘシ

二、圖書監守簿

本簿ニハ部門毎ニ口座ヲ設ケ圖書名、部數、冊數、價格、年月日等ヲ登記シ圖書ノ現況ヲ知ルト共ニ現品ノ照査ニ便ナラシムヘシ

三、消耗品受拂簿

本簿ニハ郵便切手類以外ノ消耗品ヲ消耗品出納簿ノ順序ニ基キ品目毎ニ口座ヲ設ケ數量及受拂ノ年月日ヲ登記シ受拂者ノ證印ヲ押捺セシムヘシ

四、郵便切手類受拂簿

本簿ハ庶務課ニ之ヲ備ヘ種別毎ニ口座ヲ設ケ數量及受拂ノ年月日ヲ登記シ當該物品取扱主任ハ常ニ帳簿ノ殘高ト現品トヲ照査スヘシ

第二十三條　本校ニ物品檢閱委員ヲ置キ定期、臨時ノ二種ニ分チ毎年一回以上實地ニ就キ左ノ各項ヲ檢査セシム但シ定期檢閱ハ八月トシ臨時檢閱ハ臨時必要アリト認メタル場合ニ於テ之ヲ執行ス

一、物品保管ノ適否

二、備品使用ノ適否

三、消耗品消費ノ適否

四、物品缺損ノ有無

五、帳簿ト現品トノ對照

第二十四條　物品檢閱委員ハ委員長一名、委員若干名トシ職員中ヨリ學校長之ヲ命ス

第二十五條　物品檢閱ハ在庫品ニ在リテハ物品會計官吏、使用中ノ物品ニ在リテハ物品監守者、消耗品ニ在リテハ物品取扱主任ニ就キ其ノ保管ニ屬スル物品ノ全部ヲ精細ニ檢査スヘシ

前項ノ檢閱ヲ受クル者ハ實地ニ就キ檢閱委員ノ質問ニ對シ答辯スヘシ

第二十六條　物品檢閱委員檢査ヲ了シタルトキハ帳簿ニ其ノ年月日ヲ記シ署名スヘシ

第二十七條　物品檢閱上物品ニ缺損アリタルトキハ檢閱委員ニ於テ當該責任者ヨリ補塡ノ方法及期限ヲ明記シタル始末書ヲ徵スヘシ

第二十八條　物品檢閱委員其ノ檢閱ヲ了シタルトキハ檢閱ノ顚末ニ意見ヲ具シ關係書類ヲ添ヘ十五日以內ニ委員長ヲ經テ學校長ニ申報スヘシ

第二十九條　本則ニ據ル諸帳簿並諸表ハ別紙樣式ニ依リ調製スヘシ

備品監守區域及消耗品取扱種目表

部局名	備品監守區域	消耗品取扱種目
庶務課	校長室、講堂、貴賓室、會議室、應接室、奉安殿、庶務課室	郵便切手及端書
教務課	普通教室、教官室、教務課室	通常消耗品中教授用ノモノ
會計課	會計課室及他ノ部局ニ屬セサル箇所	通常消耗品
學生課	寄宿舍、學生集會所、消防器具置場、銃器室、武道場、學生控所、學生課室、弓道場、更衣室	
圖書課	圖書館、書庫	
植物學實驗室	植物及植物病理實驗室、培養基製造室、定溫器室、細菌室、博物教室、硝子室	實驗用消耗品
動物學實驗室	動物研究室、昆蟲研究室、顯微鏡寫眞室、顯微鏡實驗室、昆蟲飼育室	同
物理學實驗室	物理實驗室、物理器具機械室、電池室、教官室、物理教室、氣象觀測所、發電機室	同
化學實驗室	分析室、天秤室、化學器具機械室、試藥室、教官室、化學教室、藥品庫、瓦斯發生室、蒸餾室、農產製造室、有毒瓦斯處理室	同
養蠶學實驗室	養蠶室、蠶種貯藏庫、乾燥室	同
園藝學實驗室	園藝研究室、溫室、熱帶植物溫室	同
實驗農場園藝實習	園藝圃場、固定溫床、土壤作業室	同

畜産學實驗室	畜産實驗室、家畜家禽舍、飼料室、燻煙室、酪農室、秤場、孵卵器室	實驗用消耗品
作物實驗室	作物實驗室、作物栽培實驗室	同
農學科標本室	農學科標本室	
農政研究室	農政研究室	
農業土木學科	農業水利研究室、機械研究室、應用力學研究室材料、實驗室、機械實驗室、農業土木測量機械室、農業土木學科製圖室、農業土木學科標本室、農業工學實驗室	實驗用消耗品
林學科	森林理水及砂防工研究室、森林利用研究室、造林及經理研究室、林政研究室、林學實驗室、林學科標本室、林學測量機械室、林學科製圖室、林產製造室、演習林	同
實驗農場	農場管理室及實習室、作業室、收納室、穀物庫、農業器具機械室、堆肥舍、物置、藁置場、簡易堆肥及水肥舍、燻蒸室、農夫詰所、ポンプ室	同
農業機械製作室	農業機械製作室	通常消耗品中事務用ノモノ 實驗用消耗品

三、圖書館規程（大正十三年十二月十七日制定）

總則

第一條　本校圖書館ハ本校ノ圖書ヲ保管シ本校職員及學生ノ閱覽又ハ貸付ニ供スタルモノハ圖書ヲ閱覽シ又ハ之ヲ借受クルコトヲ得

第二條　圖書ヲ分チテ普通圖書及特別圖書ノ二種トス

第三條　本校卒業者、官廳學校職員、公私團體ノ役員又ハ個人ニシテ學校長ノ許可ヲ經

第四條　本館員ノ外圖書ノ出納ヲ爲スコトヲ得

圖書閱覽

第五條　閱覽室ハ休業日ヲ除ク外每日之ヲ開ク但シ開閉ノ時限ハ變更ノ都度之ヲ揭示ス

第六條　學生閱覽室ニ入ラントスルトキハ圖書閱覽票ヲ館員ニ渡シ置キ退場ノ際之ヲ受取ルヘシ

第七條　圖書ヲ借覽セントスル者ハ所定ノ圖書閱覽傳票用紙ニ相當事項ヲ記入シ館員ニ差出シ圖書ヲ借受ケ閱覽了ラハ直ニ之ヲ返納スヘシ但シ閱覽冊數ハ一時ニ三冊ヲ超ユルヲ得ス

第八條　圖書ハ必ス閱覽室ニ於テ閱覽スヘシ閱覽室備付ノ圖書及雜誌類ハ定メタル席ニ於テ閱覽シ閱覽了ラハ直ニ所定ノ位置ニ納メ置クヘシ

第九條　閱覽室ニ在リテハ靜肅ヲ旨トシ音讀談話、喫煙等ヲ爲スヘカラス

第十條　閱覽室ニハ圖書、文房具ノ外他ノ物品ヲ携帶スルコトヲ得ス

第十一條　圖書閱覽票ハ他ニ轉貸スルコトヲ許サス

圖書貸付

第十二條　圖書ヲ借受ケントスル者ハ所定ノ圖書借受證用紙ニ相當事項ヲ記入シ捺印ノ上館員ニ差出スヘシ

第十三條　圖書借受ノ冊數ハ左ノ制限ヲ超ユルコトヲ得ス但シ學校長若ハ當該學科主任教官ノ證明ニ依リ圖書課長ノ承諾ヲ得タルモノハ此ノ限ニ在ラス

教官　五冊　其ノ他　二冊

第十四條　教授上又ハ事務上必要アルトキハ前條ノ外圖書ヲ借受ケ研究室又ハ事務室ニ之ヲ備付クルコトヲ得此ノ場合ニハ當該學科主任教官又ハ課長其ノ保管ノ責ニ任スルモノトス

第十五條　圖書館ニ所藏スル教科書ニ就キテハ每學年ノ始メ當該教官ニ於テ豫メ冊數ヲ取纏メ借受ノ申出アルトキハ之ヲ貸付スルコトアルヘシ但シ當該教官其ノ保管ノ責ニ任スルモノトス

第十六條　特別圖書及普通圖書ノ中辭書、諸學科ニ通スル參考書及閱覽室備付ノ圖書ハ之ヲ貸出スコトヲ得ス但シ學校長ノ許可ヲ得タルモノハ此ノ限ニ在ラス

第十七條　新着ノ圖書雜誌等ハ受入後一週間ハ之ヲ貸付セス

第十八條　凡テ借受ケタル圖書ハ他ニ轉貸スルコトヲ許サス但シ第十四條ニ依ル圖書ハ第十二條ノ手續ヲ準用シテ他ニ貸付スルコトヲ得

第十九條　學生ニシテ圖書ヲ借受ケタルモノハ十日以內ニ之ヲ返納スヘシ若シ引續キ借受ノ必要アルトキハ更ニ第十二條ノ手續ニ依ルヘシ但シ第十五條ニ依リ借受ケタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第十三條ニ依リ職員ノ借受ケタルモノ及第三條ニ依リ借受ケタルモノヽ借受期間ハ一箇月以內トス

第二十條　凡テ借受ケタル圖書ハ夏季及冬季休業前又ハ每學年ノ終ニ於テ指定ノ期日マテニ悉皆返納スヘシ但シ第十四條ニ依ルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條　夏季及冬季休業中圖書ヲ借受ケントスル者アルトキハ職員ハ圖書課長

細則

學生ハ圖書課長及當該學科教官ノ許可ヲ得タルモノニ限リ之ヲ貸付クルコトヲ得
但シ該圖書ハ夏季ニ於テハ九月十五日マテニ、冬季ニ於テハ一月十五日マテニ返納スヘシ

第二十二條　貸付シタル圖書ハ第十三條、第十四條及第十五條ノ孰レニ依ルモノタルヲ問ハス臨時返納セシメ之ヲ點檢スルコトアルヘシ但シ第十四條ニ依ル圖書ニ就キテハ時宜ニ依リ本館員出張ノ上點檢スルコトヲ得

第二十三條　職員退職、轉任ノ場合、學生卒業、退學、休學等ノ場合ハ其ノ借受ケタル圖書ヲ直ニ返納スヘシ

圖書檢索

第二十四條　各部局長及教官公務上必要アルトキハ圖書館員ノ承諾ヲ得テ書庫内ニ入リ圖書ノ檢索ヲ爲スコトヲ得

第二十五條　圖書ヲ檢索スル者ハ圖書ノ位置ヲ錯亂セサルハ勿論出納者ニ障礙ヲ及ホササル樣注意スヘシ

制裁

第二十六條　借受ケタル圖書ハ借受者其ノ保存ノ責ニ任シ若シ紛失汚損等ノ行爲アルトキハ同一ノ圖書ヲ以テ償ハシメ又ハ之ヲ修補セシム但シ時宜ニヨリ相當ノ代償ヲ以テ辨償セシムルコトアルヘシ

第二十七條　本則ニ違背シタルモノ其ノ他本館員ニ於テ必要アリト認ムルモノアルトキハ一定ノ期間又ハ無期限ニ圖書ノ閱覽及貸付ヲ禁スルコトアルヘシ

第二十八條　圖書ヲ辨償セシメ又ハ閱覽、貸付ヲ禁スヘキモノアリト認ムルトキハ圖書課長ハ豫メ意見ヲ具シ學校長ニ稟申スヘシ

四、農場規程（昭和六年六月二十六日制定）

第一條　場務ヲ處理スル爲農場ニ左ノ九部ヲ置ク

一、總務部

細則

二、作物部
三、園藝部
四、栽桑部
五、養・蠶部
六、畜産部
七、農産製造部
八、林産製造部
九、森林苗圃部

第二條　各部ニ主任ヲ置キ教官ノ中ヨリ學校長之ヲ命ス
主任ハ農場長ノ指示ニ依リ部務ヲ處理ス

第三條　各部ニ於テ處理スヘキ事務凡ソ左ノ如シ但シ事務ニシテ二部以上ニ關聯スルモノニ就テハ關係各部ハ總務部ヲ經協議ノ上之ヲ處理スルモノトス

一、總務部

(一)農場ノ一般的經營管理ニ關スル事項

(二)生産物處分ニ關スル事項
(三)肥料及通常消耗品ノ購入配給ニ關スル事項
(四)傭人ニ關スル事項
(五)各種事業ニ對スル經濟調査ニ關スル事項
(六)氣象觀測ニ關スル事項
(七)農場主任會議ニ關スル事項
(八)公文書類ノ審議立案及整理保管ニ關スル事項
(九)他部ニ屬セサル土地、建物、物品ノ整理保管ニ關スル事項

二、作物部

(一)普通作物及特用作物ニ關スル事項
(二)專用器具機械、共用農具及動力農具ニ關スル事項
(三)灌漑排水ニ關スル事項
(四)關係土地建物ノ整理保管ニ關スル事項

三、園藝部

(一)園藝ニ關スル事項
(二)園藝生産物加工ニ關スル事項
(三)專用器具機械ニ關スル事項
(四)關係土地建物ノ整理保管ニ關スル事項

四、栽桑部

(一)栽桑ニ關スル事項
(二)專用器具機械ニ關スル事項
(三)關係土地建物ノ整理保管ニ關スル事項

五、養蠶部

(一)養蠶ニ關スル事項
(二)養蠶生産物加工ニ關スル事項
(三)專用器具機械ニ關スル事項
(四)關係土地建物ノ整理保管ニ關スル事項

六、畜産部

(一)家畜、家禽ニ關スル事項
(二)畜産物加工ニ關スル事項
(三)飼料作物ニ關スル事項
(四)厩肥ノ製造ニ關スル事項
(五)專用器具機械ニ關スル事項
(六)關係土地建物ノ整理保管ニ關スル事項

七、農産製造部

(一)農産製造ニ關スル事項
(二)專用器具機械ニ關スル事項
(三)關係土地建物ノ整理保管ニ關スル事項

八、林産製造部

(一)林産製造ニ關スル事項
(二)專用器具機械ニ關スル事項
(三)關係土地建物ノ整理保管ニ關スル事項

九、森林苗圃部
(一)森林苗圃ニ關スル事項
(二)專用器具機械ニ關スル事項
(三)關係土地建物ノ整理保管ニ關スル事項

第四條　各部ハ左ノ事項ニ關スル書類ヲ總務部ニ提出スヘシ

一、每年度學生實驗實習計畫
二、每年度事業計畫及經費豫算
三、前年度事業成績
四、各學期學生實驗實習成績
五、物品ヲ購入シタルトキハ其ノ品目,數量及價格
六、其ノ他總務部ニ於テ必要ト認ムル事項

前項中第一號乃至第四號ニ就テハ總務部ニ於テ各總括編成ノ上農場長ニ提出シ農場長ハ之ヲ農場主任會議ノ議ニ附スヘシ

前項中第一號及第二號ニ關シ實施上變更ヲ生シタルトキ又ハ各部既定計畫以外臨時實施ヲ要スヘキ事項ヲ生シタルトキハ之ヲ總務部ニ報告スヘシ但シ其ノ重要ナルモノニ就テハ豫メ變更案又ハ實施案ヲ總務部ニ提出シ農場主任會議ノ議ヲ經ルヲ要ス

第五條　農場主任會議ハ各部主任ヲ以テ組織シ農場長之ヲ主宰ス

農場長必要アリト認ムルトキハ農場主任會議ニ各部所屬職員又ハ其ノ他本校職員ノ列席ヲ求ムルコトヲ得

第六條　各部所屬職員以外ノ職員ニシテ本場ニ於テ實驗ヲ爲サントスル場合ハ豫メ其ノ計畫ヲ總務部ニ申出テ農場長ノ許可ヲ受クヘシ但シ其ノ重要ナルモノニ就テハ農場長ハ農場主任會議ノ議ヲ經テ之ヲ決ス

五、總代規程（大正十一年七月二十七日制定）

第一條　各學科各級ニ總代及副總代各一名ヲ置ク

細則

第二條　總代ハ其ノ級ヲ代表シ學校ト學生及各級間ノ關係ノ圓滑ヲ圖リ兼テ級ノ統一、秩序及風紀ノ振作ニ努ムヘシ

第三條　副總代ハ總代ヲ補佐シ總代事故アルトキハ之ヲ代理ス

第四條　各級學生ハ各學期ノ始ニ於テ其ノ級總代及副總代ノ候補者五名ヲ投票ニ依リテ選擧スヘシ

第五條　總代及副總代ハ前條ノ候補者中ニ就キ學校長之ヲ任命ス但シ其ノ候補者適當ナラスト認ムルトキハ更ニ選擧ヲ行ヒ別ニ候補者ヲ定メシムルコトアルヘシ

第六條　第一學年第一學期ニ在リテハ前二條ノ規定ニ依ラス學校長ハ適宜總代及副總代ヲ任命スルコトアルヘシ

第七條　總代及副總代ノ任期ハ一學期間トス

第八條　總代又ハ副總代ニシテ其ノ任ニ適セスト認ムルモノアルトキハ學校長ハ之ヲ免シ第四條及第五條ノ手續ニ依リ更ニ總代又ハ副總代ヲ任命スルコトアルヘシ

前項ニ依ル總代又ハ副總代ノ任期ハ其ノ殘期間トス

六、學生制服規程（大正十一年九月十一日制定）

第一條　學生ノ制服ハ左ノ如シ

帽子

地質	黒絨
前章	金色如圖
眼庇	黒革
顎紐	黒革（幅三分）
釦	金色圓形
帶布	黒色綾織（幅一寸五分）
制式	如圖

衣

地質	黒「サージ」但シ夏ハ黒「セル」
釦	金色如圖
襟章	左襟ニ農學科ハA、農業土木學科ハE、林學科ハFノ金字ヲ附ス

細則

細則

制式　如圖

袴

地質　衣ニ同シ

制式　如圖

靴　黒色但シ教練ノ際ハ編上靴若ハ深護謨靴ニ限ル教練ノ際ハ茶褐色ノ巻脚袢ヲ用フヘシ

外套ヲ着用スル場合ハ黒又ハ黒味勝質素ノ地質ノモノヲ選フヘシ

第二條　制服ヲ着用スヘキ場合ハ左ノ如シ

一、本校ニ出入スルトキ但シ寄宿生ノ舍内ニ在ルトキハ此ノ限ニ在ラス

二、本校學生タルコトヲ表示スルトキ

三、其ノ他本校ヨリ特ニ指定シタルトキ

第三條　實習、實驗等ニ從事スルトキハ所定ノ作業服(地質カツラギ織茶褐色、制式如圖)ヲ着用セシムル必要アル場合ニハ教練ノ際ニモ之ヲ着用セシムヘシ但シ必要アル場合ニハ教練ノ際ニモ之ヲ着用セシムルコトアルヘシ

第四條　疾病其ノ他ノ事故ニ依リ制服ヲ着スルコト能ハサル者ハ生徒主事ノ許可ヲ得テ和服ヲ着用スルコトヲ得

第五條　冬服、夏服ノ着用期間左ノ如シ

冬　服　自十月一日　至五月十五日

夏　服　自五月十六日　至九月三十日　但シ第一學年生ハ五月一日ヨリ之ヲ着用スルコトヲ得

第六條　夏服着用期間ハ略帽(麥藁、帶布黒無地織、前章正帽ノ場合ニ同シ)ヲ用フルコトヲ得

第七條　學生外出スルトキハ制服又ハ袴、制帽ヲ着用スヘシ

第八條　新入學生ハ五月一日マテニ制服ヲ調製着用スヘシ

第九條　選科生ニハ本規程ヲ準用ス但シ衣ニ襟章ヲ附セサルモノトス

附則

一、第三條ノ改正ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

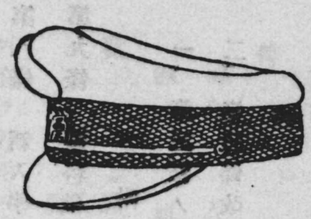
二、第三條改正規定施行ノ際現ニ在學スル者ニ對シテハ仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

三、作業服規程ハ昭和四年四月一日限リ之ヲ廢止ス

細則

細則

正帽

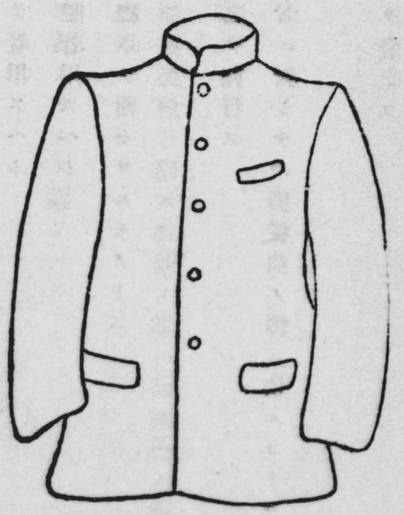


略帽

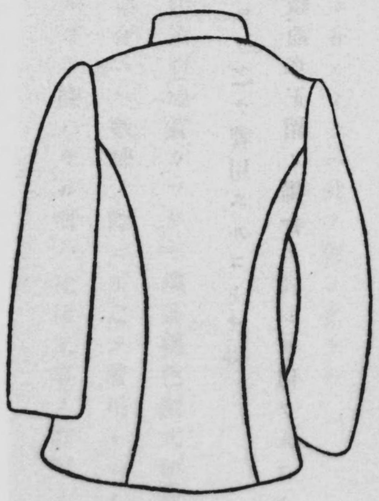
前章

卸

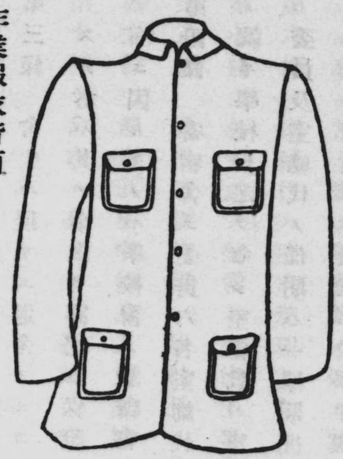
衣前面



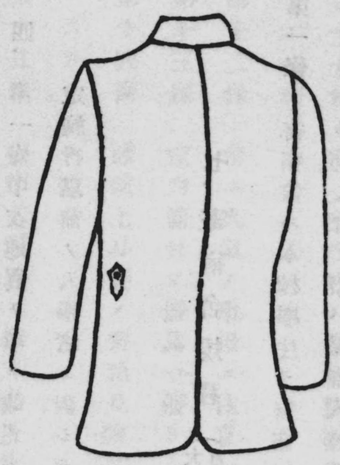
衣背面



作業服衣前面



作業服衣背面



細則

袴

農學科
農業土木學科作業服袴

林學科作業服袴

四、第一條中衣地質ノ項ノ改正ハ昭和五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ本改正規定施行以前ノ入學者ニ對シテハ仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

七、寄宿舍規程（大正十一年九月十三日制定）

第一條　寄宿舍ハ本校學生ヲ寄宿セシムル所トス

第二條　學生入舍ノ際ハ保證人連署ノ上入舍願ヲ學校長ニ差出スヘシ

第三條　舍生ハ猥リニ退舍スルコトヲ得ス但シ已ムヲ得サル事由ニ依リ退舍セントスル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ保證人連署ノ上生徒主事ヲ經テ學校長ニ願出ツヘシ疾病ニ因ルモノハ學校醫ノ診斷書ヲ添附スルヲ要ス

第四條　寄宿舍ニ委員六名、室總代若干名ヲ置ク委員ハ舍生ノ互選ニ依ル候補者中ニ就キ學校長之ヲ命シ室總代ハ室員ノ互選ニ依リ生徒主事之ヲ命ス

第五條　委員及室總代ノ任期ハ一學期間トス

委員ハ生徒主事及學生課員ノ指揮ヲ承ケ舍内一般ノ風紀、衛生及會計、炊事等ノ事ニ當リ衆テ命令其ノ他ノ事項ヲ傳達スルコトヲ掌ル

第六條　室總代ハ室内整理ノ責ニ任シ衆テ室員ヲ代表ス

第七條　各室員ノ配當ハ生徒主事之ヲ定ム

第八條　舍内日課時限ハ學校長ノ許可ヲ受ケ生徒主事之ヲ定ム

第九條　起床、就褥、喫飯及人員點檢ノ時刻等ハ振鈴、喇叭又ハ半鐘ヲ以テ之ヲ報ス

第十條　舍内ニ在リテハ靜肅ヲ守リ他人ノ勉學及安眠等ヲ妨害スル所爲アルヘカラス

第十一條　常ニ室内外ノ清潔整頓ニ努メ舍内ニ於テ苟モ不潔汚穢ノコトナキ樣留意スヘシ

第十二條　常ニ火氣ノ取扱ニ注意シ決シテ危險ノ所爲アルヘカラス

第十三條　室内備付ノ器具ハ猥リニ所定ノ位置ヲ變ヘ又ハ模樣更ヘヲ爲スヘカラス

第十四條　修業上必要ノ書類及物品ノ外ハ生徒主事ノ許可ヲ得ルニアラサレハ携帶スルコトヲ得ス

第十五條　荷物ヲ門外ニ持チ出タサントスルトキハ學生課ノ許可ヲ受クヘシ

第十六條　舍内ノ物品ヲ毀損又ハ亡失シタルトキハ之ヲ辨償セシム若シ毀損者、亡失者判明セサルトキハ舍内又ハ室内一同ノ者ヲシテ之ヲ辨償セシムルコトアルヘシ

第十七條　舍内ニ於テハ上草履又ハ「スリツパ」ノ外用フヘカラス

第十八條　火災其ノ他非常ノ事變アル場合ニハ舍生一同協力シ生徒主事及職員ノ指揮命令ニ從ヒ危害ノ防止ニ盡力スヘシ

第十九條　疾病ニ罹リタル者又ハ金錢物品ヲ紛失シタル者アルトキハ速ニ本人又ハ室總代ヨリ其ノ旨學生課ニ届出ツヘシ

第二十條　舍内ニ談話室、圖書室、會議室及娯樂室等ヲ設ケ別ニ定ムル所ニ依リ之ヲ使用セシム

第廿一條　食堂ニハ定時ノ外猥リニ出入スヘカラス若シ定時外喫飯ヲ要スル者ハ學生課ノ許可ヲ受クヘシ

第廿二條　定時間外若シ入浴ノ必要アルトキハ豫メ學生課ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第廿三條　外來人ニ面會スルトキハ必ス應接室ニ於テスヘシ但シ已ムヲ得サル場合ニ於テハ學生課ノ許可ヲ受ケ其ノ他ノ室ニ於テ面會スルコトヲ得

第廿四條　人員點檢ノ際ハ所定ノ場所ニ於テ生徒主事又ハ學生課員ノ點呼ニ應スヘシ但シ病氣其ノ他ノ事故ニ依リ點檢ヲ受クルコト能ハサル者ハ其ノ旨豫メ届出ツヘシ

第廿五條　已ムヲ得サル事情ニ依リ所定ノ時限外ニ外出セントスルトキハ豫メ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

第廿六條　疾病ノ爲メ缺席缺課シタル場合ハ其ノ當日ハ外出スルコトヲ得ス但シ生徒主事ノ許可ヲ得タル者ハ此ノ限ニ在ラス

第廿七條　外出中已ムヲ得サル事故ニ依リ歸舍時限ニ遲レタルトキハ其ノ事由ヲ詳記シ翌日中ニ届出ツヘシ

第廿八條　已ムヲ得サル事情ニ依リ外泊又ハ旅行セントスルトキハ豫メ其ノ事由、日數及外泊先又ハ旅行先ヲ記シ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ其ノ歸舍ノ際ハ宿所先ノ證明書ヲ差出スコトヲ要ス

外出中俄ニ外泊スルノ必要ヲ生シ前項ノ手續ヲ履ム能ハサルトキハ當日歸舍時限

マテニ其ノ事由ト居所トヲ届出テ歸舍ノ際宿泊先ノ證明書ヲ差出スヘシ

第廿九條　疾病ニ罹リタル者ハ校醫ノ診斷ニ依リ病室ニ於テ治療ヲ受ケシメ重病傳染病若ハ全治ニ日數ヲ要スルトキハ期間ヲ定メ入院又ハ外泊セシムルコトアルヘシ

第三十條　食費及諸雜費ハ指定ノ日ニ必ス之ヲ支拂フヘシ

八、寄宿料規程（大正十一年九月十三日制定）

第一條　本校寄宿舍ニ入舍スル者ハ寄宿料ヲ納付スヘシ但シ特待生ニハ之ヲ免除ス

第二條　寄宿料ハ一箇年金拾六圓五拾錢トス

第三條　寄宿料ハ一箇年ヲ左ノ三期ニ分チ之ヲ徵收ス

第一期　自四月至八月　金六圓

第二期　自九月至十二月　金六圓

第三期　自一月至三月　金四圓五拾錢

第四條　寄宿料ハ第一期ハ四月十一日ヨリ同十五日マテ第二期ハ九月十一日ヨリ同十五日マテニ本校會計課ヘ納付スヘシ

第五條　半途入舍スル者ハ其ノ期ノ寄宿料ヲ一箇月金壹圓五拾錢トシ月割ヲ以テ入舍ノ日ヨリ五日以內ニ納付スヘシ

前項ニ依リ算出シタル金額其ノ期ノ全額ヨリ多キトキハ其ノ期ノ全額トス

第六條　寄宿料徵收期日以前ニ退舍スルモノハ一箇月金壹圓五拾錢ノ月割ヲ以テ即時納付スヘシ

第七條　一旦納付シタル寄宿料ハ半途退舍スルト雖之ヲ返付セス

第八條　寄宿料ヲ期限內ニ納付セサルトキハ本人ニ催告シ尙納付ヲ怠ル者ハ本校規則第二十八條ニ準シ處分ス

九、授業料徵收規程（大正十一年九月二日制定）

第一條　授業料ハ左ノ期間內ニ之ヲ徵收ス

第一期　四月十一日ヨリ同十五日マテ
第二期　九月十一日ヨリ同十五日マテ
第三期　一月十一日ヨリ同十五日マテ

第二條　本校規則第五十條第二項、第五十一條ノ規定ニ該當スルモノハ其ノ事項發生ノ日ヨリ五日以內ニ授業料ヲ納付スヘシ

第三條　授業料ヲ徵收期限マテニ納付セサルトキハ之ヲ催告シ催告後尙怠納五日以上ニ亘ル者ハ其ノ出席ヲ停止ス但シ特別ノ事情ニ依リ會計課ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四條　實驗實習費ヲ徵收スルトキハ別ニ其ノ金額及徵收日ヲ告示ス

第二條及第三條ノ規定ハ實驗實習費ニ關シ之ヲ準用ス

十、校旗規程（昭和四年五月十日制定）

第一條　校旗ハ本校ヲ代表スル徵幟トス

第二條　校旗ハ左ノ制式ニ依ル

（制式略ス）

第三條　校旗ニ對シテハ職員學生常ニ敬虔ノ念ヲ以テ之ヲ尊重擁護スヘシ

第四條　校旗ハ校長室ニ保管シ其ノ出納ハ庶務課長之ヲ掌ル但シ非常ノ場合ニ於テハ職員學生ハ校旗ニ對シ臨機ノ處置ヲ爲スモノトス

第五條　校旗出場ノ場合左ノ如シ

一、全校ノ行動ニシテ學校ヲ表示スルトキ
二、本校ニ於ケル重要ナル儀式擧行ノトキ
三、其ノ他學校長ノ特ニ必要ト認メタルトキ

第六條　校旗捧持ノ爲旗手一名副旗手二名ヲ置ク

旗手ハ校旗ノ捧持ニ任ス副旗手ハ常ニ旗手ニ伴ヒ必要アル場合之ニ代ルモノトス

第七條　旗手及副旗手ハ第二學年生中品行方正ニシテ體位勝レ學業成績優秀ナル者ニ就キ每年一月學校長之ヲ命ス

旗手及副旗手事故アルトキハ學校長ハ臨時旗手及副旗手ヲ命スルコトアルヘシ

十一、通學生規程（大正十一年九月十四日制定）

第一條　通學生ハ本校ニ於テ適當ト認ムル宿所ニ寄宿スヘキモノトス

第二條　通學生其ノ宿所ヲ定メントスルトキハ豫メ宿所願ヲ差出シ生徒主事ノ認可ヲ受クヘシ宿所變更ノ場合亦同シ

第三條　通學生ハ本校學生二名以上同宿スヘシ但シ父兄其ノ他尊屬ノ居所ヨリ通學スル者又ハ已ムヲ得サル事情アル者ハ此ノ限ニ在ラス

第四條　通學生ノ宿所ニシテ不適當ナリト認ムルモノアルトキハ日ヲ限リ之ヲ變更セシムヘシ

第五條　通學生ハ本校所定ノ標札ニ姓名ヲ記載シ之ヲ宿所ノ門戸ニ掲クヘシ但シ本校ノ學籍ヲ脫シタルトキ又ハ休學中ノ者ニシテ學校所在地ヲ去ラントスルトキハ直ニ標札ヲ學生課ニ返付スヘシ

第六條　通學生ニシテ旅行、外泊又ハ歸省一週間以上ニ亘ルトキハ其ノ事由ヲ具シ豫メ學生課ニ届出ツヘシ

第七條　通學生ノ宿所ハ本校職員隨時之ヲ點檢スヘシ

十二、非常警備及手配規程（大正十二年一月三十一日制定）

第一　警備

第一條　暖爐又ハ火鉢使用中ハ巡視及小使時々各室ヲ巡視シ火氣ノ疎漏ナキ樣注意スヘシ

學生控所又ハ一時授業ヲ爲サヽル教室等ハ特ニ每時間授業開始後十分以內ニ之ヲ巡視スヘシ

第二條　終業又ハ退廳ノ際ハ小使直ニ暖爐、火鉢等ノ殘火ヲ取除キ火氣全ク去リタル後叮嚀ニ之ヲ掃除スヘシ暖爐又ハ火鉢使用中ハ職員退廳ノ際巡視又ハ小使ニ其ノ旨ヲ告ケ退出スヘシ

第三條　寄宿舍ニ於テハ學生不在中小使時々各室ヲ巡視シ火氣ヲ警戒スヘシ

寄宿舍生ハ始業、就寢又ハ外出十分前各自使用ノ火鉢ヲ火氣ノ疎漏ナキ樣室外廊下

ニ出シ小使ハ直ニ其ノ殘火ヲ取除クヘシ

第四條　炊事場及風呂場ニ於テハ火夫及炊夫常ニ火氣ヲ警戒シ用火後ハ能ク其ノ殘火ヲ取除クヘシ

第五條　火氣及焚灰等取除キ及運搬ノ際ハ疎漏ナキ樣能ク注意シ取除キタル火氣及焚灰等ハ一定ノ場所ニ持チ行キ充分之ヲ始末スヘシ

第六條　小使、火夫及炊夫ハ火氣、焚灰等ヲ取除キ其ノ始末ヲ終リタルトキハ直ニ之ヲ宿直員ニ報告スヘシ

宿直員前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ直ニ巡視、寄宿舍ニ在リテハ小使ト共ニ之ヲ臨檢シ萬一ニモ過失ナキ樣注意スヘシ

第七條　室ノ出入口ニ鎖鑰ヲ施ス必要アルモノハ火氣ヲ取除キタル後二時間ヲ經過シ二回以上點檢シタル上之ヲ施スヘシ

第八條　夜間ハ宿直員一回以上及巡視二回以上各建物ノ内外ヲ巡視シ萬事警衛ノ任ニ當ルヘキハ勿論巡視ノ際特ニ火氣ニ注意スヘシ

寄宿舍ニ在リテハ舍生就寢一時間後火夫又ハ小使一回以上舍内ヲ巡視スヘシ

第九條　構内ニ在リテハ特定ノ場所以外ニ於テ喫煙又ハ焚火ヲ爲スヘカラス

煙草吸殻ハ必ス火鉢又ハ灰吹ニ棄入スヘシ

第十條　暖爐、火鉢、運火器等使用中ハ破損ノ箇所ナキ樣常ニ注意シ若シ之ヲ發見シタルトキハ直ニ其ノ使用ヲ禁シ修理ヲ加フヘシ

煙突ハ毎週一回之ヲ掃除スヘシ

第十一條　倉庫ノ入口及窓ノ非常口ハ會計課ニ於テ時々閉鎖ヲ試ミ其ノ完全ヲ計リ且ツ常ニ目塗用土ヲ所定ノ場所ニ備ヘ置キ臨機使用ニ差支ナキ樣注意スヘシ

第十二條　職員及傭人ハ終業又ハ退廳ノ際書類、器具及機械等ヲ夫々整頓シ容器アルモノハ之ニ納メ鎖鑰アルモノハ之ヲ施シ所定ノ場所ニ置キ又非常ノ場合第一ニ持退ノ要アル重要書類其ノ他貴重物品ノ容器ニハ見易キ箇所ニ「非常持退」ト朱書シタル紙片ヲ貼付シ置クヘシ

第十三條　火災警備ニ付テハ職員、學生及傭人等一同常ニ能ク注意シ苟モ災害ノ起ラサル樣心掛クヘシ若シ之ニ關シ不都合ノ行爲又ハ處置ヲ認メタルトキハ臨機ノ措置ヲ爲シ直ニ建物監守者、擔任敎官又ハ會計課長ニ之ヲ通報スヘシ

第十四條　火災、風害等非常事變豫防ノ爲メ建物監守者及會計課長ハ常ニ警備監督ノ任ニ當ルヘシ

實驗又ハ實習ニ火氣ヲ使用スル場合ハ擔任教官主トシテ其ノ責ヲ負ヒ警備監督ノ任ニ當ルヘシ

第十五條　火災其ノ他非常事變ノ警備ニ關シ若シ不都合ノ行爲又ハ處置ヲ認メタルトキハ建物監守者、擔任教官又ハ會計課長ハ之ニ嚴重ナル戒諭ヲ加ヘ又ハ適當ノ措置ヲ爲シ之ヲ學校長ニ報告スヘシ

第二　手配

第十六條　校內ノ失火等非常事變ノ際ハ宿直員、巡視又ハ小使其ノ他之ヲ知リタル者ハ直ニ最寄備付ノ消火器又ハ給水栓及布「ホース」等ヲ以テ手後レナキ樣相當ノ手配ヲ爲シ同時ニ當該建物監守者、擔任教官、會計課長及學校長ニ急報スヘシ

第十七條　校內失火又ハ近火等ニシテ多人數ノ手配ヲ要スト認ムル場合ニハ前條ノ外警鐘及其ノ他ノ方法ヲ以テ廣ク急報シ且ツ速ニ警察署ニ報知スヘシ

第十八條　前條ノ急報ヲ聞キタルトキハ職員及傭人一同直ニ斷付ケ上官ノ指揮ニ從ヒ各其ノ部署ニ就クヘシ

學生ハ寄宿舍又關前庭ニ集合シ各掛長ノ指揮ヲ受クヘシ

第十九條　校內失火又ハ近火ニシテ延燒ノ虞アリト認ムルトキハ庶務課員又ハ宿直員ニ於テ先ツ御眞影並ニ勅語謄本ヲ校內安全ノ場所ニ奉遷警護シ上官ノ指揮ヲ俟ツヘシ

第二十條　火災ノ手配ヲ分チテ左ノ三掛トシ夫々分掌ノ手配ニ從事スルモノトス

(イ)防火掛
(ロ)運搬掛
(ハ)警戒掛

第廿一條　各掛ノ分掌ヲ定ムルコト大要左ノ如シ

(イ)防火掛

一、校內出火ノ際ハ直ニ備付ノ消火器及喞筒ヲ使用シ專ラ消防ヲ爲スコト

二、近火ノ際ハ適宜ノ場所ニ喞筒ヲ引出シ延燒ノ虞アルトキハ建物ニ水ヲ注キ充分豫防ヲ爲スコト

三、防火上障害ト認ムルモノハ之ヲ撤去又ハ破壊スルコト

(ロ)運搬掛

一、校内ノ書類、圖書、器具、機械其ノ他ノ物品ヲ安全ノ場所ニ運搬スルコト

二、物品ヲ運搬スル順序ハ火元最寄ノ場所ヨリ始メ且ツ「非常持退」ト記シタル貴重品ヲ先ニシテ書類、圖書其ノ他一般ノ物品ニ及フコト

(ハ)警戒掛

一、學校ノ周圍ヲ警戒シ本校職員、學生、傭人其ノ他官衙ノ職員、警官、消防夫及常時出入ノ諸商人、職工ノ外ハ入ルヲ禁止スルコト

二、出入口ニ受付所ヲ設ケ出入者ヲ監視シ且ツ駈付人氏名等ヲ書留メ置クコト

三、始終校内ヲ巡邏シ盜難等ヲ警戒スルコト特ニ搬出シタル物品ニハ監視者ヲ付シ嚴重ニ取締ヲ爲スコト

四、倉庫ヲ警戒シ其ノ出入口及窓等ニ目塗ノ用意ヲ爲シ物品運搬ノ上又ハ運搬ヲ待タス直ニ之ヲ締切ル等適宜手配ヲ爲スコト

五、夜中ニ在リテハ玄關ニ高張提灯ヲ點シ其ノ他要所ニ點燈シ又各所入口開扉ノ用意ヲ爲スコト

第廿二條　各掛ニ長ヲ置キ學校長之ヲ命ス但シ非常ノ際掛長駈付ケ得サルトキハ臨機在校職員上官ノ指揮ヲ受ケ其ノ任ニ當ルヘシ

職員及傭人ノ部署ハ別ニ之ヲ定ム

學生ノ部署ハ寄宿舍生ニ就キ別ニ之ヲ定ム通學生ハ學生課長又ハ教官ノ指揮ニ從ヒ臨機適當ノ部署ニ就クモノトス

前項職員、傭人及學生ノ部署ハ非常ノ際臨機之ヲ變更スルコトアルヘシ

第廿三條　左ノ非常用具ハ各掛長ニ於テ能ク之ヲ整頓保管シ喞筒其ノ他ノ器類ハ時時之ヲ點檢試用シ常ニ支障ナカラシメンコトヲ要ス

一、喞筒　一、消火器

一、消火栓及同筒先　一、玄蕃桶

一、梯子　一、鳶口及刺股

一、鋸、掛矢及頭巾(刺子)　一、運搬用擔架ヅツク袋

一、高張提灯及非常用提灯　一、蠟燭及摺附木

第廿四條　消火器ハ各建物内適當ノ場所ニ之ヲ配置スヘシ

消火器ニハ藥品充塡ノ年月日及其ノ有効期間ヲ記シ有効期日ノ滿タサル前藥品ノ充塡換ヲ爲スヘシ當該建物監守者及會計課員ハ時々消火器ノ効力ヲ試驗スヘシ

第廿五條　職員學生及傭人ハ平素消火器ノ所在及使用法ヲ心得置キ非常ノ場合之ヲ有効ニ使用スル樣心掛クヘシ

每學期一回以上職員學生及傭人一同火災手配ノ演習ヲ爲スヘシ但シ警鐘ヲ打チ臨時演習ヲ行フコトアルヘシ

十三、外國人特別入學細則（昭和二年三月三十一日制定）

第一條　文部省直轄學校外國人特別入學規程ニ依リ外國人ニシテ本校ノ教授ヲ受ケントスルモノアルトキハ設備上支障ナキ場合ニ限リ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條　前條ノ志願者ハ其ノ學修セントスル學科目ヲ定メ入學願書履歷書修業學校長ノ修業證明書並ニ外務省在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館或ハ監督署ノ紹介書ヲ添ヘ學校長ニ願出ツヘシ

第三條　志願者ノ學力ヲ試驗ニ依リ檢定スル必要アル場合ハ入學檢定料金五圓ヲ徵收ス

第四條　疾病其ノ他已ムヲ得サル事由ニ依リ休學又ハ退學セントスル者ハ入學出願ノ際紹介ヲ受ケタル官署ヲ經テ出願スヘシ

第五條　在學中ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ修了證書ヲ授與ス

第六條　本細則ニ定ナキモノハ總テ本校規則中選科生ニ關スル規定ヲ準用ス

附則

第七條　朝鮮人及臺灣人ニシテ特別入學ヲ願出ツルモノアルトキハ當分ノ内本細則ニ依リ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第六職員

學校長

正四位勳二等 農學士 上原種美

教授

修身

森林理水及砂防工學、森林測量學、森林利用學　正五位勳六等 林學博士 林學士　伊藤武夫

植物學及植物病理學、植物生理學　正五位勳五等 農學士　高橋隆道

英語、獨逸語、修身、教育學　生徒主事 正五位勳六等 文學士　岡言智

森林利用學、林產製造學、數學　陸軍歩兵少尉 從五位勳六等 林學士　關谷文彦

物理學、氣象學、數學　從五位勳六等 理學士　北川久五郎

林政學、財政學、法學通論、行政法大意、森林管理法、森林法規　正五位勳六等 林學士 法學士　川田繁治郎

農業機械學、農業工學、耕地整理論、測量學　陸軍歩兵少尉 從五位勳六等 農學士　河合隼人

（兼）學校長

正五位勳六等 林學博士 林學士　上原種美

應用力學、材料及施工法、道路及橋梁（在外研究中）　從五位勳六等 工學士　松田俊正

化學及分析、土壤學、鑛物學、地質學　從五位勳六等 農學士　稻川次郎

森林經理學、造林學、林價算法及林業較利學　從五位 林學士　山本光政

農業經營學、農政學、植民政策、經濟學　生徒主事 從五位 農學士　中野清作

畜產學、家畜榮養論、獸醫學　從六位 農學士　中野誠一

園藝學、植物學　陸軍歩兵少尉 從六位 農學士　藤村次郎

農業水利學、農業土木法規、農具論　從五位 農學士　千種虎正

作物學及育種學　生徒主事 正七位 農學士　植田宰輔

養蠶學、養蠶實習　正七位 農學士　篠田平三郎

動物學、昆蟲學、實驗遺傳學　從六位 農學博士 農學士　大町文衛

植民政策　陸軍歩兵少尉 從七位 農學士　鄉原保

助教授

園藝學、園藝實習　勳八等 園藝得業士　進武雄

森林工學、測樹學、測量實習、林學實習
森林保護學、森林植物學、林產製造實習、造林實習
應用水利學、測量實習
原動機及揚水機、機械實習、數學、幾何畫
農產製造學、化學、肥料學、農產製造實習
數學、測量實習、應用力學
作物學、農場實習

講師

體操
滿洲國語、滿蒙事情
獨逸語
農村副業
農學大意

從七位勳七等　野知里慶助
陸軍步兵少尉正八位　馬岡隆清
工學得業士　近坂百一
工學得業士　內海市次郎
農藝化學得業士　長瀨重藏
陸軍步兵少尉正八位農業土木學得業士　中原桂一
農學得業士　近藤亮一

陸軍工兵少佐正六位勳五等功五級　米倉嘉弼
勳八等　西田松樹
文學士　加藤行信
從六位　福井武治
正六位　橫川十二

肥料學、地質學
實驗遺傳學
都市計畫
造圖
應用力學
公民科
農業機械學
海外事業
林政學、森林法規
國立公園論

庶務課

職員

正五位勳五等農學博士農學士　恒藤規隆
從五位勳六等農學博士農學士　宇田一
都市計畫東京地方委員會技師從五位勳六等工學士　石川榮耀
都市計畫兵庫地方委員會技師正七位　井本政信
京都帝國大學教授從五位工學士　澤井八洲男
正五位勳四等法學士　木村正義
九州帝國大學助教授從五位農學博士農學士　森周六
南國產業株式會社取締役農學士　有村貫一
東京帝國大學教授從四位勳三等林學博士林學士　薗部一郎
內務技師從五位林學博士林學士　田村剛

課長心得　囑託　正七位勳八等　古賀勝次
書記　勳八等　小野春次

職員

職員

會計課

囑託	伊藤良藏	
雇	丸川倫	

教務課

課長 物品會計官吏、出納官吏	書記	藤原佐之吉
	書記	鈴木巧
（兼）	書記	清水敦
囑託 正七位勳七等		池田松太郎
雇 勳七等		近藤米三郎
雇 勳七等		增井幸次郎
工手兼雇		的場久壽雄
雇		市川多喜男

教務課

課長	教授	北川久五郎

職員

學生課

囑託		渡邊健吾
雇		山川忠雄

圖書課

課長	生徒主事 教授	岡言智
	生徒主事 教授	中野清作
	生徒主事 教授	植田宰輔
	生徒主事補 助教授	進武雄
	舍監 助教授	內海市次郎
	舍監 助教授	野知里慶助
	舍監 講師	米倉嘉弼
	舍監 囑託	田中宗三郎
	舍監 囑託	重倉龜太郎

職員

課長	教授	川田繁治郎

學科主事、農場長、演習林長

農學科主事　勳七等　藤枝儁一
農業土木學科主事　雇　牧戸寛一
林學科主事
農場長
演習林長

囑託

體操　教授　高橋隆道
劍道教師　教授　河合隼人
柔道教師　教授　伊藤武夫
體操　教授　中野清作
弓道教師　教授　伊藤武夫

陸軍歩兵特務曹長勳七等　田中宗三郎
近藤信勝
山中良一
齋辰雄
市川博

配屬將校

陸軍歩兵中佐從五位勳三等　黒田彦二

教練

校醫

醫學博士醫學士　小川安太郎
醫學博士醫學士　菅野大作
醫學博士醫學士　森谷等

助手

農場勤務　清水敦
農學科勤務　工藤仙次
化學教室勤務　内藤秀男
農學科勤務　矢頭献一
農學科及氣象觀測勤務　原野光夫
林學科勤務　石田勝生
農學科勤務　大柿護

職員

職員	
物理化學室勤務	石田忠治
林學科勤務	八藤松男
農業土木學科勤務	岩田清秀
農學科勤務	山中歲一
同	杉本克巳
同	橋本太郎
同	小出富男
農業土木學科勤務	高津明
農學科勤務	東畑英一
林學科勤務	山崎武夫
工手	吉田茂三郎
農業土木學科勤務	

第七學生

一、學生氏名（五十音順）

昭和十年十一月一日現在

農學科第三學年

安宅慶治（德島）	秋田重男（滋賀）	芦田肇（京都）	井岸徹（熊本）
上村武吉（岡山）	小野章（山梨）	岡本和之（愛知）	落合幸文（三重）
太田俊晴（長野）	大柴保信（山梨）	大島仁（愛知）	大谷宗三（奈良）
河合幸雄（岡山）	川上久也（三重）	川高重武（京都）	小林一夫（兵庫）
小林隆一（新潟）	近藤鵜彦（三重）	佐井清（高知）	佐々木尚美（岩手）
阪本卓男（熊本）	竹村弘二（京都）	塚原順三（岐阜）	中上登（奈良）
西川三次（京都）	野村本義（長野）	林政衛（群馬）	本多九三（奈良）
松井近信（島根）	松本隆治（靜岡）	前田豊司（大分）	水田四郎（廣島）
森崎大助（大分）	八尋眞（福岡）	山崎彌右衛門（靜岡）	若山虔三（廣島）
分部正（三重）			

井上夏之助（山梨）　遠田久夫（三重）

猪股千吉郎（宮城）　石井宗雄（愛知）

梅田善明（和歌山）　石田隆男（福島）

梅延伊藤武弘男（岡山）

農學科第一學年

吉田望月十三（京都）　庄正正一（三重）　林野々宮俊幸（福島）　鵜我自戸（青森）　自戸鷲麓好吉（秋田）　神谷堅晴二郎（愛知）　相賀正六（熊本）

農學科第二學年

一庄正秋一朗丸雄（福岡）　一秋（福島）　秋（福島）　高（福島）　福（福島）　青（秋田）　愛（三重）　三（三重）　熊（熊本）

一（山梨）　山（梨県）　梨（梨県）　梨（梨県）　梨（梨県）　梨（梨県）　梨（梨県）　梨（梨県）　梨（梨県）

波邊元芳（長崎）　森川謙三（福岡）　増永敏之（福岡）　原田昇（福岡）　野村英雄（三重）　徳田石雄（愛知）　鈴木藤文（京都）　坂根唯男（京都）　河野通正（香川）　小宅朝比奈佐武郎（神奈川）

山内正典（三重）　増本東畑橋中岡竹佐喜多梶安孫子

東畑祐博（三重）　橋本京都（京都）　中岡重雄（京都）　竹田三彦（熊本）　佐古山口（山口）　喜多見耕喜彰（滋賀）　梶田辰夫造（兵庫）

道正正見耕（島根）　豊道正（島根）　幸豊道（島根）　貞幸豊（島根）

農業土木學科第三學年

山口克夫（栃木）　蛭本博彦（山口）　雙田方一收（石川）　旧杉浦正忠（愛知）　後藤耕治巳（愛知）　木下浩（三重）

松井萬雄（奈良）　伴辻喜代史（三重）　田代繁重悦（和歌山）　自井雄雄（神奈川）　桑名悦善（三重）　桧本勇夫（石川）　太田勇（三重）

若林重定（三重）　福田義正（熊本）　西島正隆（熊本）　谷畑佐々木桂年八十（岡山）　佐藤敏治（福岡）　武智正千代（愛知）　佐宗章（愛知）　金尾鍾赫（朝鮮）　尾崎林一（山口）

花田中村逸雄（福岡）　中田邊幸（熊本）　齋藤爲信治（香川）　櫛谷義四郎（京都）　小川嶋武浩（三重）　小原清（石川）

橋口中西光彦（宮崎）　西澤英夫（新潟）　中尾藤九郎（滋賀）　坂部隆治（静岡）　紅林桂次（静岡）　川端俊夫（北海道）　加藤登（福島）　香山清（三重）

弘彦重　宗一分　直之（福岡）　佐々木（佐賀）　草崎禄（長野）　金井忠三（三重）　小笠原實（島根）

清家初（大分）　佐々木（福岡）　草崎（長野）　金井（三重）　小笠原（島根）

近藤利（三重）　杉原茂（愛知）　中田昌（三重）　梅原雄一（静岡）

川邊夫（三重）　井勇（岡山）　笠利（三重）　梅原（静岡）

農業土木學科第三學年

又吉盛忠（沖縄）　西村男（三重）　津川一善（鹿島）　竹元善夫（兵庫）　佐野利雄（山梨）　日下部幸雄（京都）　甲斐龍二夫（滋賀）　大井角分（滋賀）

盛國忠（沖縄）　男（三重）　一善（鹿島）　善夫（兵庫）　利雄（山梨）　幸雄（京都）　龍二夫（滋賀）　角分（滋賀）

林　銀司（富山）　福田　儀三郎（大阪）　福本　純（三重）　眞鍋　惠三（香川）
前田　弘（三重）　村上　新雄（京都）　山路　徹（愛媛）　山中　勇（三重）
山中　寅吉（三重）

農業土木學科第二學年

嶋地　辰之助（三重）　石川　保雄（愛知）　植田　次郎（靜岡）　内田　富藏（三重）
大井　公夫（長野）　大鹿　茂夫（香川）　片岡　誠（三重）　加藤　先一（三重）
菅野　正世（宮城）　北山　定一（山口）　久能　喜祿（靜岡）　小林　三郎（宮城）
近藤　比佐雄（愛知）　佐藤　清（神奈川）　島本　敏男（高知）　白井　裕（三重）
芝山　半之丞（三重）　鹽月　茂（大分）　鈴木　典也（三重）　征矢　吉郎（長野）
立石　昴（熊本）　瀧下　甚五郎（靜岡）　寺村　幸見（秋田）　出口　利祐（三重）
中村　大三（和歌山）　西園　義郎（福岡）　原　三郎（三重）　羽根　隆美（德島）
藤本　正信（德島）　藤元　宗義（富山）　二見　晃生（三重）　朴　衡國（朝鮮）
松井　辰一（愛知）　松井　浩（石川）　松田　修（三重）　松村　孝一郎（福井）
又吉　龍榮（沖繩）　圓子　虎男（岩手）　森川　正純（三重）　山中　四郎（三重）
吉田　壽一（福岡）

農業土木學科第一學年

荒井　藤次（埼玉）　石原　清一（富山）　伊藤　登（三重）　今久保　守光（高知）
植松　治夫（山梨）　太田　正隆（京都）　岡田　倫美（香川）　小野寺　長五郎（岩手）
片桐　勳（長野）　角屋　堅次郎（三重）　神谷　十〆吉（愛知）　木村　英夫（岐阜）
神代　忠正（佐賀）　栗原　知郎（三重）　下司　英一（滋賀）　小島　保（三重）
小寺　正夫（佐賀）　後藤　多平（三重）　佐々木　正（宮城）　正田　則行（石川）
菅原　豐一（宮城）　杉平　鐵雄（熊本）　竹岡　保光（三重）　竹原　生（滋賀）
宮澤　彦右衛門（福井）　鳥谷尾　忠三（三重）　豐田　修（愛知）　永井　幸喜（京都）
仲田　金次郎（靜岡）　西村　孝行（高知）　野澤　大六（愛知）　藤田　赳（三重）
益滿　清秀（鹿兒島）　八木　善治（兵庫）　矢野　賢三（福岡）　山家　光治（三重）
鷲野　魁一（兵庫）

林學科第三學年

石橋　正夫（三重）　稻垣　禮一（三重）　大勝　正男（滋賀）　大島　民也（愛知）
甲藤　眞道（高知）　金田　三郎（富山）　鴨下　正夫（北海道）　金　鶴奭（朝鮮）
小林　茂（岡山）　古林　牧夫（福岡）　小山　貞信（奈良）　今　文平（青森）

今野　弘一（宮城）　齋藤　全弘（德島）　芝　弘（三重）　城山　正彦（三重）
田中　忠夫（長野）　田中　璞（兵庫）　高橋　隆（三重）　高橋　正夫（島根）
土肥　恒成（富山）　豊福　義孝（福岡）　長尾　万二（德島）　行方　實（三重）
西内　弘至（高知）　平田　義一（滋賀）　藤原　福次（岡山）　古川　不倒（福岡）
堀内　信男（長野）　巻田　源久（石川）　御幸尾　博（千葉）　三好　茂（岐阜）
宮田　辰男（長野）　山際　俊郎（三重）　山口　市治（長崎）　山田　鑛次郎（岐阜）
若林　猛（三重）

林學科第二學年

青木　武德（山形）　石井　正巳（山梨）　石川　務（福井）　伊藤　昌（秋田）
右手　敏夫（岡山）　岡部　正雄（三重）　沖田　萬年（兵庫）　勝間田　與衛（靜岡）
小島　重弘（愛知）　後藤　新平（岐阜）　小林　恒夫（岡山）　柴田　仁夫（岐阜）
下平　仁（長野）　圖浦　和巳（三重）　高木　徹郎（熊本）　高橋　滋（三重）
寳田　豊治（秋田）　武居　岳夫（長野）　武内　俊一郎（高知）　田口　吉三郎（秋田）
中曽根　武夫（群馬）　中西　秀一（奈良）　中野　五郎（福島）　長谷川　文平（新潟）
針田　實（石川）　半澤　青一（宮城）　福島　一（三重）　藤川　巖（岩手）
星野　重一（三重）　松島　敏夫（三重）　前田　英（高知）　宮下　賴保（長野）

美山　守生（福岡）　森口　重男（三重）　森脇　勤（島根）　八木　辰夫（靜岡）
安永　利政（福岡）　柚久保　久志（三重）　米倉　隆夫（宮城）

林學科第一學年

阿南　大介（大分）　池澤　宗一（三重）　石次　幸雄（石川）　磯部　富士雄（山口）
伊藤　正人（宮城）　井上　幸夫（島根）　岩間　旭（三重）　植村　稔（京都）
植山　保（香川）　大石　傳次（靜岡）　小川　正則（茨城）　尾崎　正次（三重）
小澤　一男（埼玉）　小野田　元正（東京）　各務　健三（岐阜）　岸本　喜久二（長野）
古賀　濟美（福岡）　今田　正三郎（山形）　財滿　勝壽（山口）　清水　俊樹（高知）
鈴木　光太郎（秋田）　巽　正娀（三重）　寺司　益三（大分）　西田　嘉一（奈良）
根垣　迪郎（京都）　信清　成功（高知）　原田　辰丙（愛知）　原田　恒治（愛知）
林　一（三重）　林　甫（愛知）　藤井　幸人（山口）　藤本　義隆（福岡）
古市　貢（三重）　牧野　弘（長野）　宮本　潤（和歌山）　名德　幸藏（富山）
武藤　博（北海道）　村田　藤橋（三重）　山口　岩介（高知）　山本　尙政（石川）
吉岡　薫（高知）　李　聖仁（朝鮮）

農學科選科

黑瀨　大二郎（三　重）　大西　謙　二（三　重）
德永　武　員（愛　媛）

農業土木學科選科

鈴木　孝（三　重）　中村　麟太郎（鹿兒島）

林學科選科

海瀨　新　次（和歌山）　永杉　巖（福　井）
北川　直　久（三　重）　柏木　禎太郎（和歌山）
村木　照　雄（三　重）　過立　先（中華民國）

二、學生數

學科	本科生 第一學年	第二學年	第三學年	計	選科生及特別生	研究生	合計
農學科	四〇	四二	三七	一一九	五		一二四
農業土木學科	三七	四一	三七	一一五	四		一一九
林學科	四二	三九	三七	一一八	二		一二〇
總計	一一九	一二二	一一一	三五二	一一		三六三

三、地方別學生數

地方	學科	本科生 農學科	農業土木學科	林學科	計	選科生及特別生	合計
北海道			一	二	三		三
青森		一		一	二		二
岩手		一	二	一	四		四
宮城		一	四	四	九		九
秋田		二	一	四	七		七
山形		一		二	三		三
福島		二	一	一	四		四
茨城				一	一		一
栃木		一			一		一
群馬		二		一	三		三
埼玉			二	一	三		三
千葉				一	一		一
東京		二		一	三		三
神奈川		二	一		三		三
新潟		一	一	一	三		三
富山		一	四	三	八		八
石川		三	三	四	一〇		一〇
福井		三	二	一	六	一	七
山梨		五	一	一	七		七
長野		三	四	八	一五		一五
岐阜		一	一	五	七		七
静岡		二	七	三	一二		一二
愛知		九	七	五	二一		二一
三重		一八	三三	二三	七四	五	七九

滋賀	三	三	二	八		八
京都	八	四	二	一四		一四
大阪	一	一		二		二
兵庫	三	二	二	七		七
奈良	五		三	八		八
和歌山	二	一	一	四	二	六
鳥取						
島根	一	一	三	五		五
岡山	三		四	七		七
廣島	五			五	一	六
山口	四	一	三	八		八
德島	二	二	二	六		六
香川	一	四	一	六		六
愛媛	一	一		二	一	三
高知	三	三	八	一四		一四
福岡	四	五	七	一六		一六
佐賀		三		三		三
長崎	一		一	二		二
熊本	五	三	一	九		九
大分	四	二	二	八		八
宮崎		一		一		一
鹿兒島		一		一		一
沖縄	一	一		二		二
朝鮮	一	一	二	四		四
中華民國					一	一
總計	一一九	一一五	一一八	三五二	一一	三六三

第八　卒業生

（昭和十年十一月一日現在）

一、卒業生氏名及業務

（五十音順）

農學科第一回

二十八名

▲大正十四年三月卒業

足立　倹生（愛　知）自營

井出　高義（靜　岡）朝鮮平安北道視學

（舊岩名）渡邊　孝太（新　潟）朝鮮總督府農林局農產課技手

大柿　　護（北海道）三重高等農林學校助手

大塚　倹司（靜　岡）三重縣立名賀農學校教諭

奥井英太郎（三　重）三重縣立田丸女子實業學校教諭

（舊折谷）大河内陽雄（三　重）新潟縣立糸魚川中學校教諭

桑垣　傳議（千　葉）千葉縣立東金高等女學校教諭

小林　楷郎（新　潟）新潟縣農務課技手

齋藤　武夫（山　形）三重縣立松阪商業學校教諭

貞永　三郎（三　口）南米「ブラジル」ニ於テ自營

志村　浩一（埼　玉）宮城縣立加美農蠶學校教諭

鈴木　橘雄（三　重）東京帝國大學農學部助手

鈴木　亙夾（新　潟）千葉縣立多古農學校教諭

宗宮　祐夫（岐　阜）東照宮主典（栃木縣日光町）

（舊中西）熊谷　三郎（京　都）農林省米穀局內地課技手

中森　作雄（三　重）岡山地方專賣局技手

野呂　貞好（三　重）三重縣立宇治山田中學校教員

羽生　　節（鹿兒島）三重縣立河原田農學校教諭

平山　重勝（愛　知）德川生物研究所々員（東京）
深川　景吉（滋　賀）南米「ブラジル」ニ於テ自營
堀田　耕太（三　重）專賣局水戸試驗場技手
堀　五一（三　重）石川縣農林課技手
木村（舊姓木）郁三（大　阪）自營

農學科第二回

三十五名

▲大正十五年三月卒業

出射　正次（山　梨）嘉南大圳組合員（臺灣）
井上　善光（奈　良）奈良縣立添上農學校教諭
上田　勇（大　阪）大阪府農會技手
岡垣内　匠（和歌山）愛知縣瀧實業學校教諭
小川　亮一（栃　木）（死亡）
荻野　周次（兵　庫）山口縣農林技師
奥井亮三郎（三　重）三重縣經濟更生課技手
小田　志郎（三　重）三重縣立四日市商業學校教諭
菊池　金治（岩　手）朝鮮慶尚北道尚州郡廳技手
菊池　武夫（岩　手）大阪府立生野中學校教諭
中津川俊吉（舊姓黒田）（靜　岡）高知縣立農事試驗場技手
澤川　繁（山　形）岩手縣農務課技手
島貫　三郎（山　形）山形縣農會技手
相馬　世治（京　都）東邦瓦斯株式會社々員（名古屋）
高木　秀一（宮　崎）自營

松浦　幸也（三　重）三重縣農會技手
水越　弘（三　重）三重縣菰野町立實踐女學校教諭
村田　三郎（山　口）茨城縣立石岡農學校教諭
山本辰次郎（石　川）大阪府農林技師

農學科第三回

二十九名

▲昭和二年三月卒業

淺井　晃（東　京）石川縣立農事試驗場技手
田中　松夫（岐　阜）愛媛縣立伊豫實業學校教諭
寺林傳太郎（富　山）香川縣農林主事
富永　重興（三　重）兵庫縣多可郡黒田庄村立大志農業公民學校教諭
中村　龍樹（福　岡）熊本地方專賣局志波出張所技手
沼田　滿（茨　城）專賣局水戸試驗場技手
野澤　磊爾（愛　知）滋賀縣立今津中學校教諭
馬場　四郎（福　島）青森縣農產課技手
長谷川　德（愛　知）靜岡縣立沼津農學校教諭
濱田　朝祐（埼　玉）自營
平沼　延一（東　京）京都帝國大學農學部助手
松本　直一（滋　賀）東京府農林課技手
前野　軍太（三　重）自營
池田（舊姓峰）長藏（和歌山）自營
森井　儀一（三　重）三重縣立南牟婁高等女學校教諭
森本　庫一（兵　庫）日本國民高等學校職員（茨城縣友部）
森本　修三（愛　知）大阪市役所土木部道路課
山口　明（宮　崎）千葉縣農政課技手
山崎　賢一（和歌山）石川縣立松任農學校教諭
山田　駒雄（山　梨）山梨英和女學校教諭

▲大正十五年六月卒業

佐野　淡一（兵　庫）自營
石淵　壽（熊　本）農林省經濟更生部產業組合課屬
一色　一雄（滋　賀）滋賀縣立農事試驗場技手

卒業生

伊藤　六郎（愛　知）愛知縣産業組合課技手
井原　稔（和歌山）農林省米穀局外地課技手
伊元貞三郎（島　根）兵庫縣穀物檢査所社支所技手
岩田　玉一（岐　阜）自營
岡村庄一郎（兵　庫）兵庫縣川邊郡農會技手
大林　廣次（靜　岡）朝鮮大邱專賣支局河東出張所技手
工藤醇一郎（青　森）山梨縣立青年學校教員養成所主事
後藤　智（大　分）東京府立穀物檢査所技手
近藤　亮一（愛　媛）三重高等農林學校助教授
佐藤須賀夫（大　分）德島縣立麻植中學校教諭
杉山猶之助（三　重）長崎縣立農事試驗場技師
須永　達雄（栃　木）野村合名會社海外事業部社員（ブラジル在勤）
田中　稔（山　形）青森縣立農事試驗場技手
谷畑　喜作（富　山）石川縣立羽咋中學校教諭
玉置　海三（和歌山）南米「ブラジル」ニ於テ自營
拓植　利久（三　重）京都帝國大學農學部助手
鳥羽　篤郎（三　重）三重縣立宇治山田高等女學校教諭
中川　勝八（愛　知）宮崎縣立農事試驗場技手
長山　教一（高　知）高知縣野市實業公民學校教諭
野崎　清夫（岡　山）兵庫縣川邊郡伊丹町農商實修學校教諭
長谷川千秋（愛　知）愛知縣農産物檢査所技手
春名　一明（兵　庫）兵庫縣立姫路中學校教諭
藤岡　喜久（奈　良）農林省畜産試驗場技手
米田　健吉（兵　庫）大阪府中河内郡農會技手

▲昭和二年五月卒業

澁井　健一（福　島）大分縣立杵築中學校教諭
大塚　耕二（三　重）自營

▲昭和三年三月卒業

足立　昇造（三　重）自營
五百井　亨（大　阪）農林省米穀局外地課技手
大橋　友二（富　山）埼玉縣立苗木檢査所技手（戸塚町）
三浦（舊大熊）忠二（岡　山）千葉縣立農事試驗場技手
大西　保英（愛　媛）和歌山縣農會技手
川島　治幸（大　阪）自營
川島（舊木村）三美（三　重）富山縣農務課技手
北川　虎雄（和歌山）廣島縣立三次高等女學校教諭
久保　常三（奈　良）桃山中學校教諭（大阪）
小林　勝治（兵　庫）富山縣農政課技手（氷見郡駐在）
小林　龍雄（長　野）群馬縣立藤岡高等女學校教諭
信部　初男（兵　庫）兵庫縣豊岡町農會技手
清水　幹雄（山　口）（死亡）
杉谷　文之（富　山）山形縣立農事試驗場技師
田曾　純吾（廣　島）廣島縣濱美高等女學校教諭
四方田芳市（舊田中）（島　根）京都府立農事試驗場技手
西端　善作（大　阪）大阪府立農事試驗場技手
八田　植（滋　賀）自營
服部　仙三（愛　知）名古屋市農會技手
樋田　節雄（大　分）三重縣立河原田農學校教諭
深井　寛（三　重）愛知縣農林主事補
藤田　正雄（廣　島）自營
山川（舊三上）福之助（埼　玉）神奈川縣立農事試驗場技手
柳瀬　義衛（高　知）和歌山縣立伊都中學校教諭
山内　勇信（福　島）廣島縣立市村農學校教諭

卒業生

山本　忠夫（神奈川）岡山縣立井原高等女學校教諭

農學科第五回　三十二名

▲昭和四年三月卒業

福林（舊伊東）馨（三　重）三重縣立農事試驗場技手

井上　一巳（和歌山）農林省米穀局調査課技手

井野周太郎（京　都）自營

井樋　信雄（佐　賀）滋賀縣農務課技手

內山　榮（兵　庫）藤澤商店員（神戸市林田區四番町）

大河內恒夫（愛　知）愛知縣農産物檢査所一宮市出張所技手

大城　清茂（沖　繩）秋田縣農産物檢査所本莊支所技手

牧浦（舊岡本）勇（奈　良）自營

岡谷　義雄（愛　知）熊本農場技術員（朝鮮群山府外開井里）

加藤　平壽（愛　知）自營

▲昭和三年五月卒業

北川孝治郎（京　都）自營

北村繁太郎（滋　賀）滋賀縣立栗太農學校教諭

桑原　正三（愛　知）三重縣河藝郡白塚尋常高等小學校教員

木檜　忠夫（群　馬）自營

小西　眞（奈　良）京都府下夜久野青年學校教諭

笹岡　一郎（奈　良）奈良縣立農事試驗場技手

佐藤　甚七（岐　阜）明治製糖株式會社山坎子頭農場（臺灣臺南州新營郡）

下井　友一（三　重）京都府農林蠶絲課技手

鈴木　徹三（愛　知）愛知縣農務課技手

加藤（舊田中）助參（福　井）農林省畜産局畜産課技手

土井　孫悅（山　形）公州公立農業學校教諭（朝鮮忠淸南道）

西間木正巳（福　島）滋賀縣立虎姬中學校教諭

野上富士夫（京　都）桃山中學校教諭（大阪）

信宗　虎夫（廣　島）熊本縣穀物檢査所菊池郡支所長

野村　千秋（長　野）帝國農會技手（東京）

廣瀨　淸孝（石　川）石川縣立松任高等女學校教諭

藤繩　慶夫（富　山）富山縣立上市農學校教諭

南元　楢司（奈　良）奈良縣立磯城農學校教諭

宮原　道明（廣　島）滿鐵熊岳城農業實習所技術員

森榮左衛門（愛　媛）愛媛縣大洲青年學校教諭

森濱　重義（三　重）三重縣立阿山高等女學校教諭

山田　實（和歌山）農林省畜産局畜産課

吉川　正信（京　都）京都府相樂郡川西村青年學校教諭

農學科第六回　三十九名

▲昭和五年三月卒業

阿部　一美（福　岡）春川農業學校教諭（朝鮮江原道）

磯部　次郎（神奈川）大邱高等普通學校教諭（朝鮮）

一色　重夫（滋　賀）大分縣立農事試驗場技手

今井　忠（新　潟）山形縣穀物檢査所置賜支所技手

今西　淸（京　都）西宮市立高等女學校教諭

大河內秀樹（愛　知）九州帝國大學農學部學生

奧野　貞雄（京　都）自營

柏　祐賢（富　山）農林省農務局農政課囑託

金井　修（兵　庫）自營

龜井　昌直（三　重）三重縣經濟更生課技手

河村　有江（廣　島）北海道農産物檢査所釧路支所技手

楠　恒三（靜　岡）仙臺地方專賣局囑託

栗林　武男（茨　城）兵庫縣津名郡佐野町青年學校教諭

小池　保（岐　阜）農林省積雪地方農村經濟調査所囑託（山形縣新庄町）
垣本（舊米本）元信（三　重）奈良縣立磯城農學校教諭
後藤　俊夫（愛　知）三重縣立多氣實業學校教諭
齋藤　修三（岐　阜）自營
齋藤八十藏（三　重）三重縣立明野農蠶學校教諭
四方　恒次（大　阪）六甲牧場（神戸市灘區）技術員
白水　透（宮　崎）熊本縣穀物檢査所熊本出張所技手
關澤　乙吉（新　潟）農林省畜産局畜産課囑託
高木　保郎（岐　阜）不二農場月井里分場技術員（朝鮮江原道鐵原郡）
田中　毅郎（三　重）三重縣農務課技手
中川　春一（群　馬）三重縣立農事試驗場技手
關谷（舊中島）清見（長　野）長野縣上高井蠶業學校教諭
中谷　壽（兵　庫）兵庫縣立農事試驗場助手
中森　孝治（三　重）三重縣立尾鷲高等女學校教諭

長岡忠二郎（大　阪）坂田商會茅ヶ崎農場技術員（神奈川縣）
永田　盛一（兵　庫）千葉縣農産課技手
練尾　一雄（岡　山）名古屋地方專賣局囑託
服部　一郎（愛　知）三重縣立木本中學校教諭
日野　重三（愛　媛）光州公立農業學校教諭（全羅南道）
平城　俊文（福　岡）福岡縣立農事試驗場筑後分場助手
松田　祐一（沖　繩）和歌山縣立農事試驗場技手
村田　茂三（三　重）京都府農林主事補
森本　重德（大　阪）大阪府立四條畷中學校教諭
山本善次郎（大　阪）朝鮮總督府穀物檢査所裡里出張所技手
吉田　彦太（佐　賀）朝鮮總督府穀物檢査所海州出張所技手

●昭和五年五月卒業

木村泰次郎（靜　岡）富民協會囑託（大阪府堺市）

●昭和六年三月卒業

阿部　三郎（德　島）大分縣立宇佐中學校教諭
荒井　進（福　井）特許辨理士（東京）
飯森　政義（石　川）岐阜縣立益田農林學校教諭
井上　石衛（長　崎）朝鮮江原道鐵原郡囑託
岩田　明（三　重）千葉縣農産課技手
岩田　蔦（三　重）農林省熊本米穀事務所
岩中　信市（三　重）熊本縣立御船中學校教諭
海野　九郎（三　重）三重縣立農事試驗場技手
加藤　寬（三　重）自營
木下　英雄（愛　知）岡山縣上道郡角山村上道國民學校教諭
熊谷　又吉（長　野）埼玉縣農務課技手
小林　蔦（愛　知）三重縣立員辨實業女學校教諭
小林　幸丸（三　重）三重縣立四日市高等女學校教諭
小堀　英治（福　岡）滿洲棉花協會
堀（舊小山）美則（大　分）大分縣立三重農學校教諭
近藤　四郎（京　都）臺南州立臺南第一中學校教諭
阪中　憲一（和歌山）朝鮮總督府穀物檢査所鎭南浦支所助手
清水　武夫（三　重）三重縣名賀郡矢持村活鄉青年學校教諭
杉浦　資良（愛　知）愛知縣額田郡岩津青年學校教諭
砂川　尙一（兵　庫）兵庫縣立農事試驗場助手
諏訪　三郎（岐　阜）滋賀縣農務課技手
加藤（舊田中）牧治（愛　知）愛知縣農産物檢査所技手
田中　昇三（東　京）靜岡縣沼津農産物檢査出張所技手
田村　十治（山　口）島根縣農務課技手
辻　藤次郎（三　重）茨城縣立農事試驗場技手

富野　耕治（愛　知）三重縣立青年學校教員養成所教諭
中津　繁雄（岐　阜）滋賀縣農會技手
中根　喜猷（三　重）（死亡）
永田　義雄（愛　知）（死亡）
西野　半三（大　阪）大阪府都市計畫課工士
西村　清一（京　都）京都府久世郡槇島村農會技手
長谷川　武（愛　知）入營

農學科第八回

三十九名

●昭和七年三月卒業

有門　博樹（福　岡）臺灣總督府糖業試驗所技手（臺南市）
有田　昌璋（鳥　取）大阪府立豐中中學校教諭
井上清次郎（佐　賀）佐賀縣穀物檢查所小城支所技手
大藪　大（福　岡）（死亡）
岡田　行生（三　重）三重縣南牟婁郡新鹿村農會技手
岡本　敏一（岡　山）專賣局岡山試驗場助手
尾山　万代（三　重）關東州立農事試驗場技手
隆山　武雄（兵　庫）岡山縣立農事試驗場技手
笠井　由一（德　島）高崎地方專賣局鑑定課囑託
片山　晴（愛　知）自營
菊池　和雄（愛　媛）京都府立福知山中學校教諭
松原　喬夫（島　根）青森縣農產物檢查所青森支所技手
眞鍋　藏六（山　口）飛村合名會社赤江農場（宮崎縣宮崎郡赤江町）
滝井清七郎（京　都）京都府立京都農林學校教諭
平井（舊村田）武夫（三　重）三重縣立農事試驗場原種圃南勢分場技手
森田　安雄（富　山）青森縣立木造中學校教諭
柳　彰三（三　重）沖繩縣農林課技手
安田　隆一（山　口）山口縣立農事試驗場萩柑橘指導地技手

熊代　清（大　阪）自營
高本　秀政（愛　媛）滋賀縣立農事試驗場技手
小林　成夫（三　重）自營
小林　久夫（岡　山）朝鮮慶尙南道咸陽郡廳技手
近藤球一郎（岡　山）自營
佐々木善次郎（秋田）宮城縣農產物檢查所大谷地派出所技手
佐々水吉雄（石　川）石川縣立松任農學校教諭
澤田　義郎（愛　知）朝鮮平安北道龜城郡廳技手
高柳　庄市（靜　岡）香川縣立農事試驗場技手
田村　惇（廣　島）朝鮮慶尙南道蔚山郡廳技手
辻　厚美（福　岡）滿洲國蒙政部勸業司技士
內藤　淳一（岐　阜）愛知縣立農事試驗場技手
萩原　敏郎（靜　岡）石川縣立農事試驗場助手
秦　眞治（千　葉）千葉縣安房郡豐田村農會技手
原　信彥（福　岡）大阪府都市計畫課公園係
平島　龍茂（福　岡）福岡縣糟屋郡和白青年學校教諭
細野　英男（岐　阜）南滿洲鐵道株式會社々員
正木榮太郎（大　阪）京都帝國大學農學部農產製造學研究室
松岡　清治（三　重）愛知縣農產物檢查所呼續支所技手
前田　一（高　知）高知縣農務課
茂利　弘（三　重）農林省經濟更生部副業課
森　圭一（福　岡）自營
森　定治郎（愛　知）農林省農務局肥料課囑託
山下（舊森）政雄（大　阪）自營
山脇　一誠（大　阪）自營
吉川利太郎（奈　良）奈良縣立農事試驗場技手
芳野　修（愛　媛）三重縣立農事試驗場原種圃伊賀分場技手
若林　知貞（三　重）滋賀縣神崎郡八幡村青年學校

●昭和八年三月卒業

池田　親嘉（福　岡）三重縣立種畜場技手
池田　哲彌（岡　山）岡山縣兒島郡甲浦青年學校教諭
井原　正郎（山　口）（死亡）
飯田　清（三　重）朝鮮殖産銀行光州支店員
今川　文雄（山　口）九州帝國大學農學部學生
岩崎　敬三（大　阪）大阪市農會技手
臼井　俊郎（岐　阜）京都帝國大學農學部學生
荻野　四郎（山　形）朝鮮總督府穀物檢査所木浦支所
加藤　榮一（愛　知）農林省農務局農産課
河原　松實（福　岡）九州帝國大學農學部學生
岸　信夫（兵　庫）農林省肥後種鷄場助手
岸村　彌七（三　重）宮城縣農産物檢査所小牛田派出所技手
小山喜三郎（京　都）農林省米穀局調査課
崔　洪奎（朝　鮮）朝鮮總督府農林局農務課囑託
齋藤　大藏（山　形）岩手縣農務課技手
榊　修（福　岡）産業組合中央會福岡縣支部早良郡部會技手
實森又太郎（靜　岡）帝國農會大阪販賣斡旋所囑託
庄野　勝（福　岡）岐阜縣立惠那中學校教諭
城間　盛茂（沖　繩）沖繩縣農務課技手
鈴木　一郎（三　重）京都帝國大學農學部學生
田中　正雄（鳥　取）京都帝國大學農學部學生
出口　武（三　重）奈良縣農産物檢査所技手
出坂　一衛（石　川）石川縣立輪島中學校教諭
戸上　正（三　重）山梨縣農商課小作官補
仲野　信太（靜　岡）朝鮮總督府穀物檢査所群山支所

四川　義敏（長　崎）農林省播磨種鷄場助手
島中　武彦（鹿兒島）山梨縣立農事試驗場技手
東　勇（和歌山）朝鮮總督府農事試驗場助手
平井　守久（愛　知）愛知縣農産物檢査所岩倉派出所技手
松崎　寅男（長　野）長野縣立農事試驗場助手

▲昭和九年三月卒業

今本　眞澄（奈　良）香川縣立三豊農業學校教諭
岩淵　恭治（岩　手）和歌山縣立粉河高等女學校教員
井草　卓郎（埼　玉）自營
位田藤久太郎（三重）三重縣立津中學校教員
井上　秀一（鳥　取）島田商會員（名古屋市東區上飯田町）
有藤　秀夫（兵　庫）兵庫縣加東郡下東條村青年學校教諭
小川　耕（德　島）入營

卒業生

萬谷　俊美（廣　島）九州帝國大學農學部學生
向　勇夫（鹿兒島）鹿兒島縣大島支廳農林技手
森泉　元重（長　野）農林省經濟更生部總務課
柳（舊吉田）直幸（福　岡）東京府農林課技手
松浦　伍市（福　岡）九州帝國大學農學部學生

小國　鶴一（兵　庫）兵庫縣飾磨郡八木村立青年學校教諭
金原　一吉（長　野）農林省肥後種鷄場囑託
金　德謙（朝　鮮）朝鮮總督府農林局農産課
黒田　茂（大　阪）滋賀縣經濟振興課囑託技手
小出　富雄（福　岡）三重高等農林學校助手
小西　尙雄（兵　庫）大阪府農務課
小牧　次郎（神奈川）小牧商會員（橫濱市中區山下町）
西郷　三郎（大　分）大分縣立農事試驗場助手

櫻井　吉士（長　野）靜岡縣農產物檢查所袋井出張所囑託
柴田　直（熊　本）自營
下田　理作（熊　本）自營
橘　輝明（愛　媛）高知縣立農事試驗場助手
寺田　錦一（兵　庫）朝鮮總督府農事試驗場棉作支場助手
中岡　弘（三　重）三重縣經濟更生課囑託
中野　嘉郎（三　重）三重縣多氣郡大淀町青年學校教諭
中村　恭吉（福　岡）入營
仲森　秀夫（三　重）入營
野田　直路（福　岡）入營
野村　美次（京　都）仙臺地方專賣局製造課囑託
濱田　逸郎（三　重）朝群總督府穀物檢查所調查課
濱田　武（埼　玉）農林省新潟米穀事務所
濱田　稔（三　重）愛知縣刈谷中學校教員

平井　益藏（奈　良）入營
藤原　進（大　分）大分縣立農事試驗場助手
藤原　俊郎（三　重）入營
本間　正歲（新　潟）秋田縣立能代高等女學校教諭
前野　正二（兵　庫）朝鮮忠淸南道農務課技手
益川　孝夫（三　重）愛知縣成章中學校教員
松井　勇（山　形）拓務省囑託（滿洲國綏棱開拓組合駐在）
森垣　侃（京　都）兵庫縣立農事試驗場但馬分場助手
森本　行雄（兵　庫）農林省青森米穀事務所
屋嘉　宗顯（沖　繩）新潟縣立農事試驗場助手
山田　豊美（香　川）入營
吉江　敏郎（東　京）入營
脇田　俊光（愛　知）朝鮮平安北道寧邊公立農業學校教諭

▲昭和十年三月卒業

伊藤　卓男（三　重）香川縣立農事試驗場助手
岩本　菊藏（三　重）農林省播磨種鷄場
飯倉　行雄（大　分）法政大學經濟學部學生
宇美　彌助（福　岡）福岡縣立農事試驗場助手
小野　亨（三　重）農林省農務局農政課
岡本　富夫（奈　良）奈良縣立農事試驗場助手
加藤　良男（愛　知）自營
桂　貢（山　口）朝鮮總督府農事試驗場南鮮分場助手
神谷　勇（京　都）自營
刈谷　嘉雄（高　知）第二拓殖訓練所講師
木村　壽郎（愛　知）農林省經濟更生部副業課
北川　赳（三　重）農林省農務局農產課

清久　正夫（德　島）京都帝國大學農學部學生
金　尙燮（朝　鮮）自營
郡司　正造（福　島）新潟縣穀物檢查所長岡支所
駒井　四郎（兵　庫）自營
近藤　易直（長　崎）京城專賣支局仁義洞工場（朝鮮）
佐藤　一二（秋　田）鳥取縣立農事試驗場棉作試驗地
齋竹　孝一（愛　知）橫濱市土木局都市計畫課
猿渡　工（熊　本）入營
三高　正巳（靜　岡）農林省農事試驗場鴻巢試驗地
白木　敏幸（福　岡）自營
十龜千鶴雄（愛　媛）德島縣立海部中學校
田中　勇（京　都）三重縣名賀郡花垣村青年學校
田中　壹郎（大　阪）三重縣立明野農蠶學校教諭

田中　米夫（三　重）三重縣立青年學校教員養成所助手
高松　正雄（福　岡）入營
西田　公保（熊　本）滿洲棉花協會
野口　新吉（岐　阜）岐阜縣立農事試驗場助手
日向　導德（山　梨）日本勸業銀行鑑定課
東　繁一（三　重）富民協會栽培試驗地（大阪府泉北郡高石町）
藤畑　孝正（富　山）青森縣農務課技手
丸山　正秋（長　野）三重縣一志郡豊田村青年學校

農業土木學科第一回

▲大正十四年三月卒業

岩本　益雄（愛　媛）山口縣立萩中學校教諭
遠藤　靖（宮　城）岩手縣土木課技手
奥田　壽夫（三　重）石川縣耕地課技手
川合　久三（滋　賀）東洋拓殖株式會社釜山支店社員

村上　美好（福　岡）千葉縣立農事試驗場助手
村田　重一（愛　知）愛知縣立國府高等女學校教員
毛利　嘉治（三　重）仙臺地方專賣局鑑定課
本村　順藏（福　岡）長野縣農商課技手
山田　信義（愛　知）三重縣經濟更生課囑託
吉村　英吾（東　京）自營
脇田　晴美（愛　知）農林省園藝試驗場（靜岡縣興津町）

二十八名

川勝　洋三（京　都）神奈川縣立相原農蠶學校教諭
刑部　精一（三　重）（死　亡）
古賀　菊次（山　口）靜岡縣立靜岡農學校教諭
小山　操雄（兵　庫）千葉縣立旭農學校教諭
酒井鉦一郎（愛　知）自營

清水　武雄（香　川）朝鮮慶尙北道農務課技手
鈴木　武臣（德　島）群馬縣立中條農學校教諭
高倉貫一郎（三　重）都市計畫三重地方委員會技手
多賀　正三（滋　賀）朝鮮總督府穀物檢査所仁川支所技手
田上源八郎（三　重）茨城縣耕地課技手
田原　耕三（三　重）大阪府農務課技手
齋　辰雄（德　島）常盤生命保險株式會社々員（東京）
中島　辰（愛　知）愛知縣耕地整理課技手
林　桂（岐　阜）長野縣耕地課技手
東川　美雄（三　重）靜岡縣立中泉農學校教諭

農業土木學科第二回

▲大正十五年三月卒業

有吉　志良（福　岡）福岡縣立福岡農學校教諭
（又一改名）
伊藤又右衛門（福井）福井縣立坂井農學校教諭

日比野文雄（愛　知）滋賀縣耕地課技手
福家　雄一（香　川）（死　亡）
牧野　潤二（山　形）東洋拓殖株式會社々員
松尾　直三（三　重）三重縣木本土木出張所長
松本　貞一（三　重）朝鮮全州農學校教諭
嶺　滿龜（福　岡）朝鮮忠淸北道產業課技手
森　嘉門（三　重）富山縣耕地課技師
安田　次貞（愛　知）福島縣立岩瀨農學校教諭
山田　長作（愛　知）港東土地區劃整理組合技術員（名古屋市東區）

二十八名

（舊岩下）
境　次男（熊　本）熊本縣立球磨農業學校教諭
（舊小川）
遠藤　征二（宮　城）自營
尾崎　孝雄（愛　知）佐賀縣耕地課技手

本業生

川口藏三郎（三　重）秋田縣耕地課技手
工藤　延雄（岐　阜）愛知縣都市計畫課技手
倉　小三郎（北海道）自營
齊藤　辰雄（愛　知）奈良縣耕地課技手
櫻井　實（宮　崎）朝鮮總督府農林局水利課技手
堤　喬司（兵　庫）福岡縣立田川中學校教諭
岡（滋賀）西村正一（富　山）新潟縣耕地整理課技手
伊澤（滋賀）武二（長　野）朝鮮慶尚南道產業課技手
長谷　武雄（三　重）廣島縣耕地課技手
內藤（滋賀）榮三郎（三　重）福島縣耕地課技手
濱本　瓦造（京　都）北海道廳上川支廳技手
蘆井　芳雄（山　口）大分縣立佐伯中學校教諭
蘆村　忠雄（山　口）朝鮮總督府穀物檢查所鎭南浦支所技手
古市　與一（三　重）滋賀縣耕地課技師

▲大正十五年七月卒業

加茂仁三郎（靜　岡）（死亡）

▲大正十五年五月卒業

星野　豊平（香　川）香川縣立木田農學校教諭
川本　貴雄（三　重）愛媛縣耕地課技手

堀內　正利（福　岡）福岡縣耕地課技手
堀　美也雄（岐　阜）北海道廳土地改良課技手
森山　明（東　京）滿洲棉花協會社員（奉天）
山崎　爲夫（愛　知）埼玉縣耕地課技手
若出　由夫（三　重）（死亡）
渡邊　小太（三　重）（死亡）

▲昭和二年三月卒業

稻垣　茂（三　重）自營
上島　克己（三　重）宮城縣耕地課技手
楓本松三郎（東　京）北海道廳土地改良課技手
田（滋賀）中（織田村）師郎（山　口）滋賀縣耕地課技手
大塚　清司（靜　岡）靜岡縣耕地課技手
大西　多二（德　島）農林省農務局耕地課技手
奧田　一郎（石　川）京都府峯山耕地出張所長
相井　益水（高　知）岡山縣耕地課技手
眞田（滋賀）光夫（三　重）岐阜縣耕地課技手
北川　俊夫（三　重）（死亡）
中（滋賀小山）原桂一（愛　知）三重高等農林學校助教授
佐藤　紫郎（山　形）神奈川縣立平塚農學校教諭

本業生

三十六名

芝田（三重改名）敎雄（三　重）臺灣總督府內務局土木課技手
辻原　昌男（三　重）（死亡）
土井　利一（富　山）青森縣耕地課技手
中田　政武（三　重）廣島縣土木部技手
中森　惟二（滋　賀）朝鮮慶尚南道產業課技手
永原　實郎（三　重）大日本製糖株式會社々員（臺南州）
西田　喜一（岐　阜）秋田縣耕地課技手
四　正夫（三　重）鳥取縣耕地課技手
早瀨　巳之（石　川）兵庫縣耕地整理課技手
巖田延太郎（三　重）沖繩縣耕地課技手
福元　一二（鹿兒島）朝鮮殖產銀行々員
藤橋　九市（滋　賀）廣島縣耕地課技手
松浦　圭三（大　阪）大阪府農務課技手

阿部春太郎（三　重）三重縣土木課技手
石川　常雄（山　梨）千葉縣耕地課技手
仙波　漸（愛　媛）岡山縣耕地課技手
藤本　和夫（三　重）滋賀縣耕地課技手

▲昭和二年五月卒業

坂本　敏夫（三　重）自營

三十二名

大西　正廉（高　知）滿洲國民政部・土木司都邑科
大島　精一（北海道）秋田縣耕地課技手
岡本　義信（香　川）愛媛縣立西條農業學校教諭
岡本　福三（石　川）秋田縣耕地課技手
港野　桑一（三　重）岐阜縣立安八農學校教諭

北村　善男（三　重）自營
小島万之亟（福　島）岩手縣耕地課技手
小倉　平雄（廣　島）宮城縣耕地課技手
小宮　山靜藏（山　梨）福岡縣耕地課技手
駒田　勝（三　重）秩父縣耕地課技手
佐倉　俊夫（三　重）農林省農務局耕地課技手
西口（森野）末郎（三　重）岡山縣耕地課技手
鈴木　正次（三　重）愛知縣耕地課技手
高宮　卯市（大　阪）大阪市役所土木部工營課技手
田中　重平（新　潟）福島縣立會津農林學校教諭
土井　牧夫（長　崎）佐賀縣耕地課技手
盤田　衆一（三　重）熊本縣耕地課技手
西井　雅一（三　重）（死亡）

農業土木學科第四回

▲昭和三年三月卒業

池田　誠（石　川）埼玉縣耕地課技手
池田　義雄（靜　岡）朝鮮慶尚北道農務課技手
石田　光平（大　阪）大阪市役所土木部地理課技手
岩崎（荷伊藤）繁雄（三　重）愛知縣耕地山林課技手

▲昭和二年四月卒業

若林　鄉夫（三　重）朝鮮信託株式會社々員
芳山　久夫（愛　知）秋田縣耕地課技手
横山　重義（福　島）北海道廳宗谷支廳技手
山下鎌一郎（廣　島）（死亡）
桑賀　年秋（愛　媛）熊本縣耕地課技手
宮下　功（長　野）埼玉縣耕地課技手

農業土木學科第五回

▲昭和四年三月卒業

松井（舊荒井）末造（岐阜）岩手縣耕地課技手
荒木　甚一（三重）三重縣耕地課技手
家木　忠信（三重）山形縣耕地課技手
市川　康三（岐阜）長野縣耕地課技手
伊藤　俊雄（福岡）鹿兒島縣耕地課技手
岩崎　祐一（三重）福島縣耕地課技手
內田　隆（兵庫）自營
大庭　元則（靜岡）靜岡縣立沼津農學校教諭
小河原　田（長野）長野縣下高井農林學校教諭
笠松　清（宮城）京都府園部耕地整理出張所長
川口　幸村（三重）熊本縣土木課技手
倉田　儀郎（三重）廣島縣耕地課技手

三十一名

小島　盈（岐阜）岐阜縣耕地課技手
佐野　鏗爾（三重）臺灣總督府殖產局特產課技手
城野　橋雄（三重）三重縣耕地課技手
大坊　吉則（岩手）北海道廳空知支廳技手
高木　勝（北海道）佐賀縣耕地課技手
高崎　恒夫（三重）島根縣耕地課技手
足立（舊外岡）敏雄（靜岡）青森縣耕地課技手
永井　儀夫（兵庫）靜岡縣立藤枝農學校教諭
長濱　昌英（福岡）春川農學校教諭（朝鮮江原道）
西山　清茂（三重）大阪府農務課技手
日下　龜治（和歌山）鹿兒島縣大島支廳耕地課技手
前川德太郎（三重）栃木縣耕地課技手
前田由之助（三重）拓務省拓務局南洋課技手

牧　鑰之助（愛知）宇治山田市土木課都市計畫係技手
松井　重雄（兵庫）朝鮮咸興水利組合技術員（咸鏡南道）
眞鍋　正行（香川）成業社工務課技術員（京城）
水谷　尙（三重）朝鮮總督府農林局水利課技手

農業土木學科第六回

▲昭和五年三月卒業

新　重吉（鹿兒島）沖繩縣耕地課技手
家木　忠恪（三重）三重縣立河原田農學校教諭
石田　惣市（三重）九州帝國大學農學部學生
磯部五兵衛（三重）朝鮮咸興稅務監督局直稅部技手（咸鏡南道）
伊藤　貞三（三重）宇治山田市土木課技手
倉田（舊伊藤）博夫（三重）三重縣耕地課技手
上杉　勇（三重）和歌山縣耕地課技手
內山　勇（三重）（死亡）

山手　壽人（福岡）朝鮮總督府農林局水利課技手

▲昭和四年四月卒業

森田宗二郎（三重）德島縣耕地課技手

三十六名

大泉　磯右（三重）朝鮮總督府穀物檢查所釜山支所
奧中武次郎（大阪）大阪府農務課耕地整理係技手
中村（舊奧原）亮（長野）長野縣耕地課技手
片岡　善龜（高知）兵庫縣耕地整理課技手
西川千太郎（舊加藤）（三重）四日市々役所土木課技手
咸　泰亨（朝鮮）在間島帝國總領事館
木原久次郎（京都）（死亡）
久保田一男（岐阜）農林省農務局耕地課
倉田　一郎（三重）宮城縣耕地課技手

酒井　德江（長　野）長崎縣耕地課技手
篠崎　富男（埼　玉）埼玉縣耕地課技手
篠原　佑三（富　山）富山縣耕地課技手
島　　明（富　山）富山縣耕地課技手
瀧本　一郎（兵　庫）熊本縣立鹿本農學校教諭
內藤　勇（愛　知）愛知縣耕地整理課技手
中尾　米一（大　分）大分縣立四日市農學校教諭
（舊中川）增田　武男（三　重）三重縣勵精中學校教諭
萩森　豊（愛　媛）高知縣耕地課技手
橋本　勝（大　分）京城公立農業學校教諭
福井　秀男（京　都）朝鮮總督府專賣局南市出張所囑託

農業土木學科第七回

▲昭和六年三月卒業

荒川　清（愛　知）沖繩縣耕地課技手
星野　義一（愛　知）愛知縣耕地課技手
三ッ野由太郎（北海道）樺太廳豊原支廳技手
山村十木生（三　重）岐阜縣耕地課技手
八幡　卓（兵　庫）島根縣立今市農業學校教諭
波邊　亘（福　岡）岩手縣耕地課技手

▲昭和五年四月卒業

布谷　嘉明（三　重）三重縣土木課工手

▲昭和五年五月卒業

平野　泰弘（三　重）（死亡）
增田　三郎（靜　岡）靜岡縣耕地課

三十六名

石崎　勝也（三　重）兵庫縣耕地課技手
井田三津雄（三　重）長野縣耕地課技手

伊藤　俊夫（三　重）三重縣土木課工手
（舊糸川）仁宇　隆雄（三　重）自營
浦邊　亘雄（千　葉）朝鮮全羅北道土木課技手
大月　文雄（岡　山）岡山縣土木課技手
大西　四郎（三　重）（死亡）
（舊川北）土保　賢（三　重）三重縣立津中學校教諭
河野　敬之（福　岡）千葉縣立山武農學校教諭
（舊岸田）草川　五郎（三　重）自營
小山　實（新　潟）（死亡）
坂口傳一郎（三　重）三重縣土木課技手
志田　房次（三　重）栃木縣耕地課技手
下川　一雄（三　重）朝鮮殖産銀行技術課
菅　　英勳（岡　山）兵庫縣耕地課技手
鈴木　定吉（新　潟）朝鮮總督府農林局水利課技手
關口　元吉（群　馬）群馬縣耕地課技手
高嶋　武（三　重）鹿兒島縣耕地課技手
田上　正男（茨　城）栃木縣耕地課囑託
近石　義雄（香　川）福島縣耕地課技手
（舊部竹）生津　好雄（岐　阜）靜岡縣立庵原中學校教諭
出水千代義（香　川）（死亡）
戶田　正雄（富　山）大阪府耕地課技手
中井　清（三　重）都市計畫三重地方委員會技手
行方　文吾（三　重）宮崎縣耕地課技手
根本　豊男（東　京）大阪市役所地理課整地係
服部　一男（奈　良）奈良縣耕地課技手
服部　進（三　重）熊本縣立農事試驗場技手
福野　松雄（滋　賀）沖繩縣耕地課技手
（舊細川）近藤　庄平（香　川）香川縣耕地山林課技手

宮崎　佳久（三　重）熊本縣耕地課技手
柳井　貞二（廣　島）福岡縣耕地課技手
山岡　次郎（三　重）鳥取縣耕地課技手

農業土木學科第八回

▲昭和七年三月卒業
石井龜太郎（千　葉）茨城縣耕地課技手
石川　與一（三　重）佐賀縣耕地課技手
岩崎　力（三　重）新潟縣耕地課技手
植田　勇一（香　川）德島縣耕地課技手
太田　新勇（三　重）三重縣耕地課技手
金尾　修而（岡　山）岡山縣耕地課
川崎　光郎（三　重）京都府耕地課囑託
木下　榮吉（三　重）千葉縣耕地課技手
久保　義生（三　重）福島縣立東白川農蠶學校教諭

渡邊　武（愛　媛）香川縣耕地山林課技手
▲昭和六年四月卒業
中島　亮（大　阪）大阪府耕地組合技術員

四十名

桑原　忠雄（靜　岡）靜岡縣都市計畫課技手
小寺　德夫（大　分）三重縣耕地課技手
佐藤　直（三　重）岡山縣立高松農學校教諭
城出　賤夫（三　重）滿洲國臨時産業調査局
田原　輝男（三　重）大阪府耕地課技手
辻　亥輪男（大　阪）鳥取縣耕地課技手
中村　基一（兵　庫）兵庫縣河港課技手
熊本（舊中山）重治（富　山）富山縣耕地課技手
西井　俊三（三　重）九州帝國大學農學部學生
西村　亮一（三　重）三重縣耕地課技手

野呂　太郎（三　重）宮崎縣耕地課技手
羽生　憲治（鹿兒島）愛媛縣耕地課技手
原　政一（三　重）福井縣耕地課技手
閔　泳甫（朝　鮮）朝鮮江原道土木課囑託
福井　重男（京　都）農林省農務局耕地課
藤谷　朋貞（三　重）臺灣總督府內務局土木課技手
牧戸市太郎（三　重）宮城縣耕地課囑託
桝田　和夫（愛　知）島根縣耕地課囑託
松井　信雄（靜　岡）農林省農務局耕地課
松田　高朝（鹿兒島）鹿兒島縣耕地課技手
松本　和郎（三　重）大阪府耕地課囑託
村田　照雄（岐　阜）滋賀縣耕地課技手

目見田政次郎（愛媛）自營
森岡　米一（三　重）山口縣耕地課技手
安田　俊直（長　野）埼玉縣耕地課技手
吉田　實（岐　阜）農林省畜産局馬産課
米川　幹正（三　重）兵庫縣土木部囑託
渡邊　勝（三　重）栃木縣耕地課技手
▲昭和七年四月卒業
吉澤　進（福　井）明治製糖株式會社農務部技術員（臺灣麻豆街）
▲昭和七年五月卒業
鐘ヶ江吉雄（佐　賀）熊本縣耕地課技手
峰　鬼子男（三　重）山形縣耕地課技手

農業土木學科第九回

三十九名

栗田　億一（靜　岡）臺灣總督府土木局水利課囑託
小菅　一夫（大　阪）八保圳水利組合行員（臺中州）
齋藤　政善（栃　木）青森縣縣耕地課囑託
坂下永次郎（三　重）自營
島上　正三（福　岡）福岡縣耕地課技手
新谷八太郎（福　岡）福岡縣耕地課技手
杉森　次郎（三　重）岡山縣耕地課
鈴木　正（靜　岡）臺南州立嘉義農林學校囑託
瀨古　孝一（三　重）三重縣耕地課技手
高橋　數雄（香　川）石川縣耕地課
谷口　末雄（三　重）朝鮮殖産銀行平壤支店員
田端　清男（三　重）宮崎縣耕地課技手
辻　好基（三　重）京都府耕地課技手
外山　義治（三　重）朝鮮全羅北道農務課土地改良係
長谷川義意（福　島）三重縣耕地課技手
廣谷　昇（大　阪）石川縣耕地課囑託
藤原庄一郎（靜　岡）群馬縣耕地課囑託
船橋　章次（愛　知）名古屋市役所公園課
古川　俊良（滋　賀）福井縣耕地課技手
牧　勇（大　分）大分縣耕地課囑託

農業土木學科第十回

▲昭和九年三月卒業

綾田耕太郎（香　川）鮮滿開拓株式會社干拓農場
伊藤　芳夫（岐　阜）成業社技術員（京城）
伊藤　美之（三　重）香川縣耕地山林課
澤老名慶一（靜　岡）滿洲國國務院國道局水利科技士
小澤　二郎（岐　阜）入營

卒業生

四十二名

増井　正（三　重）新潟縣耕地課技手
松岡　英夫（和歌山）自營
森島　美雪（岐　阜）佐賀縣耕地課技手
八尋　秀一（福　岡）朝鮮總督府農林局土地改良課囑託
山内　務（三　重）鳥取縣耕地課
山下　茂（福　岡）長崎縣耕地課囑託
吉田　文治（福　岡）農林省農務局耕地課
落合　博（三　重）靜岡縣立掛川中學校教員
川井　宏（靜　岡）農林省農務局耕地課
久保田　章（福　島）福島縣耕地課
小泉　富治（長　野）寶江沿岸排水改良事務所（宮城縣）
坂本多喜男（佐　賀）佐賀縣耕地課囑託
佐々木令藏（秋　田）滿洲國實業部農務司墾務課

卒業生

島地　與一（三　重）京都帝國大學工學部土木工學教室助手
下井重三郎（三　重）兵庫縣耕地課技手
鈴木　新平（靜　岡）岡山縣耕地課
鈴木　敏雄（靜　岡）大阪市土木部公園課囑託
高津　明（愛　知）三重高等農林學校助手
田中　善喜（福　岡）滿洲國臨時產業調查局
戸村　守（栃　木）四日市市土木課囑託
中西　中雄（京　都）大阪府都市計畫課
中根　逸夫（三　重）入營
中村　茂男（鹿兒島）高隈村砂防事務所（鹿兒島縣）
西口　一雄（大　阪）大阪府耕地課囑託
西田　四郎（三　重）入營
野間　市郎（愛　媛）新潟縣耕地課囑託
長谷川次雄（群　馬）高知縣耕地課
東　次男（熊　本）大分縣耕地課
藤本　繼男（熊　本）大阪府都市計畫課
藤目　幸作（香　川）入營
古　正夫（三　重）入營
堀部　勇（岐　阜）岩手縣耕地課
前田　一男（兵　庫）入營
前田　盛雄（鹿兒島）鹿兒島縣耕地課囑託
正木　義夫（兵　庫）滿洲國熱河省公署民政廳土木科
松原　義雄（岐　阜）大分縣耕地課
松本　彦吉（秋　田）臺灣鹽水港製糖株式會社技術員
毛利　博愛（福　岡）兵庫縣耕地課囑託
柳澤　榮助（長　野）愛知縣安城農林學校教諭
矢野　進（宮　崎）宮崎縣立高鍋中學校教員
山崎　安郎（三　重）入營
山下　茂（靜　岡）鮮滿開拓株式會社技術員（朝鮮）
余語伊三郎（愛　知）和歌山縣立紀北農業學校教諭

農業土木學科第十一回

四十名

▲昭和十年三月卒業

安藤　重郎（群　馬）鐵路總局總務處人事課（奉天）
井手　勝德（熊　本）愛媛縣耕地課
伊藤　土郎（福　井）東洋拓殖株式會社江西農場（朝鮮平安南道）
石川丙午郎（茨　城）茨城縣耕地課
石田　英二（福　岡）福岡縣耕地課
岩戸　太郎（廣　島）日本勸業銀行鑑定課
宇野　亮夫（福　岡）成業社瑞穗農場技術員（朝鮮平安北道）
越智　鵄一（愛　媛）自營
岡村　武郎（三　重）兵庫縣耕地課
奥山　俊介（三　重）三重縣耕地課
吉井　勘一（滋　賀）滋賀縣耕地課
大井　守義（三　重）三重縣土木課都市計畫係
河合　保（岐　阜）第二旭ヶ丘土地區劃整理組合（大阪府泉北郡神石村）
角田敬之進（福　岡）福岡縣耕地課
勝野　靜男（三　重）德島縣耕地課
角前　冕（三　重）岩手縣耕地課
兼本　六二（廣　島）島根縣耕地課
川崎　祐宏（大　阪）大阪市電氣局
窪田　博（奈　良）富山縣耕地課
佐々田　仙（廣　島）廣島縣耕地課
澤田　重雄（大　阪）滿洲國安東稅關鑑定課
鹽見　辰治（山　口）滿洲國營口鹽務署產銷科
白井　正義（三　重）兵庫縣都市計畫課

卒業生

白倉　省吾（山　梨）關東州鹽業試驗場
高橋　敏郎（靜　岡）靜岡縣耕地課
給田　光義（京　都）九州帝國大學農學部學生
園野新次郎（福　岡）自營
出村　友晴（富　山）朝鮮總督府立農業教員養成所
波多野修一郎（岡山）晋州公立農業學校（朝鮮慶尙南道）
萩原健一郎（兵　庫）兵庫縣耕地課
東　　武（福　井）福井縣耕地課
福澤　重信（富　山）石川縣耕地課

林學科第一回

二十三名

▲大正十四年三月卒業

（舊小四）
堀　百太郎（奈　良）富山縣立上市農學校教諭
小林　義秀（山　梨）內務省衛生局保健課國立公園係囑託
古屋　武夫（群　馬）愛媛縣林務課技手

又木武兵衛（鹿兒島）滿洲國奉天省西安縣公署
三室不二夫（三　重）橫濱市土木局都市計畫課
水町　　進（福　岡）熊本縣耕地課
森田　省三（三　重）愛知縣耕地課
山崎　仁夫（三　重）滋賀縣耕地課
山田　信一（靜　岡）京都府耕地課
橫田　柏男（岡　山）滿洲國大同學院學生
橫田　　敏（愛　知）學士會ゴルフ倶樂部赤羽ゴルフ場（東京市王子區）
渡邊　榮藏（秋　田）宮城縣立農學校

佐賀五代吉（秋　田）帝室林野局東京支局技手
佐治　文哉（福　井）（死亡）
佐藤　佐壽（愛　媛）岡山縣立勝間田農學校教諭
四方　公平（京　都）自營

（舊新保）
田島　義二（石　川）山梨縣山林課技手
島林　理英（滋　賀）三重縣林務課技手
關　　正三（栃　木）帝室林野局三殿出張所技手
高津戸益美（栃　木）農林省山林局林務課技手
高山　　林（兵　庫）朝鮮總督府農林局林政課技手
田村幸次郎（京　都）岐阜縣立加茂農林學校教諭
畑　　石治（福　岡）伊勢新聞社記者
林　　鐵雄（東　京）島根縣立益田農林學校教諭

林學科第二回

三十三名

▲大正十五年三月卒業

穴吹規矩士（香　川）朝鮮總督府林業試驗場技手
井出　　稅（靜　岡）熊本縣農林課技手
岩本　二郎（島　根）惠山鑛營林署技手（朝鮮咸鏡南道）
石川　利治（東　京）秋田營林局計畫課囑託

早藤　昌二（茨　城）東京營林局大子營林署技手
伴　　一雄（三　重）自營
（舊古谷）
高田　俊雄（東　京）東京營林局白河營林署技手
鈎　　俊一（滋　賀）福島縣立會津農林學校教諭
松井英太郎（大　阪）北海道函館營林區署技手
松岡　英二（福　岡）自營
三崎　龍二（三　重）大湊木材株式會社遠野工場（岩手縣）
山口二三生（三　重）自營

岡田　廣一（德　島）自營
岡野　行雄（和歌山）淺別營林區署技手（北海道）
鴛淵　滿雄（長　崎）農林省山林局林務課技手
川越　　進（宮　崎）東京府農林課技手
神庭　　英（島　根）長野縣木曾山林學校教諭

卒業生

木下　義統（鳥　取）自營
木曾　龍雄（廣　島）農林省山林局林務課技手
佐々木確治（秋　田）秋田營林局横手營林署技手
曾根　正孝（富　山）富山縣林務課技手
武田　要（德　島）德島縣農林課技手
辰巳　俊吉（奈　良）大阪府農務課技手
附田　文治（青　森）自營
內藤　久一（京　都）京都府農林蠶絲課技手
長尾　正和（高　知）惠山鎭營林署技手（朝鮮咸鏡南道）
藪內（舊中村）當一（香　川）德島縣立農業學校教諭
中山　利郎（三　重）眞岡林務署技手（樺太）
林　茂（福　井）農林省山林局林務課技手
原　金一（岐　阜）秋田營林局利用課技手

深澤　正男（山　梨）山梨縣山林課技手
福田　港（熊　本）島根縣立川本農蠶學校教諭
逸見　雪夫（岡　山）東京營林局利用課技手
本田　親人（宮　崎）朝鮮總督府農林局林業課技手
松田　愿（山　口）大阪營林局利用課技手
松本　幸男（愛　媛）（死亡）
柳井　元一（岡　山）山口縣林務課技手
矢野　登（香　川）愛知縣林務課技手
山本　二雄（奈　良）（死亡）
吉本今太郎（靜　岡）山梨縣立峽北農學校教諭

▲大正十五年五月卒業
久富　運吉（山　口）山口縣林務課技手

▲昭和二年三月卒業
安達　瀧雄（石　川）三重縣林務課技手
西原（舊伊藤）照光（愛　媛）北海道廳地方林課技手
相澤（舊岩山）宇內（宮　城）秋田營林局大曲營林署技手
梅原　文夫（大　分）自營
十河（舊越智）一吉（愛　媛）兵庫縣農務課林務係技手
鬼武　幹亮（山　口）山口縣林務課技手
垣野太圭次郎（三重）岡山縣山林課技手
加藤　嘉藏（奈　良）朝鮮慶尙北道山林課技手
齋藤　市三（三　重）自營
砂走　正義（鹿兒島）岡山縣山林課技手
田中　巖（京　都）帝室林野局盛岡出張所技手
田部　繁昌（東　京）農林省山林局林務課技手

中澤　和雄（和歌山）和歌山縣林務課技手
中谷喜久二郎（石川）大阪營林局山崎營林署技手
濱田　一夫（高　知）自營
松原　松男（長　野）三重縣立農林學校教諭
中村（舊萬濃）秀男（三　重）農林省山林局林政課技手
溝口　悌次（長　野）自營
森岡　潤吉（高　知）秋田縣林務課技手
森倉　良溢（三　重）和歌山縣林務課技手
山川浩太郎（三　重）靜岡縣立引佐農學校教諭
湯淺　巖雄（香　川）兵庫縣農務課林務係技手

▲昭和二年四月卒業
大里　喜重（大　阪）自營

卒業生

草田　得三（和歌山）自營

林學科第四回

▲昭和三年三月卒業

飯田　忠一（奈　良）奈良縣林務課技手
井上　源憲（廣　島）廣島縣山林課技手
井ノ口三郎（三　重）佐賀縣農務課技手
臼井　茂（山　形）岡山縣山林課技手
大久保昌之（石　川）朝鮮慶尙北道山林課技手
川滿　惠元（沖　繩）沖繩縣農林課技手
片山　佐又（香　川）大阪營林局富山營林署技手
國田　廣實（愛　媛）愛媛縣林務課技手
黑井　良勝（東　京）東京市水道局林務係技手
小久保　壽（愛　知）青森營林局計畫課技手
小瀧　武夫（福　島）秋田營林局計畫課囑託

谷口　貢（福　井）敷香林務署技手（樺太）

三十一名

後藤　旭（愛　知）愛媛縣林務課技手
三枝　壽雄（兵　庫）自營
佐藤　三郎（秋　田）大阪營林局利用課技手
（舊鹽川）笹栗　三二（福　岡）朝鮮慶尙南道山林課技手
白勢　修（新　潟）朝鮮慶尙北道山林課技手
高橋　渡（高　知）高知縣林業課技手
田代　純（兵　庫）京都府立京都農林學校教諭
立川　全夫（靜　岡）釧路營林區署技手（北海道）
因　秀成（福　岡）樺太廳農林部林業課技手
（舊中川）佐々木重男（京　都）京都府農林蠶絲課
（舊馬場）山田　瑞穗（福　岡）臺灣高雄州旗山郡技手
松島　盛大（三　重）帝室林野局札幌支局技手

（舊三逵）牛田　雲平（三　重）（死亡）
滿谷　五三（岡　山）香川縣耕地山林課技手
村上　章（愛　知）靜岡縣山林課技手
森田　宿禰（長　崎）室蘭營林區署技手（北海道）
山本市兵衛（奈　良）神宮司廳林苑課技手

林學科第五回

▲昭和四年三月卒業

足立　行夫（岐　阜）旭川營林區署技手（北海道）
（舊大石）增田　勝治（靜　岡）樺太廳農林部林業課技手
大辻　利勝（奈　良）（死亡）
小木曾善三郎（愛　知）兵庫縣農務課林務係技手
川口　了（三　重）自營
川手　治郎（廣　島）廣島縣山林課技手
小池　敏夫（島　根）島根縣山林課技手

和田忠之亮（三　重）自營

▲昭和三年五月卒業

黑岩　實（佐　賀）朝鮮忠淸南道保寧郡廳技手
後藤　鋼（愛　知）神奈川縣立吉田島農林學校教諭

二十三名

鈴木　平治（福　島）野付牛營林區署技手（北海道）
鈴木　愷（愛　知）（死亡）
田村　義雄（三　重）自營
坪坂　博（大　分）函館營林區署技手（北海道）
中島海老藏（京　都）農林省山林局業務課囑託
中谷　邦武（岐　阜）秋田縣林務課技手
中村　久（三　重）秋田營林局利用課囑託
泙野　陽一（愛　知）石川縣農林課林務係技手

深谷　莞治（岐　阜）青森營林局計畫課囑託
福島　昇（福　井）京都府農林種苗課技手
普光江左右吉（高　知）高知縣立農業學校教諭
森　三郎（佐　賀）大阪營林局利用課囑託

三十七名

金田　友憲（福　島）帝室林野局王滝出張所技手
順興寺竹男（三　重）高知營林局德島營林署囑託
北川　孝三（三　重）京都府農林種苗課技手
北條（喬木津）進（新　潟）東京營林局六日町營林署囑託
木根　陽三（和歌山）三重縣林務課技手
倉田喜太郎（三　重）三重縣土木課囑託
近藤　勇（三　重）三重縣林務課囑託
杉浦　文夫（愛　知）名古屋市公園課

▲昭和五年三月卒業

阿部　駒一（三　重）秋田營林局能代營林署囑託
石井　英男（和歌山）自營
伊藤藏右衛門（愛　媛）滿洲國間島省公署實業科
上原　正敏（長　崎）福島縣山林課技手
小矢　信一（長　野）自營
楯野　亘助（長　野）大阪營林局造林課囑託
片岡　七夫（三　重）自營

林學科第六回

卒業生

西井伊兵衛（三　重）兵衛縣吏員栗郡三川村增穗林業係
窪田（斎藤）業修（福　岡）東京市水道局林務係技手
服部　正直（三　重）東京營林局矢板營林署囑託
平野　利一（和歌山）青森營林局宮古營林署囑託

杉本愛之丞（三　重）高知縣林業課技手
杉森　一郎（三　重）福島縣山林課技手
高野　光衛（長　野）長野縣林務課技手
伊達　覺一（廣　島）網走營林區署技手（北海道）
中村　繁一（香　川）青森營林局利用課囑託
中村　丈夫（兵　庫）山口縣林務課囑託
中村　道孝（宮　崎）愛知縣林務課技手
西垣　二郎（新　潟）新潟縣林務課技手
西川　正信（愛　媛）北海道鹿拓殖部林務課技手
野中　淳治（三　重）秋田營林局生保內營林署囑託
橋詰　敏夫（高　知）高知營林局篶川營林署囑託
長谷川　了（三　重）三重縣林務課技手

卒業生

▲昭和五年五月卒業

平島　直行（宮　崎）鳥取縣林務課技手
吉村　寛逸（佐　賀）三重縣林務課技手
横山　義雄（福　島）佐賀縣農務課技手
山本　安秋（香　川）奈良縣林務課技手
村山　令重（福　岡）福岡縣林務課
梁田增次郎（秋　田）岐阜縣山林課技手
百田林太郎（三　重）三重縣林務課技手
松山　幹之（滋　賀）內務省信濃川水系砂防事業所囑託
前川　勝巳（三　重）山形縣林務課技手
邊見　芳夫（神奈川）岩手縣立花卷農學校教諭

林學科第七回　三十一名

▲昭和六年三月卒業

今津新太郎（岐　阜）岡山縣山林課技手
梅田　德藏（三　重）三重縣林務課技手
岡　磯吉（和歌山）島根縣立松江農林學校教諭
岡野三十四（三　重）吉州農業學校教諭（朝鮮咸鏡北道）
岡森清治郎（三　重）秋田營林局利用課囑託
大塚　一太（熊　本）熊本縣農林課技手
大西　二郎（高　知）高知縣林業課技手
大野　靜（愛　媛）京都府立龜岡農學校教諭
（舊尾崎）岩崎　芳一（三　重）福井縣立福井農林學校教諭
加藤　清（三　重）三重縣林務課技手
小紫　清平（兵　庫）上地海運合資會社大阪出張所
小林　米藏（三　重）青森營林局利用課囑託
酒井　源一（愛　媛）帝室林野局甲府出張所技手
（舊佐々木）鈴木　清吉（岩　手）熊本營林局森營林署囑託
田上　一生（三　重）岐阜縣山林課技手
田中　孝雄（佐　賀）愛知縣林務課技手
田中　俊次（三　重）（死亡）
近澤　武生（三　重）石川縣農林課技手
柘植　隆一（三　重）三重縣林務課技手
長澤　一雄（山　口）自營
永田　重道（三　重）京都府農林蠶絲課技手
八藤　松男（岡　山）三重高等農林學校助手
廣部　誠自（三　重）朝鮮咸鏡南道北青郡廳產業課技手
福田　利雄（岡　山）大阪營林局計畫課囑託
藤田　修一（岡　山）朝鮮全羅南道產業課技手

本多　泰（愛　知）自營
松本　政一（三　重）三重縣木炭檢查所尾鷲支所技手
宮田　俊雄（三　重）石川縣土木課囑託
吉田　泰治（新　潟）自營
若林　二郎（岡　山）北海道廳地方林課技手

林學科第八回　三十七名

▲昭和七年三月卒業

赤尾國三郎（岐　阜）自營
秋根　昌勝（福　岡）和歌山縣林務課技手
池知　一水（高　知）大阪營林局高野營林署囑託
（舊石黑）海野　祐三（富　山）富山縣林務課技手
岩本　勝美（鹿兒島）佐賀縣農務課技手
上平　達雄（奈　良）熊本營林局佐賀營林署囑託
（舊名孝夫）榎本　容久（和歌山）自營
（舊尾島）池上　憲清（富　山）富山縣林務課囑託
清末　文雄（大　分）岐阜縣山林課囑託
桐山　寬治（東　京）三重縣林務課技手
駒田　守（三　重）共榮土地株式會社林業部廣島出張所技術員
佐久間利秋（三　重）三重縣林務課技手
笹森　榮一（鹿兒島）自營
鹽入　利雄（長　野）三重縣林務課囑託
（舊上甲）土居　久雄（愛　媛）朝鮮咸鏡北道廳產業課技手
杉山　今吉（愛　知）（死亡）
砂原　英治（鳥　取）帝室林野局木曾支局囑託

▲昭和六年七月卒業

勝部　忠治（島　根）島根縣技手（木炭檢查所掛合出張所長）

卒業生

竹口　昇（三　重）山梨縣立農林學校教諭
富永　清次（佐　賀）秋田營林局寒河江營林署囑託
中井　吉人（三　重）大分縣林務課囑託
野田　忠士（三　重）佐賀縣東松浦郡七山村技術員
深田安次郎（富　山）（死亡）
藤本　芳郎（三　重）帝室林野局天城出張所技手
細野　三郎（滋　賀）朝鮮慶尙南道山林課
松浦　進（宮　崎）岩手縣立水澤農學校教諭
宮石　又男（愛　知）（死亡）
村田　義一（三　重）三重縣林務課技手
森　孝（三　重）三重縣林務課技手
柳瀨　友正（愛　媛）愛媛縣林務課技手
矢仁田恒義（熊　本）熊本縣木炭檢査所人吉支所技手
矢野喜久男（福　岡）朝鮮慶尙南道宜寧郡廳技手
矢野　次雄（廣　島）廣島縣山林課囑託
矢野　譽榮（兵　庫）山梨縣山林課技手
山本　仁郎（新　潟）朝鮮江原道山林課技手
山脇　茂（京　都）樺太廳農林部林業課技手

▲昭和七年四月卒業

宇津　英一（島　根）島根縣山林課技手

▲昭和七年五月卒業

佐藤　康吉（山　形）滿洲國哈爾賓牡丹江木材公司技術員

▲昭和八年三月卒業

石原　博（富　山）敷香營林署森林主事（樺太）
石原　幹雄（熊　本）朝鮮慶尙北道山林課
伊東　誠衛（三　重）自營
上杉順二郎（三　重）朝鮮咸鏡南道產業課林務係
岡田　春博（高　知）朝鮮咸鏡北道產業課
小澤　貢（佐　賀）佐賀縣林務課
川本　達四（廣　島）廣島縣林務課
工藤　麟治（宮　崎）Tibungko Lumber Co. (Phillipin)
倉田三千穗（長　野）朝鮮江原道產業課
齋藤　澄雄（山　形）青森營林局利用課
須川清一郎（三　重）東洋拓殖株式會社朝鮮支社林務課技手
高橋　健男（大　阪）農林省山林局

（舊名武一）
田川　剛士（三　重）愛知縣河港課
武田　龍夫（三　重）和歌山縣立熊野林業學校教諭
淡輪　銳一（福　岡）朝鮮慶尙北道產業課囑託
戸田　唯美（廣　島）自營
飛岡善三郎（大　阪）自營
中川　繁夫（廣　島）吳海軍工廠建築部土木課
中村熊太郎（三　重）新潟縣林務課囑託
西川　光夫（長　崎）朝鮮慶尙北道山林課
西村　敏雄（京　都）新乭婆鎭營林署囑託（朝鮮咸鏡南道）
根本庄三郎（茨　城）大阪營林局古川營林署囑託
髭右近英夫（石　川）神宮司廳林苑課囑託
本鄉　卓爾（岡　山）帝室林野局名寄出張所技手補
松尾　武治（福　岡）高知營林局須崎營林署囑託

卒業生

八代　雄藏（山　梨）愛知縣林務課囑託
山崎　孝雄（高　知）岩手縣山林課技手

林學科第十回

▲昭和九年三月卒業

赤田　長生（香　川）入營
阿部喜美治（山　形）滿洲國實業部林務司林業科
池田　三一（靜　岡）靜岡縣山林課囑託
市川　守信（高　知）入營
岩間　孝一（三　重）大阪營林局利用課囑託
上野　經彦（鹿兒島）自營
岡本　利文（兵　庫）自營
大上　利宏（大　分）長野林野砂防協會
太田垣正三（兵　庫）入營
大仲　保（愛　媛）朝鮮江原道產業課林務係

三十九名

大森　三孝（福　井）大阪市住吉公園事務所
梶原　高雄（熊　本）三重縣林務課
加藤　喜久（福　岡）朝鮮咸鏡南道產業課林務係
川岸　修（奈　良）愛知縣林務課
河津　久伍（熊　本）朝鮮慶尙南道山林課囑託
小寺　博文（大　分）渭原營林署囑託（朝鮮平安北道）
近藤　學（福　岡）朝鮮京畿道山林課
佐方　久敏（熊　本）入營
佐藤　滿（熊　本）樺太嘉須取林務署
下川　忠藏（福　岡）福島縣山林課囑託
菅沼　謙逸（愛　知）野付牛營林區署囑託（北海道）

竹內久米雄（三　重）入營
中澤　高司（靜　岡）朝鮮江原道麻邑川作業場
野田　晴男（島　根）帝室林野局妻籠出張所囑託
野中　忠美（愛　媛）愛媛縣林務課
檜山慶三郎（三　重）神宮司廳林苑課囑託
平山　貞（大　分）入營
廣部　正二（三　重）入營
古川　生夫（熊　本）宮城縣林務課
古川　壽（岡　山）岡山縣山林課

林學科十一回

▲昭和十年三月卒業

淺野　一正（三　重）自營
伊藤耕之助（佐　賀）自營
池內　悅雄（愛　媛）愛媛縣林務課

卒業生

町田　榮二（埼　玉）青森縣林務課
松岡　了三（福　岡）九州帝國大學農學部學生
松本　繁平（靜　岡）泊居林務署（樺太）
三木田武三郎（大阪）入營
水谷　信夫（三　重）入營
宮本　毅（熊　本）滿洲國實業部林務司林務科技士
明慶　三郎（三　重）三重縣土木課都市計畫係囑託
森本智二郎（兵　庫）入營
米川　千秋（三　重）內務省衛生局保健課國立公園係囑託

三十五名

磯野　英一（兵　庫）兵庫縣林務課
稻田　正彥（三　重）自營
上野　丞市（三　重）自營
上本　英一（三　重）福島縣林務課

卒業生

小河　吉春（福　岡）自營
大内　賢一（岡　山）朝鮮京畿道山林課
北村　智（長　崎）惠山鎭營林署（朝鮮咸鏡南道）
佐久間虎夫（三　重）自營
佐藤　信雄（山　形）滿洲國國道局治水科
杉本　正郎（三　重）三重縣土木課
鈴木　英勇（靜　岡）自營
關口　一郎（埼　玉）岩手縣山林課
田川　恒夫（三　重）東京營林局郡山營林署
田村　甲二（岡　山）寧遠營林署（朝鮮平安南道）
高垣　左藤（和歌山）秋田縣林務課
武政　健亮（高　知）北海道林產物檢查所
谷口　樹男（廣　島）自營
谷　敏夫（奈　良）大和山林會（奈良縣廳內）

塚本　泰三（兵　庫）兵庫縣林務課
辻　種藏（滋　賀）（死亡）
長井　實博（鹿兒島）王子製紙株式會社山林部（北海道勇拂郡苫小牧）
中込　登（山　梨）帶廣營林區署（北海道）
林　秀茂（奈　良）帝室林野局奈良井出張所
牧野新太郎（滋　賀）熊本營林局直方營林署
宮口　茂次（福　井）秋田營林局利用課
宮本　弘（愛　知）名古屋市役所公園課
村田　喜一（熊　本）熊本縣林務課
柳澤　聰雄（兵　庫）帝室林野局旭川出張所
山田　孝俊（石　川）帝室林野局盛岡出張所
吉田　末雄（福　岡）朝鮮慶尙北道山林課
和田　秀雄（神奈川）福山森林事務所（北海道）
渡邊　正元（長　崎）自營

農學科選科

▲大正十五年三月修了
別處　初幸（愛　媛）東京府商工課主事補
野村　安衛（岐　阜）自營
▲昭和二年三月修了
今井　武（三　重）（死亡）
▲昭和二年四月修了
花谷　郁（三　重）自營

農業土木學科選科

▲大正十四年三月修了
山本三千三（三重）三重縣南牟婁郡入鹿村農會
▲大正十五年三月修了
石田　巖（三　重）岡山縣耕地課技手

▲昭和四年三月修了
平井　宏（大　阪）自營
▲昭和七年三月修了
塚田　英夫（千　葉）自營
▲昭和八年三月修了
齋藤小吉郎（三　重）三重縣一身田町役場
瀧山　嚴（大　阪）自營

▲昭和六年三月修了
王　家麟（滿洲國）滿洲國奉天省農務科
▲昭和八年四月修了
加藤　積（山　梨）兵庫縣良元工營所

卒業生

二、卒業生年度別數

年次＼學科	農學本科	農業土木學科	林學科	選科	合計
大正十四年	二八	二八	二三	一	八〇
大正十五年	三五	二八	三三	四	一〇〇
昭和二年	二九	三六	二五	二	九二
昭和三年	二七	三二	三一		九〇
昭和四年	三二	三一	二三	一	八七
昭和五年	三九	三六	三七	一	一一三
昭和六年	三九	三六	三一	一	一〇七
昭和七年	三九	四〇	三七	一	一一七
昭和八年	三五	三九	二九	三	一〇六
昭和九年	四二	四二	三九		一二三
昭和十年	四〇	四〇	三五	一	一一六
合計	三八五	三八八	三四三	一五	一、一三一

◀昭和五年三月修了

小林　英生（三　重）三重縣木炭檢査所上野支所技手

◀昭和十年三月修了

宮田　正夫（愛　媛）自營

林學科選科

◀大正十五年三月修了

日野　雅亮（長　野）自營

三、卒業後ノ狀況

種別＼學科	本科 農學科	農業土木學科	林學科	選科	合計
官公署技術員	一五四	二七七	二六三	七	七〇一
各種試驗場技術員	五二	二	一		五五
實業學校教員	六四	三九	二〇		一二三
其他ノ中等學校教員	四七	八			五五
銀行會社員	二一	二四	八		五三
自營者	二〇	一一	二七	七	六五
大學々生	一〇	三	三		一六
兵役關係者	九	六	八		二三
其ノ他	三	二	二		七
死亡	五	一六	一一	一	三三
合計	三八五	三八八	三四三	一五	一、一三二

四、卒業生地方分布ノ狀況

地方＼學科	本科 農學科	農業土木學科	林學科	選科	計
北海道	一	六	一九		二六
青森	六	四	七		一七
岩手	二	六	七		一五
宮城	六	七	一		一四
秋田	二	六	一四		二二
山形	四	三	二		九
福島		七	七		一四
茨城	五	三	一		九
栃木	一	五	一		七
群馬	三	四			七
埼玉	五	四			九
千葉	九	五		一	一五
東京	二九	一四	一三	一	五七
神奈川	五	三	一		九
新潟	五	四	四		一三
富山	三	五	五		一三
石川	九	四	三		一六
福井		四	一		五
山梨	五	一	六		一二
長野	二	五	一一	一	一九
岐阜	三	五	五	一	一四
靜岡	四	一〇	五		一九
愛知	二三	一〇	九		四二
三重	四六	三〇	三八	四	一一八